

3 施 策 別 シ ー ト

施策別シートについて

- ◆シートは名古屋新世紀計画2010第2次実施計画の登載順に掲載しています。
- ◆シートの内容は、②「Ⅱ 市民意識」、「Ⅲ数値目標の進捗状況」を施策別にまとめたものです。
- ◆シートの見方は、次ページの「施策別シートの見方」をご覧ください。

施策別シート

部 門 名	
施 策 名	
関 係 局	

名古屋新世紀計画 2010 第 2 次実施計画に登載されている事業の所管局名を記載しています。(計画策定後の事務移管等により現在は所管していない局も含まれています。)

1 施策の目的

① 基本方針

名古屋新世紀計画 2010 第 2 次実施計画の施策の「基本方針」を記載しています。

この施策によって、「誰・何（対象）」を「どういう状態にしたいのか（意図）」を表しています。

② 達成目標

対象(誰を・何を)	意図(どういう状態にしたいか)

市民満足度調査結果にもとづき、この施策に対する市民意識を以下の 3 種類の記号で示しています。

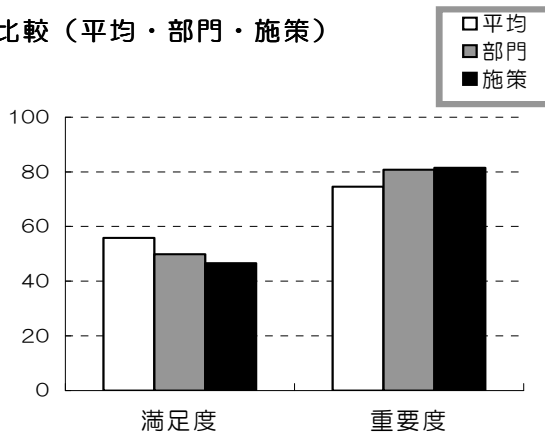
☆☆☆ : 比較的高い
☆☆ : まあまあ
☆ : 比較的低い

2 施策の実績(現在の状況)

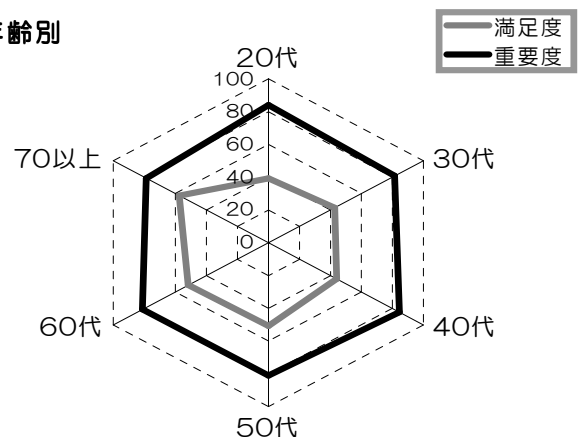
① 市民意識

満足度	(指数)	重要度	(指数)
-----	--------	-----	--------

比較 (平均・部門・施策)



年齢別



左から全施策の平均値 (満足度 55.8、重要度 74.6)、施策が属する部門全体の平均値、施策の指数値を表しています。

年齢別の施策の指数値を部門全体で平均し、表しています。

② 名古屋新世紀計画 2010 第 2 次実施計画の数値目標の進捗状況

No.	指標	計画策定時の数値	16 年度実績値	目標値		進捗状況	所管局
				18 年度	22 年度		
1							

● 目標設定の考え方:

名古屋新世紀計画 2010 第 2 次実施計画の数値目標の進捗状況を以下の 4 種類の記号で示しています。

- ☆☆☆ : 順 調 (目標値達成に向けて、順調に進捗しているもの)
- ☆☆ : やや遅れ (目標値達成に向けて、やや遅れが見受けられるもの)
- ☆ : 遅 れ (目標値達成に向けて、遅れが見受けられるもの)
- * : 実績値の把握ができないものなど

※ 上記内容は平成 17 年 8 月に既に公表しています。

③ 参考指標による状況

No.	指標	15 年度実績値	16 年度実績値	所管局
1				

● 指標の考え方:

②の指標が「*」の場合は、参考としてこの施策に関連する指標を記載しています。

「2 施策の実績 (現在の状況)」の結果をまとめています。

3 まとめ

「2①市民意識」の満足度 (市民満足度調査結果) の内容をまとめています。

「2①市民意識」の重要度 (市民満足度調査結果) の内容をまとめています。

「2②名古屋新世紀計画 2010 第 2 次実施計画の数値目標の進捗状況」をまとめています。

施策別シート

部 門 名	1-1-1 高齢者福祉
施 策 名	1 安心して介護が受けられる仕組みづくり
関 係 局	健康福祉局

1 施策の目的

① 基本方針

介護を要する高齢者が必要なサービスを利用できるよう介護サービスの基盤整備をすすめるとともに、安心してサービスが受けられるようサービスの質の確保や利用者保護の仕組みづくりをすすめる、介護保険制度を円滑に推進します。

② 達成目標

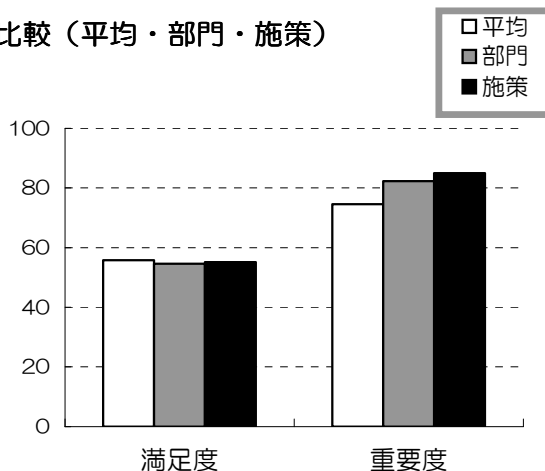
対象(誰を・何を)	意図(どういう状態にしたいか)
介護を必要とする高齢者	特別養護老人ホーム・介護老人保健施設・在宅サービスセンターなどの介護サービスの基盤整備をすすめることにより、必要なサービスを利用できるようにするとともに、サービスの質の確保や利用者保護の仕組みづくりをすすめることにより、安心してサービスが受けられるようにします。

2 施策の実績(現在の状況)

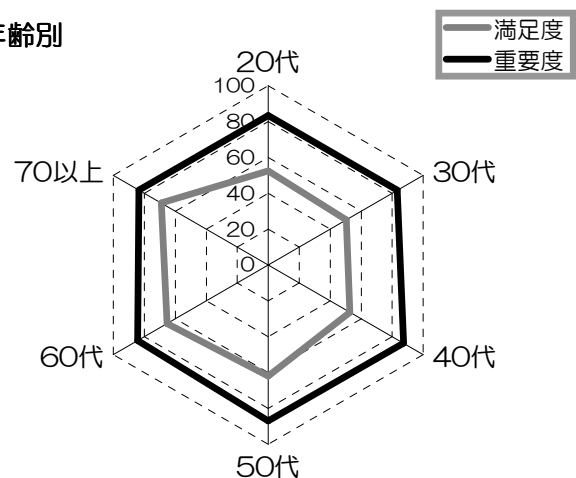
① 市民意識

満足度	☆☆ (55.2)	重要度	☆☆☆ (85.0)
-----	-----------	-----	------------

比較(平均・部門・施策)



年齢別



② 名古屋新世紀計画 2010 第 2 次実施計画の数値目標の進捗状況

No.	指標	計画策定時の数値	16 年度実績値	目標値		進捗状況	所管局
				18 年度	22 年度		
1	利用している在宅介護サービスに関する満足度	79.7% (14 年度)	82.2%	85%	90%	☆☆☆	健康福祉局
	● 目標設定の考え方:利用している在宅サービスの質や内容について満足している人の割合を高めます。						

3 まとめ

- 満足度は、全施策平均とほぼ同等で、部門平均ともほぼ同等になっています。また、年齢別では、50 歳代以上では全施策平均を上回り、とりわけ施策の主な対象である 60 歳代と 70 歳代以上で高くなっています。
- 重要度は、全施策中 8 番目に高く、部門平均も上回っています。また、年齢別では、どの年代においても全施策平均を上回り、とりわけ 40 歳代と 50 歳代で高くなっています。
- 第 2 次実施計画の数値目標では、在宅介護サービス利用者の満足が得られており、目標達成に向けて順調にすすんでいます。

施 策 別 シ ー ト

部 門 名	1-1-1 高齢者福祉
施 策 名	2 地域において安心して生活できるための支援
関 係 局	健康福祉局

1 施策の目的

① 基本方針

相談や援助の充実、生活の場の確保など、自立して生活するには不安のあるひとり暮らし高齢者などが地域で安心して暮らすことができるよう支援します。

② 達成目標

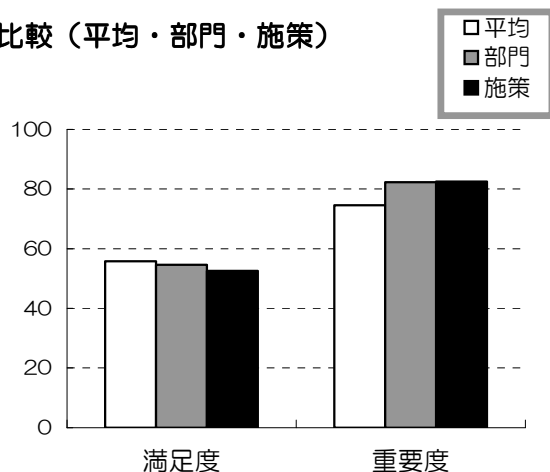
対象(誰を・何を)	意図(どういう状態にしたいか)
自立して生活するには不安のあるひとり暮らしなどの高齢者	配食サービスによる食生活の支援および安否確認を始めとする在宅生活の支援や、養護老人ホームやケアハウスといった生活の場を確保することにより、地域で安心して暮らすことができるようにします。

2 施策の実績(現在の状況)

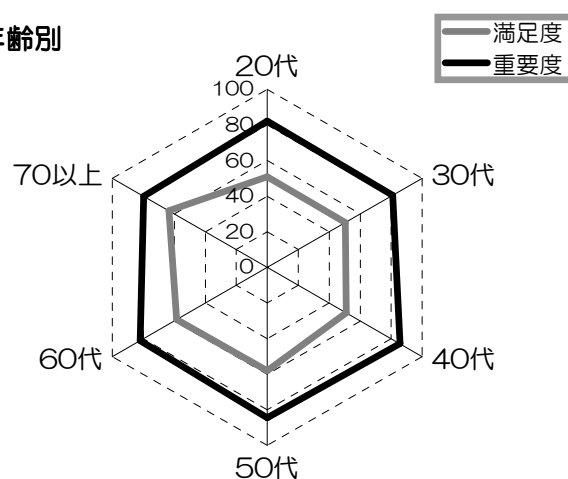
① 市民意識

満足度	☆☆ (52.6)	重要度	☆☆☆ (82.5)
-----	-----------	-----	------------

比較(平均・部門・施策)



年齢別



② 名古屋新世紀計画 2010 第 2 次実施計画の数値目標の進捗状況

No.	指標	計画策定時の数値	16 年度実績値	目標値		進捗状況	所管局
				18 年度	22 年度		
1	日常生活が自立している高齢者の割合	85% (15 年度)	85%	85%	85%	☆☆☆	健康福祉局
	● 目標設定の考え方: 要支援・要介護者に該当しない高齢者の割合を維持します。						

3 まとめ

- 満足度は、全施策平均を下回り、部門平均も下回っています。また、年齢別では、50 歳代以上では全施策平均を上回り、とりわけ施策の対象でもある 70 歳代以上で高くなっています。
- 重要度は、全施策平均を上回り、部門平均とほぼ同等になっています。また、年齢別では、どの年代においても全施策平均を上回っていますが、そのうち 40 歳代と 50 歳代では高く、施策の対象でもある 70 歳代以上では低くなっています。
- 第 2 次実施計画の数値目標では、要支援・要介護者に該当しない高齢者の割合が維持されており、目標達成に向けて順調にすすんでいます。

施策別シート

部 門 名	1-1-1 高齢者福祉
施 策 名	3 健康で生きがいを感じられる生活への支援
関 係 局	健康福祉局

1 施策の目的

① 基本方針

壮年期からの健康づくり事業を推進し、ねたきりなどにならないための予防をすすめるとともに、就業、文化活動、地域活動、ボランティア活動などを通じて、自己実現と社会参加をはかることができるよう支援します。

② 達成目標

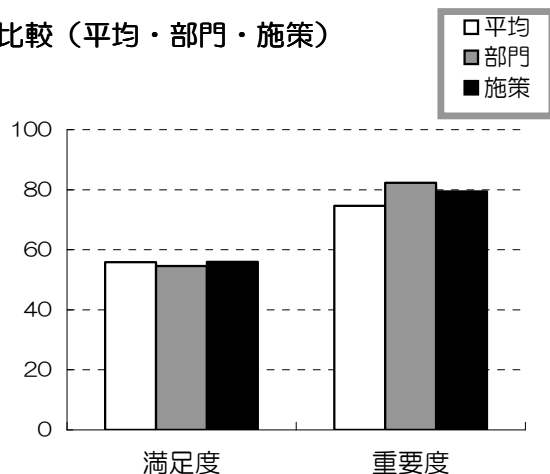
対象(誰を・何を)	意図(どういう状態にしたいか)
おおむね元気な高齢者	生きがいを持った生活を送り、地域社会に貢献できるように社会参加を支援するとともに、介護を必要とする状態にならないようにします。

2 施策の実績(現在の状況)

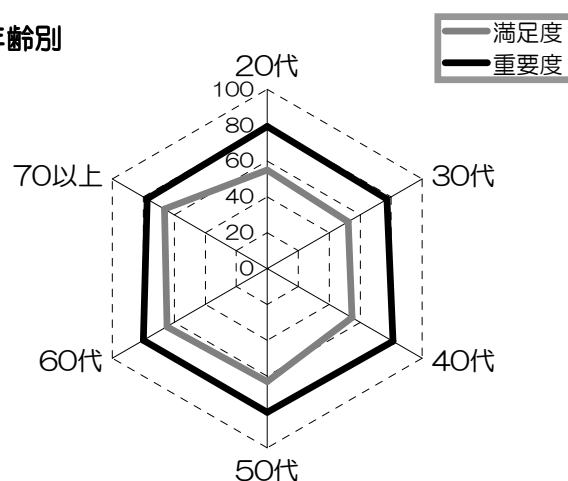
① 市民意識

満足度	☆☆ (56.0)	重要度	☆☆ (79.4)
-----	-----------	-----	-----------

比較(平均・部門・施策)



年齢別



② 名古屋新世紀計画 2010 第 2 次実施計画の数値目標の進捗状況

No.	指標	計画策定時の数値	16 年度実績値	目標値		進捗状況	所管局
				18 年度	22 年度		
1	自分が健康であると 感じている高齢者の 割合	58% (13 年度)	57% (参考値)	59%	60%	*	健康福祉 局
	● 目標設定の考え方: 6 割程度の高齢者が自分の健康状態を良いと評価する状態とします。						
2	シルバー人材センタ ーを通じて働く高齢 者の就業延べ人数	489,711 人 (14 年度)	631,909 人	550,000 人	790,000 人	☆☆☆	健康福祉 局
	● 目標設定の考え方: 高齢者の社会参加を促進し、シルバー人材センターを通じて就業する高齢者を増やします。						

3 まとめ

- 満足度は、全施策平均とほぼ同等で、部門平均を上回っています。また、年齢別では、50 歳代以上では全施策平均を上回り、とりわけ施策の主な対象である 60 歳代と 70 歳代以上で高くなっています。
- 重要度は、全施策平均を上回り、部門平均を下回っています。また、年齢別では、どの年代においても全施策平均を上回っていますが、そのうち 30 歳代と 70 歳代以上では低くなっています。
- 第 2 次実施計画の数値目標では、自分が健康であると感じている高齢者の割合は、16 年度実績が参考値のため、進捗状況はどちらとも言えませんが、シルバー人材センターを通じて働く高齢者の就業延べ人数は 18 年度目標をすでに達成しています。

施策別シート

部 門 名	1-1-2 児童福祉
施 策 名	1 子どもを生み育てやすい環境づくり
関 係 局	健康福祉局

1 施策の目的

① 基本方針

子育てしながら安心して働くことができるための保育サービスの充実や、子育ての不安や悩みの解消に向けて相談体制の充実や交流活動への支援など、家庭や子育てに夢が持てる環境づくりをすすめます。

② 達成目標

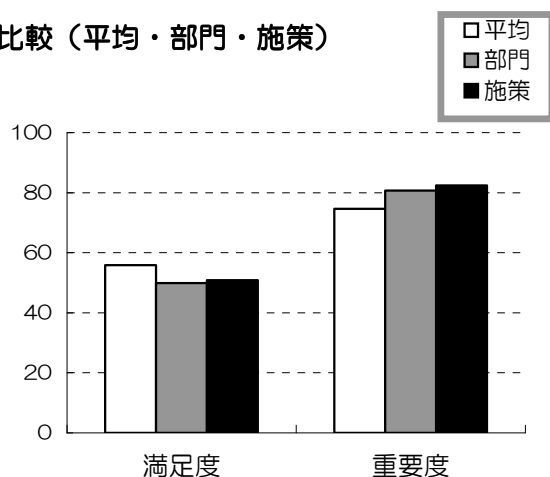
対象(誰を・何を)	意図(どういう状態にしたいか)
子どもと子育て家庭 (主に就学前児童)	保育サービスの充実や子育て支援の推進により、安心して子どもを生み、育てやすい環境をつくれます。

2 施策の実績(現在の状況)

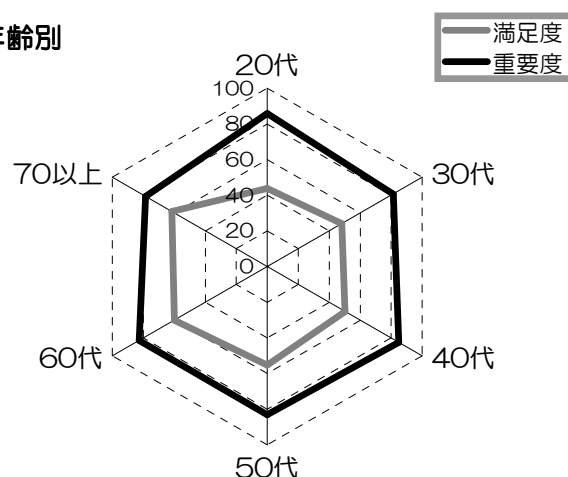
① 市民意識

満足度	☆ (50.8)	重要度	☆☆☆ (82.5)
-----	----------	-----	------------

比較(平均・部門・施策)



年齢別



② 名古屋新世紀計画 2010 第 2 次実施計画の数値目標の進捗状況

No.	指標	計画策定時の数値	16 年度実績値	目標値		進捗状況	所管局
				18 年度	22 年度		
1	子育てに不安を感じていない親の割合	31.6% (13 年度)	39.5% (参考値)	35%	40%	*	健康福祉局
	●目標設定の考え方:男女が主体性を持って取り組むことを支援することで育児不安の軽減をはかります。						
2	のびのび子育てサポート事業による子育て支援活動件数	5,881 件 (14 年度)	10,951 件	10,000 件	17,000 件	☆☆☆	健康福祉局
	●目標設定の考え方:子育ての支援をしてほしい人と手助けしたい人の仲介を行い、市民どうしの子育て援助活動を支援します。						

3 まとめ

- 満足度は、全施策平均を下回り、部門平均とほぼ同等になっています。また、年齢別では、60 歳代と 70 歳代以上では全施策平均を上回っていますが、施策の対象でもある 20～40 歳代では下回り、とりわけ 20 歳代と 30 歳代で「満足」と「不満足」のボーダーラインである 50 ポイントを下回っています。
- 重要度は、全施策平均を上回り、部門平均も上回っています。また、年齢別では、どの年代においても全施策平均を上回っていますが、そのうち施策の対象でもある 20 歳代と 40 歳代では高く、70 歳代以上では低くなっています。
- 第 2 次実施計画の数値目標では、子育てに不安を感じていない親の割合は、16 年度実績が参考値のため、進捗状況はどちらとも言えませんが、のびのび子育てサポート事業による子育て支援活動件数は 18 年度目標をすでに達成しています。

施 策 別 シ ー ト

部 門 名	1-1-2 児童福祉
施 策 名	2 子どもが健やかに育つ環境づくり
関 係 局	健康福祉局

1 施策の目的

① 基本方針

豊かな遊びと体験活動による子どもの健全育成をすすめるなど、子どもが健やかに育つことのできる環境づくりをすすめます。

② 達成目標

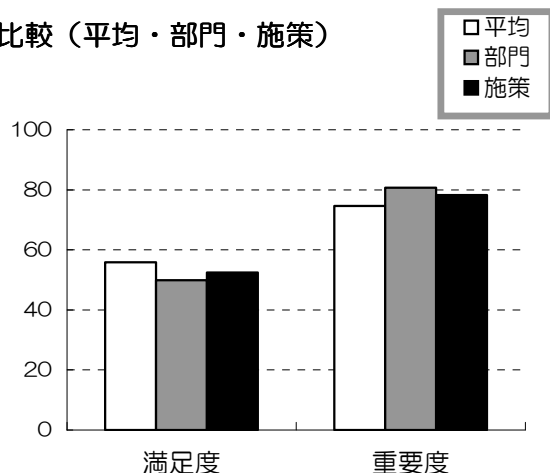
対象(誰を・何を)	意図(どういう状態にしたいか)
子どもと子育て家庭	遊びなどをとおして、子どもたちの健やかな成長をはかり、その健康を増進し、情操を豊かにすることを目的としています。 また、保護者が就労等により昼間家庭にいないため、適切な監護を必要とする留守家庭児童の健全育成をはかります。

2 施策の実績(現在の状況)

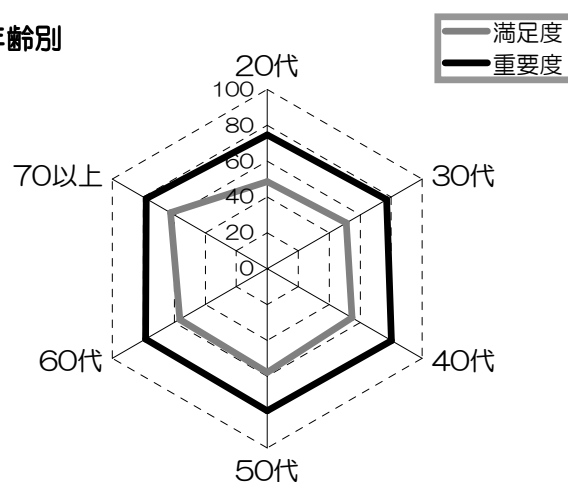
① 市民意識

満足度	☆☆ (52.4)	重要度	☆☆ (78.3)
-----	-----------	-----	-----------

比較 (平均・部門・施策)



年齢別



② 名古屋新世紀計画 2010 第 2 次実施計画の数値目標の進捗状況

No.	指標	計画策定時の数値	16 年度実績値	目標値		進捗状況	所管局
				18 年度	22 年度		
1	児童館の利用者の満足度	93% (13 年度)	98%	95%	98%	☆☆☆	健康福祉局
	●目標設定の考え方:身近な遊び場である児童館を利用する子どもたちの満足度を高めます。						

3 まとめ

- 満足度は、全施策平均を下回り、部門平均を上回っています。また、年齢別では、50 歳代以上では全施策平均を上回り、とりわけ 70 歳代以上で高くなっていますが、施策の主な対象である 20～40 歳代では全施策平均を下回り、とりわけ 20 歳代で「満足」と「不満足」のボーダーラインである 50 ポイントを下回っています。
- 重要度は、全施策平均を上回り、部門平均を下回っています。年齢別の重要度をみると、30 歳代以上では全施策平均を上回っていますが、20 歳代ではほぼ同等になっています。
- 第 2 次実施計画の数値目標をみると、児童館における子どもたちの満足度が 22 年度目標をすでに達成しており、順調にすすんでいます。

施策別シート

部 門 名	1-1-2 児童福祉
施 策 名	3 援助を必要とする子どもと家庭の自立の支援
関 係 局	健康福祉局

1 施策の目的

① 基本方針

子どもへの虐待などの問題の発生防止、早期発見・早期対応の体制を強化するとともに、家庭において養育が困難な子どもやひとり親家庭など、援助を必要とする子どもと家庭の自立を支援します。

② 達成目標

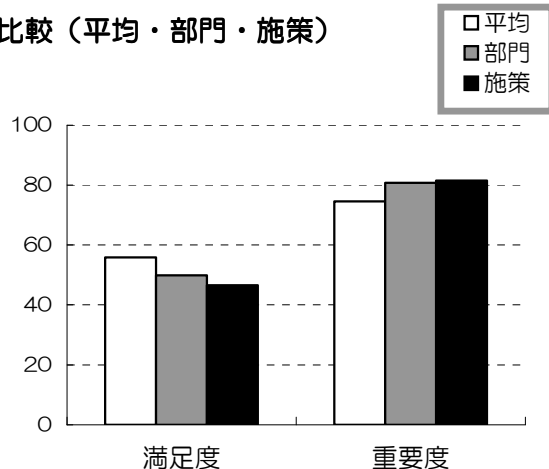
対象(誰を・何を)	意図(どういう状態にしたいか)
援助を必要とする子どもと家庭	相談・支援体制の整備を推進することで、援助を必要とする子どもと家庭が安心して安定した生活を確保できるよう支援するとともに、その自立を促進します。

2 施策の実績(現在の状況)

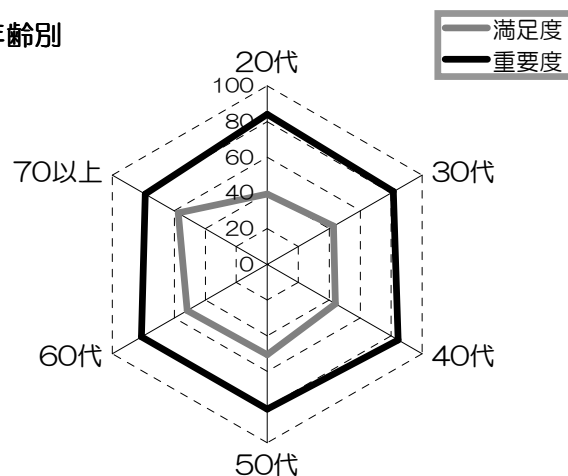
① 市民意識

満足度	☆ (46.5)	重要度	☆☆☆ (81.5)
-----	----------	-----	------------

比較(平均・部門・施策)



年齢別



② 名古屋新世紀計画 2010 第 2 次実施計画の数値目標の進捗状況

No.	指標	計画策定時の数値	16 年度実績値	目標値		進捗状況	所管局
				18 年度	22 年度		
1	児童養護施設、乳児院からの家庭復帰および自立率	83% (14 年度)	76%	87%	91%	☆	健康福祉局
	●目標設定の考え方:家庭復帰(里親委託を含む)や自立の促進につとめ、児童が安定した生活の場で健やかに成長できるようにします。						

3 まとめ

- 満足度は、全施策平均を下回り、部門平均も下回っています。また、年齢別では、70 歳代以上を除き全施策平均を下回り、とりわけ施策の主な対象である 20～40 歳代では「満足」と「不満足」のボーダーラインである 50 ポイントを下回っています。
- 重要度は、全施策平均を上回り、部門平均とほぼ同等になっています。また、年齢別では、どの年代においても全施策平均を上回っていますが、そのうち施策の主な対象である 20 歳代と 40 歳代では高く、70 歳代以上では低くなっています。
- 第 2 次実施計画の数値目標では、家庭復帰や自立の割合が下がっており、目標達成に向けて遅れが見受けられます。

施策別シート

部 門 名	1-1-3 障害児・障害者福祉
施 策 名	1 地域における自立した生活の実現
関 係 局	健康福祉局

1 施策の目的

① 基本方針

障害者が地域で自立した生活を送ることができるよう、地域での療育や、リハビリテーション、精神保健の充実をはかるとともに、身近な場所での相談機能の充実や地域での生活の場の確保などの支援をすすめます。

② 達成目標

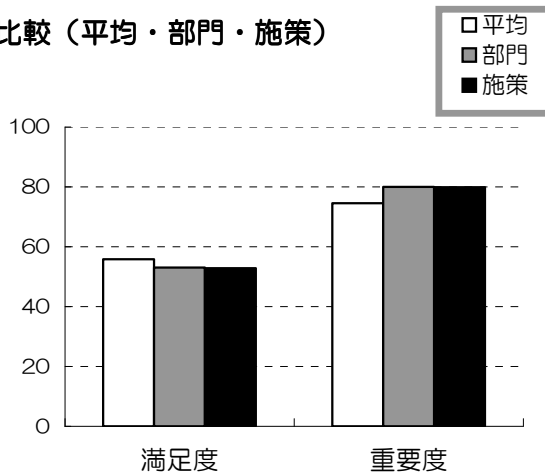
対象(誰を・何を)	意図(どういう状態にしたいか)
障害児者	多様なニーズに対応する相談支援体制の拡充やサービスの充実、地域生活を支援するさまざまな生活支援サービスの拡充や、日中活動の場の確保をはかるための通所施設等の基盤整備など地域での生活の場の確保につとめ、従来の入所施設における集団的な生活から地域生活への移行を促進するなど、「自己選択」と「自己決定」に基づいた障害者の自立した地域生活を実現します。

2 施策の実績(現在の状況)

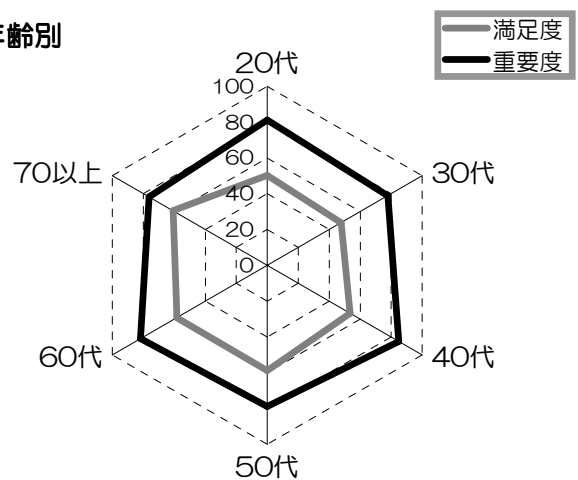
① 市民意識

満足度	☆☆ (52.9)	重要度	☆☆ (79.9)
-----	-----------	-----	-----------

比較 (平均・部門・施策)



年齢別



② 名古屋新世紀計画 2010 第 2 次実施計画の数値目標の進捗状況

No.	指標	計画策定時の数値	16 年度実績値	目標値		進捗状況	所管局
				18 年度	22 年度		
1	利用している支援費制度の在宅サービスに関する満足度	79% (15 年度)	75%	85%	90%	☆	健康福祉局
	● 目標設定の考え方:利用している在宅サービスの質や内容について満足している人の割合を高めます。						

3 まとめ

- 満足度は、全施策平均を下回り、部門平均とほぼ同等になっています。また、年齢別では、50 歳代以上では全施策平均を上回っていますが、20～40 歳代では下回り、とりわけ 30 歳代で「満足」と「不満足」のボーダーラインである 50 ポイントを下回っています。
- 重要度は、全施策平均を上回り、部門平均とほぼ同等になっています。また、年齢別では、どの年代においても全施策平均を上回っていますが、そのうち 40 歳代では高く、70 歳代以上で低くなっています。
- 第 2 次実施計画の数値目標では、障害者支援費制度の在宅サービス利用者の満足度は下がっており、目標達成に向けて遅れが見受けられます。

施 策 別 シ ー ト

部 門 名	1-1-3 障害児・障害者福祉
施 策 名	2 障害の重度化、重複化および障害者、介護者の高齢化への対応
関 係 局	健康福祉局

1 施策の目的

① 基本方針

重症心身障害児者への支援や障害児者施設の整備を推進し、障害の重度化、重複化および障害者、介護者の高齢化への対応をすすめます。

② 達成目標

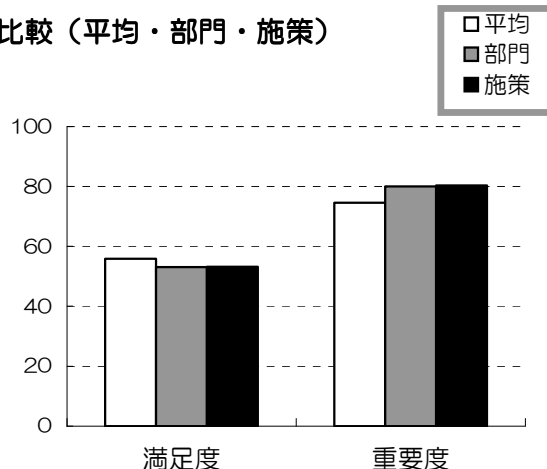
対象(誰を・何を)	意図(どういう状態にしたいか)
障害児者	重度の知的障害と重度の肢体不自由が重複している重症心身障害児者や地域生活が困難な重度障害者が入所する施設を整備するとともに、在宅の重症心身障害児者や重度障害者を支援するための事業を拡充します。

2 施策の実績(現在の状況)

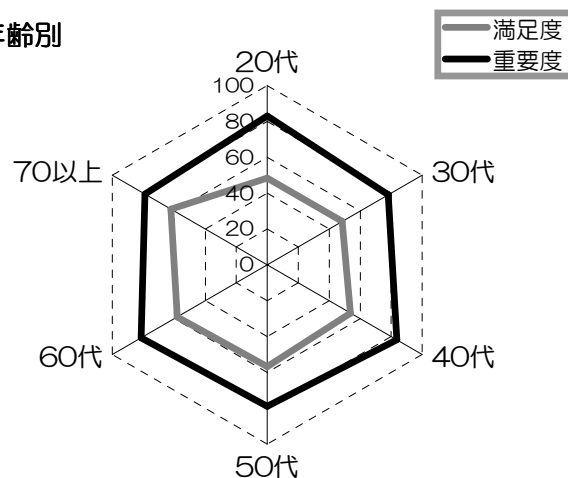
① 市民意識

満足度	☆☆ (53. 2)	重要度	☆☆ (80. 3)
-----	------------	-----	------------

比較(平均・部門・施策)



年齢別



② 名古屋新世紀計画 2010 第 2 次実施計画の数値目標の進捗状況

No.	指標	計画策定時の数値	16 年度実績値	目標値		進捗状況	所管局
				18 年度	22 年度		
1	在宅重症心身障害児者の通所施設等の利用率	80% (14 年度)	80%	85%	90%	☆	健康福祉局
	● 目標設定の考え方:在宅での生活を支援し、終日家の中に引きこもる重症心身障害児者を減らします。						

3 まとめ

- 満足度は、全施策平均を下回り、部門平均とほぼ同等になっています。また、年齢別では、50 歳代以上では全施策平均を上回り、とりわけ 70 歳代以上で高くなっていますが、20～40 歳代では全施策平均を下回り、とりわけ 20 歳代と 30 歳代で「満足」と「不満足」のボーダーラインである 50 ポイントを下回っています。
- 重要度は、全施策平均を上回り、部門平均とほぼ同等になっています。また、年齢別では、どの年代においても全施策平均を上回っていますが、そのうち 20 歳代と 40 歳代では高く、30 歳代では低くなっています。
- 第 2 次実施計画の数値目標では、在宅重症心身障害児者の通所施設等の利用率はあまり伸びておらず、目標達成に向けて遅れが見受けられます。

施策別シート

部 門 名	1-1-3 障害児・障害者福祉
施 策 名	3 就労の場の確保と社会参加の促進
関 係 局	健康福祉局

1 施策の目的

① 基本方針

就労に向けての支援や働く場の確保、活動しやすい環境づくりを通じて、社会的に自立した生活の実現と、社会参加の促進をはかります。

② 達成目標

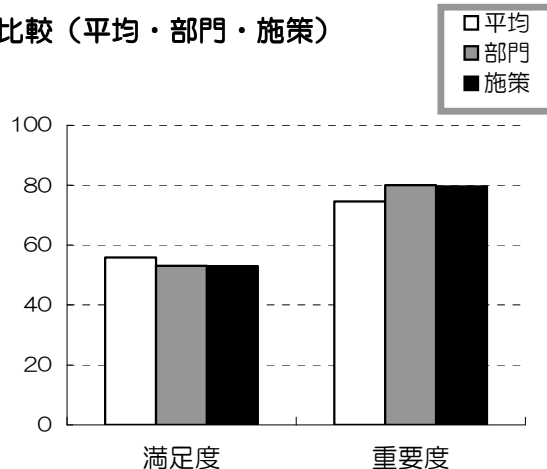
対象(誰を・何を)	意図(どういう状態にしたいか)
障害児者	一般企業への就労を拡充するための支援策をすすめるとともに、通所授産施設の整備や小規模作業所への支援をすすめ、障害者の社会的な自立をはかるほか、外出支援策を推進し社会参加の円滑化をはかります。

2 施策の実績(現在の状況)

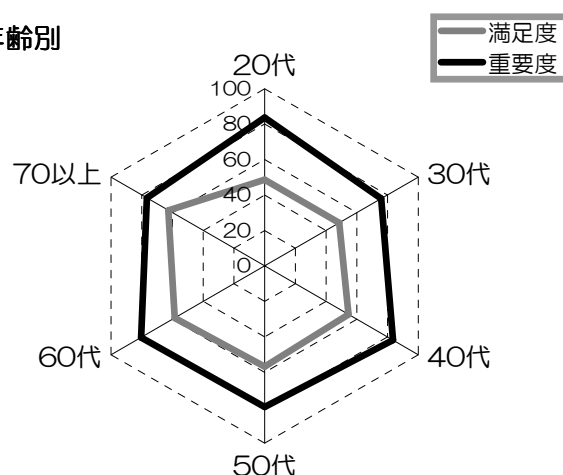
① 市民意識

満足度	☆☆ (53.0)	重要度	☆☆ (79.6)
-----	-----------	-----	-----------

比較(平均・部門・施策)



年齢別



② 名古屋新世紀計画 2010 第 2 次実施計画の数値目標の進捗状況

No.	指標	計画策定時の数値	16 年度実績値	目標値		進捗状況	所管局
				18 年度	22 年度		
1	授産施設等に通っている知的障害者の割合	32% (14 年度)	32%	35%	39%	☆	健康福祉局
● 目標設定の考え方: 通所授産施設等に通う知的障害者を増やします。							

3 まとめ

- 満足度は、全施策平均を下回り、部門平均とほぼ同等になっています。また、年齢別では、50 歳代以上では全施策平均を上回り、とりわけ 70 歳代以上で高くなっていますが、20～40 歳代以下では全施策平均を下回り、とりわけ 20 歳代と 30 歳代で「満足」と「不満足」のボーダーラインである 50 ポイントを下回っています。
- 重要度は、全施策平均を上回り、部門平均とほぼ同等になっています。また、年齢別では、どの年代においても全施策平均を上回っていますが、そのうち 20 歳代と 40 歳代では高く、30 歳代と 70 歳代以上では低くなっています。
- 第 2 次実施計画の数値目標では、通所授産施設等に通う知的障害者の割合があまり伸びておらず、目標達成に向けて遅れが見受けられます。

施策別シート

部 門 名	1-1-4 福祉のまちづくり
施 策 名	1 すべての人にやさしいまちづくりの推進
関 係 局	健康福祉局、住宅都市局、緑政土木局、交通局

1 施策の目的

① 基本方針

公共的建築物や公共交通機関などの都市施設の整備にあたっては、福祉都市環境整備指針をふまえ、ユニバーサルデザインの視点に立ってすすめるとともに、バリアフリーの実現につとめ、障害の有無にかかわらずすべての人がともに理解し、尊重しあいながら暮らすことができるまちづくりをすすめます。

② 達成目標

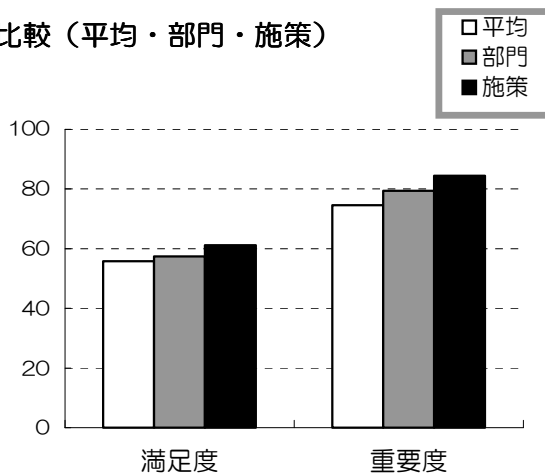
対象(誰を・何を)	意図(どういう状態にしたいか)
市民	障害種別によるニーズの多様化や個別化への対応を始め、すべての人が利用しやすい都市施設のバリアフリー整備をすすめるとともに、心(意識)のバリアフリーを促進し、障害者や高齢者が住み慣れた地域でごく当たり前で暮らせるような環境を整備します。

2 施策の実績(現在の状況)

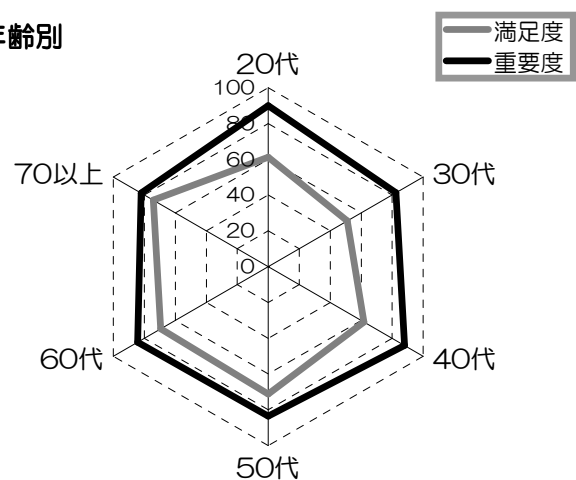
① 市民意識

満足度	☆☆☆ (61. 1)	重要度	☆☆☆ (84. 5)
-----	-------------	-----	-------------

比較 (平均・部門・施策)



年齢別



② 名古屋新世紀計画 2010 第 2 次実施計画の数値目標の進捗状況

No.	指標	計画策定時の数値	16 年度実績値	目標値		進捗状況	所管局
				18 年度	22 年度		
1	地下鉄駅において車いすルートが確保されている割合	55% (14 年度)	75%	87%	100%	☆☆☆	交通局
	●目標設定の考え方:平成 22 年度までにすべての地下鉄駅での確保をめざします。						
2	民間鉄道駅舎において車いすルートが確保されている割合	45% (14 年度)	64%	63%	74%	☆☆☆	健康福祉局
	●目標設定の考え方:市内の民間鉄道駅舎のうち、1 日の利用者数 5 千人以上など大規模な駅での車いすルートの確保をすすめます。						

3 まとめ

- 満足度は、全施策平均を上回っています。また、年齢別では、30 歳代では全施策平均を下回っていますが、他の年代では上回り、とりわけ 50 歳代と 70 歳代以上で高くなっています。
- 重要度は、全施策平均を上回っています。また、年齢別では、どの年代においても全施策平均を上回り、とりわけ 20 歳代で高くなっています。
- 第 2 次実施計画の数値目標では、地下鉄駅、民間鉄道駅舎のいずれも車いすルートが着実に確保されており、目標達成に向けて順調にすすんでいます。

施策別シート

部 門 名	1-1-4 福祉のまちづくり
施 策 名	2 地域で支えあう福祉の促進
関 係 局	健康福祉局、緑政土木局

1 施策の目的

① 基本方針

ボランティアなど地域住民による福祉活動を育成、支援するとともに公的なサービスとの連携をはかり、地域で支える福祉の仕組みづくりをすすめます。

② 達成目標

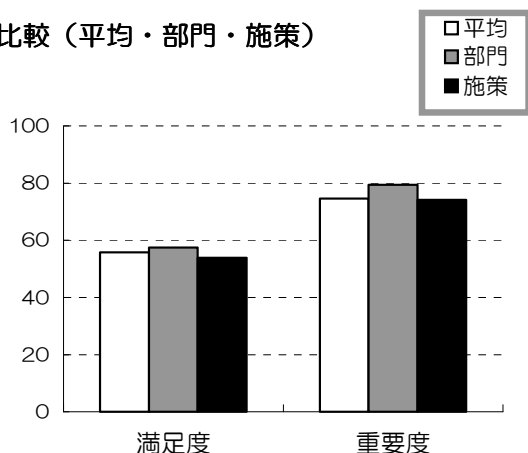
対象(誰を・何を)	意図(どういう状態にしたいか)
市民	地域住民による自主的な福祉活動を支援することにより、日常的な助けあい、支えあいの仕組みづくりをすすめ、公的なサービスだけでは十分に対応できない不安や困りごとを軽減・解消し、一人ひとりが地域に愛着を持ち、住み慣れた地域で安心して暮らせるようにします。 住居のない者(ホームレス)の自立と安定をはかり、再度、住居のない状態に戻さないようにします。

2 施策の実績(現在の状況)

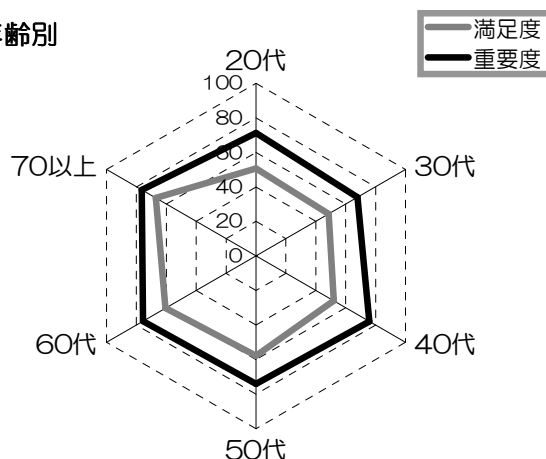
① 市民意識

満足度	☆☆ (53. 8)	重要度	☆☆ (74. 1)
-----	------------	-----	------------

比較(平均・部門・施策)



年齢別



② 名古屋新世紀計画 2010 第 2 次実施計画の数値目標の進捗状況

No.	指標	計画策定時の数値	16 年度実績値	目標値		進捗状況	所管局
				18 年度	22 年度		
1	地域での支えあい活動に関心のある市民の割合	67.5% (15 年度)	74.7% (参考値)	70%	80%	*	健康福祉局
	● 目標設定の考え方: 地域における支えあいの仕組みづくりへの意識を高め、支えあい活動の担い手を増やします。						

③ 参考指標による状況

No.	指標	15 年度実績値	16 年度実績値	所管局
1	住居のない者(ホームレス)の自立支援事業、緊急一時宿泊施設(シェルター)、更生施設の運営か所数	3 か所	6 か所	健康福祉局
	● 指標の考え方: さまざまな施設・事業により、住居のない者(ホームレス)の援護、自立支援をはかります。			

3 まとめ

- 満足度は、全施策平均を下回っています。また、年齢別では、50 歳代以上では全施策平均を上回り、とりわけ 70 歳代以上で高くなっていますが、20～40 歳代では全施策平均を下回り、とりわけ 30 歳代で「満足」と「不満足」のボーダーラインである 50 ポイントを下回っています。
- 重要度は、全施策平均とほぼ同等になっています。また、年齢別では、40 歳代以上では全施策平均を上回るか、ほぼ同等ですが、20 歳代と 30 歳代では下回っています。
- 第 2 次実施計画の数値目標では、16 年度実績が参考値のため、進捗状況はどちらとも言えませんが、参考指標をみると、住居のない者(ホームレス)の支援等を行う施設・事業が新たに整備されています。

施策別シート

部 門 名	1-2 健康
施 策 名	1 生涯にわたる心身両面の健康づくり
関 係 局	健康福祉局

1 施策の目的

① 基本方針

すべての市民が健康で明るく元気に生活できるよう、市民一人ひとりの自主的な健康づくりの意識の高揚をはかるとともに、壮年期死亡の減少、健康寿命の延伸および生活の質の向上をめざして、生活習慣病の予防につとめ、市民の生涯を通じた主体的な健康づくりを支援します。

母と子の健康の保持増進のため、妊産婦、乳幼児に対する健康診査・保健指導などを行うとともに、妊娠・出産や子どもの成長に悪影響を及ぼす恐れのある喫煙や食習慣などに対する指導をすすめます。

② 達成目標

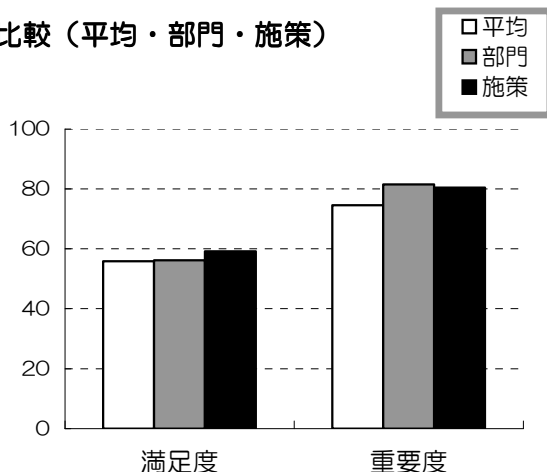
対象(誰を・何を)	意図(どういう状態にしたいか)
市民	市民の生涯を通じた主体的な健康づくりを支援することにより、健康寿命の延伸および生活の質の向上をはかります。また、社会構造の変化にともなう市民ニーズの多様化・高度化に対応して誰もが安心して充実した毎日を送ることができるよう、保健・医療・福祉施策の充実をはかります。

2 施策の実績(現在の状況)

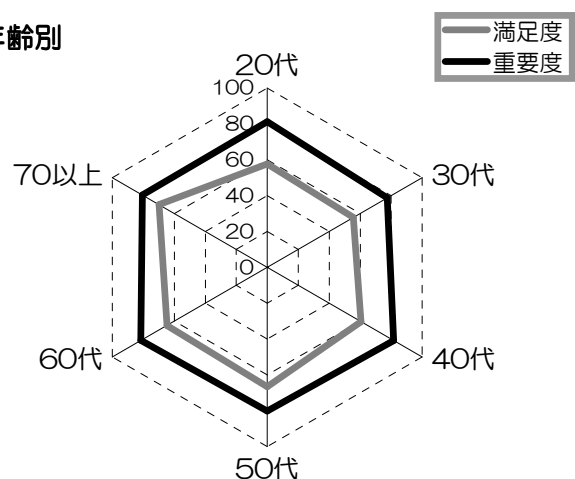
① 市民意識

満足度	☆☆ (59.1)	重要度	☆☆ (80.5)
-----	-----------	-----	-----------

比較(平均・部門・施策)



年齢別



② 名古屋新世紀計画 2010 第 2 次実施計画の数値目標の進捗状況

No.	指標	計画策定時の数値	16 年度実績値	目標値		進捗状況	所管局
				18 年度	22 年度		
1	自分が健康であると 感じている市民の割合	68.5% (13 年度)	68.1% (参考値)	69%	70%	*	健康福祉局
	● 目標設定の考え方:健康なごやプラン 21 を推進し、7 割程度の市民が自分の健康状態を良いと評価する状態とします。						

③ 参考指標による状況

No.	指標	15 年度実績値	16 年度実績値	所管局
1	成人基本健康診査*受診率	54%	55%	健康福祉局
	● 指標の考え方:受診率の向上をはかることにより、生活習慣の改善意識の向上をはかっていきます。			

※ 職域等で受診する機会のない 40 歳以上の市民を対象に実施する健康診査

3 まとめ

- 満足度は、全施策平均を上回り、部門平均も上回っています。また、年齢別では、どの年代においても全施策平均を上回るか、ほぼ同等で、とりわけ 40 歳代以上で高くなっています。
- 重要度は、全施策平均を上回り、部門平均とほぼ同等になっています。また、年齢別では、どの年代においても全施策平均を上回っていますが、そのうち 30 歳代では低くなっています。
- 第 2 次実施計画の数値目標では、16 年度実績が参考値のため、進捗状況はどちらとも言えませんが、参考指標をみると、成人基本健康診査の受診率は向上しています。

施策別シート

部 門 名	1-2 健康
施 策 名	2 感染症対策および健康危機管理の推進
関 係 局	健康福祉局

1 施策の目的

① 基本方針

感染症の予防につとめるとともに、生命、健康を脅かす事態が発生した場合には、迅速かつ適切な対応をはかり、被害を最小限にとどめる危機管理体制の整備を推進します。

② 達成目標

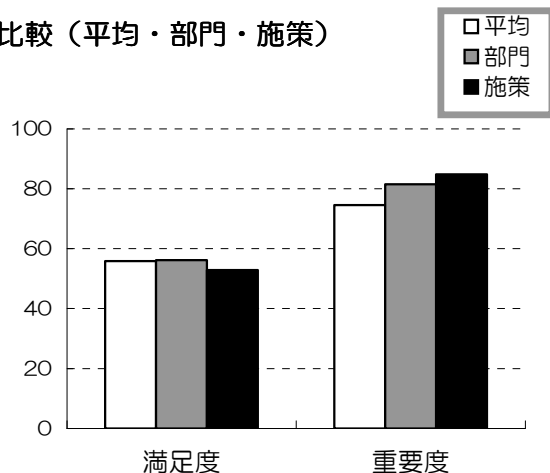
対象(誰を・何を)	意図(どういう状態にしたいか)
市民	感染症対策の推進により、感染症のまん延による市民の健康危機の発生を防止します。

2 施策の実績(現在の状況)

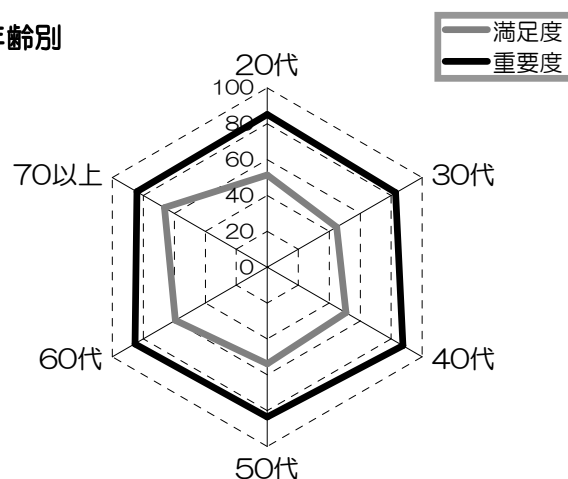
① 市民意識

満足度	☆☆ (52.9)	重要度	☆☆☆ (84.8)
-----	-----------	-----	------------

比較(平均・部門・施策)



年齢別



② 名古屋新世紀計画 2010 第 2 次実施計画の数値目標の進捗状況

No.	指標	計画策定時の数値	16 年度実績値	目標値		進捗状況	所管局
				18 年度	22 年度		
1	新・1・2 類感染症の二次感染者の数	0 (14 年度)	0	0	0	☆☆☆	健康福祉局
	● 目標設定の考え方: 新・1・2 類二次感染患者発生状況						
2	市民 10 万人当たりの結核の新規患者数	39.2 人 (14 年度)	36.2 人	35 人	30 人	☆☆☆	健康福祉局
	● 目標設定の考え方: 他の政令指定都市に比べて高い結核の罹患率を下げます。						

3 まとめ

- 満足度は、全施策平均を下回り、部門平均も下回っています。また、年齢別では、60 歳代と 70 歳代以上では全施策平均を上回り、とりわけ 70 歳以上で高くなっていますが、20～50 歳代では全施策平均を下回り、とりわけ 30 歳代で「満足」と「不満足」のボーダーラインである 50 ポイントを下回っています。
- 重要度は、全施策中 9 番目に高く、部門平均も上回っています。また、年齢別では、どの年代においても全施策平均を上回り、とりわけ 40 歳代で高くなっています。
- 第 2 次実施計画の数値目標では、新・1・2 類感染症の二次感染の件数は 0 になっており、また、市民 10 万人当たりの結核の新規患者数も減っており、目標達成に向けて順調にすすんでいます。

施策別シート

部 門 名	1-2 健康
施 策 名	3 適切で迅速な医療とリハビリテーションの充実
関 係 局	健康福祉局、市立大学

1 施策の目的

① 基本方針

市立大学病院の機能拡充、市立病院の整備をすすめ、高度化・専門化した医療ニーズなどに対応した医療の提供をはかるとともに救急医療の充実につとめます。

② 達成目標

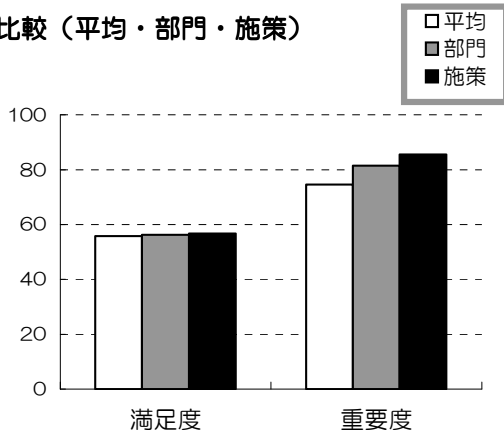
対象(誰を・何を)	意図(どういう状態にしたいか)
市民	市立病院においては、多様化・高度化する市民の医療ニーズに対応し、より質の高い医療を提供するとともに、患者が主体的に選択でき、安全で安心できる医療を提供します。 また、市内における休日などの診療時間外の医療に対応するため、救急医療体制を確保します。 市立大学病院においては、高度先進医療機能とこの地域の中核的医療機関としての機能を一層充実することにより、市民の健康と福祉の増進をはかるとともに、市立病院等との間で電子カルテシステムを活用したネットワークを構築することにより、患者情報の共有化をすすめます。 また、紹介患者の受け入れ体制の整備など、地域の医療機関との機能分担・連携をはかります。

2 施策の実績(現在の状況)

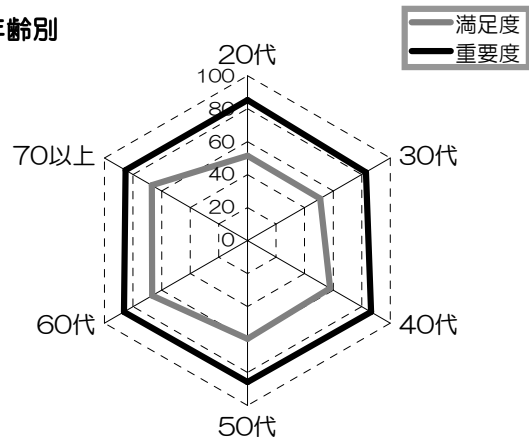
① 市民意識

満足度	☆☆ (56.7)	重要度	☆☆☆ (85.6)
-----	-----------	-----	------------

比較(平均・部門・施策)



年齢別



② 名古屋新世紀計画 2010 第 2 次実施計画の数値目標の進捗状況

No.	指標	計画策定時の数値	16 年度実績値	目標値		進捗状況	所管局
				18 年度	22 年度		
1	市立病院に対してよい印象を持つ利用者の割合	68% (14 年度)	81%	75%	90%	☆☆☆	健康福祉局
	●目標設定の考え方:医療内容、インフォームド・コンセント、施設の整備などにより総合的な評価の向上をめざします。						
2	市立大学病院における地域医療機関からの紹介患者率	43% (14 年度)	44%	50%	55%	☆	市立大学
	●目標設定の考え方:地域医療機関との機能分担・連携の強化により、紹介患者を増やし、高度先進医療機関としての役割を強化します。						

3 まとめ

- 満足度は、全施策平均とほぼ同等で、部門平均ともほぼ同等になっています。また、年齢別では、40 歳代以上では全施策平均を上回り、とりわけ 60 歳代と 70 歳代以上で高くなっていますが、20 歳代と 30 歳代では全施策平均を下回っています。
- 重要度は、全施策中 6 番目に高く、部門平均も上回っています。また、年齢別では、どの年代においても全施策平均を上回っていますが、そのうち 30 歳代では低くなっています。
- 第 2 次実施計画の数値目標では、市立病院に対する評価は向上していますが、市立大学病院における地域医療機関からの紹介患者率は目標達成に向けて遅れが見受けられます。

施策別シート

部 門 名	1-2 健康
施 策 名	4 食品と居住環境の衛生管理
関 係 局	健康福祉局

1 施策の目的

① 基本方針

食品製造・調理施設に対する衛生管理の監視、指導を強化し、市民の安全な食生活を確保するとともに、建築物や住まいに関する相談、指導など健康的な居住環境の確保につとめます。

② 達成目標

対象(誰を・何を)	意図(どういう状態にしたいか)
市民	大規模な食品調理・製造施設の食品衛生責任者に対して食品衛生管理責任者講習会を開催し、HACCP 方式※による衛生管理推進の中心となる役割を担う人材育成をはかり、市民の食生活の安全を確保します。また、住まいに関する衛生相談を充実するとともに、給水設備については関係機関等と連携して小規模貯水槽水道の維持管理の徹底をはかり、市民の健康的な居住環境を確保します。

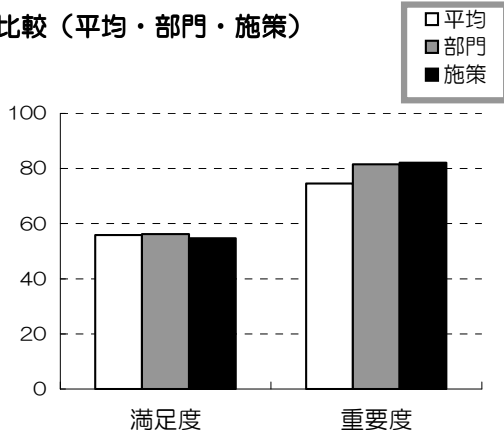
※HACCP 方式: Hazard Analysis Critical Control Point の略。危害分析重要管理点方式。食品の安全性をより一層確保するため、原材料から消費にいたるまでの工程ごとに適した検査、監視を行っていく衛生管理の手法。

2 施策の実績(現在の状況)

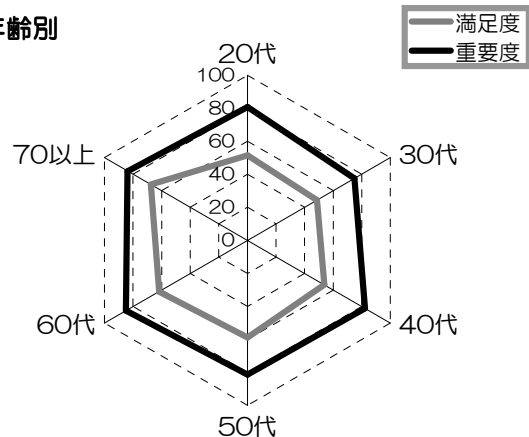
① 市民意識

満足度	☆☆ (54.7)	重要度	☆☆☆ (82.1)
-----	-----------	-----	------------

比較(平均・部門・施策)



年齢別



② 名古屋新世紀計画 2010 第 2 次実施計画の数値目標の進捗状況

No.	指標	計画策定時の数値	16 年度実績値	目標値		進捗状況	所管局
				18 年度	22 年度		
1	食品衛生管理責任者の配置率	—	10.5%	50%	100%	☆☆☆	健康福祉局
	●目標設定の考え方:市内の大規模食品製造・調理施設(約 1,000 ヶ所)に衛生管理の中心となる人材を養成・配置します。						
2	小規模貯水槽水道の清掃実施率	60% (14 年度)	62%	80%	100%	☆☆☆	健康福祉局
	●目標設定の考え方:安全な飲料水の確保のための定期的な清掃の実施率の向上をめざします。						

3 まとめ

- 満足度は、全施策平均を下回り、部門平均も下回っています。また、年齢別では、50 歳代以上では全施策平均を上回り、とりわけ 70 歳代以上で高くなっていますが、20～40 歳代では全施策平均を下回り、とりわけ 30 歳代で「満足」と「不満足」のボーダーラインである 50 ポイントを下回っています。
- 重要度は、全施策平均を上回り、部門平均とほぼ同等になっています。また、年齢別では、30 歳代では全施策平均とほぼ同等になっていますが、他の年代では上回り、とりわけ 60 歳代で高くなっています。
- 第 2 次実施計画の数値目標では、食品衛生管理責任者の配置率、小規模貯水槽水道の清掃実施率のいずれの指標も目標達成に向けて順調にすすんでいます。

施策別シート

部 門 名	1-2 健康
施 策 名	5 斎場の整備
関 係 局	健康福祉局

1 施策の目的

① 基本方針

高齢者数の増加にともなう今後の火葬需要の増大や大規模震災時への対応などのため、周辺環境への配慮をはかりながら、八事斎場の改築と新斎場の整備をすすめます。

② 達成目標

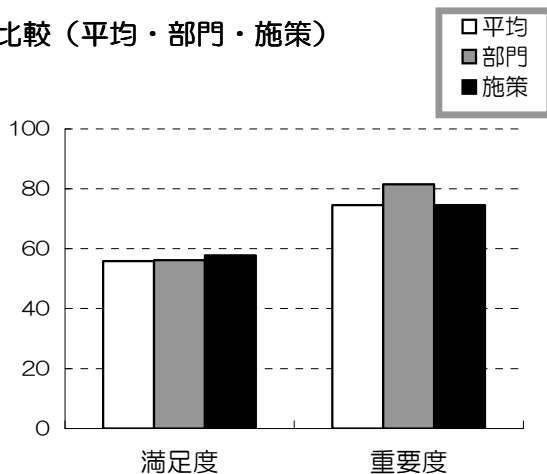
対象(誰を・何を)	意図(どういう状態にしたいか)
市民	火葬需要の増大に対応するため、新たな斎場を整備し、改築後の八事斎場と新斎場の2か所で今後の火葬需要に対応します。

2 施策の実績(現在の状況)

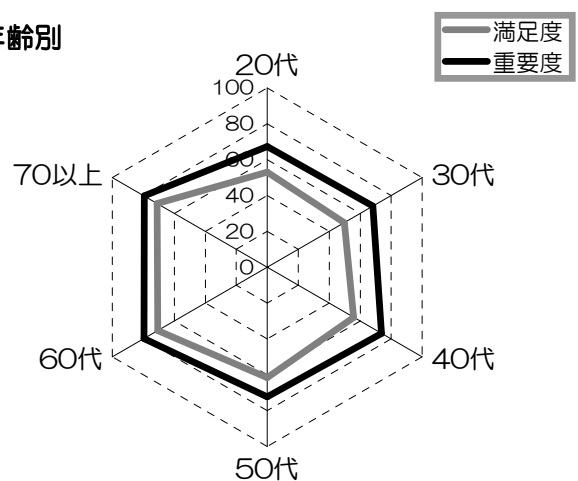
① 市民意識

満足度	☆☆ (57.8)	重要度	☆☆ (74.6)
-----	-----------	-----	-----------

比較(平均・部門・施策)



年齢別



② 名古屋新世紀計画 2010 第 2 次実施計画の数値目標の進捗状況

No.	指標	計画策定時の数値	16 年度実績値	目標値		進捗状況	所管局
				18 年度	22 年度		
1	火葬炉の整備数	46 (14 年度)	46	46	60	☆☆☆	健康福祉局
	● 目標設定の考え方: 火葬需要の増大にともない、ピーク時に必要な火葬炉数を整備します。						

3 まとめ

- 満足度は、全施策平均を上回り、部門平均も上回っています。また、年齢別では、40 歳代以上では全施策平均を上回り、とりわけ 60 歳代と 70 歳代以上で高くなっていますが、20 歳代と 30 歳代では全施策平均を下回り、とりわけ 30 歳代で「満足」と「不満足」のボーダーラインである 50 ポイントを下回っています。
- 重要度は、全施策平均とほぼ同等で、部門平均を下回っています。また、年齢別では、60 歳代と 70 歳代以上では全施策平均を上回っていますが、20～50 歳代では下回り、とりわけ 20 歳代と 30 歳代で低くなっています。
- 第 2 次実施計画の数値目標は、目標達成に向けて順調にすすんでいます。

施 策 別 シ ー ト

部 門 名	2-1 災害の防止
施 策 名	1 市民とともに築く地域の安全
関 係 局	健康福祉局、消防局

1 施策の目的

① 基本方針

防災に関する情報を市民にわかりやすく提供し、防災意識の普及につとめるとともに、市民の自主的な防災活動を支援し、地域防災力の向上をはかります。

② 達成目標

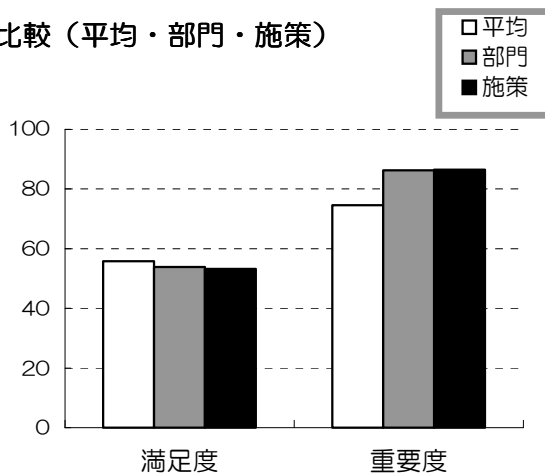
対象(誰を・何を)	意図(どういう状態にしたいか)
市民	地域における防災活動を一層推進し、地域防災力の向上をはかり、市民が安心して暮らせる安全なまちづくりの実現をめざします。 災害に関する情報を察知することや自力で避難することが困難な災害時要援護者といわれる高齢者や障害者等特に配慮を要する方々に対して、安否確認等を行い、災害時の支援を実施します。

2 施策の実績(現在の状況)

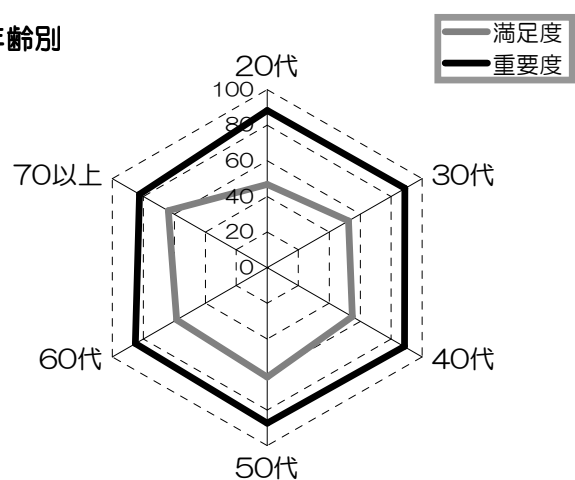
① 市民意識

満足度	☆☆ (53. 2)	重要度	☆☆☆ (86. 4)
-----	------------	-----	-------------

比較 (平均・部門・施策)



年齢別



② 名古屋新世紀計画 2010 第 2 次実施計画の数値目標の進捗状況

No.	指標	計画策定時の数値	16 年度実績値	目標値		進捗状況	所管局
				18 年度	22 年度		
1	防災安心まちづくり強化推進学区の累積実施率	22% (14 年度)	44%	67%	100%	☆☆☆	消防局
● 目標設定の考え方: 計画的に強化推進学区を設定し、事業内容の充実をはかります。							

3 まとめ

- 満足度は、全施策平均を下回り、部門平均とほぼ同等になっています。また、年齢別では、40 歳代以上では全施策平均を上回るか、ほぼ同等ですが、20～30 歳代では下回り、とりわけ 20 歳代で「満足」と「不満足」のボーダーラインである 50 ポイントを下回っています。
- 重要度は、全施策中 5 番目に高く、部門平均とほぼ同等になっています。また、年齢別では、どの年代においても全施策平均を上回っていますが、そのうち 70 歳代以上では低くなっています。
- 第 2 次実施計画の数値目標では、防災安心まちづくり強化推進学区が着実に設定されており、目標達成に向けて順調にすすんでいます。

施策別シート

部 門 名	2-1 災害の防止
施 策 名	2 災害から市民を守る体制の整備
関 係 局	環境局、健康福祉局、住宅都市局、緑政土木局、消防局、教育委員会、上下水道局

1 施策の目的

① 基本方針

想定されるさまざまな災害に備えて、迅速かつ的確な対応をとることができる消防防災体制の整備をすすめます。

急増する救急需要に対応して、応急手当技術の市民への普及推進をはかるとともに、救急体制の強化を行います。

② 達成目標

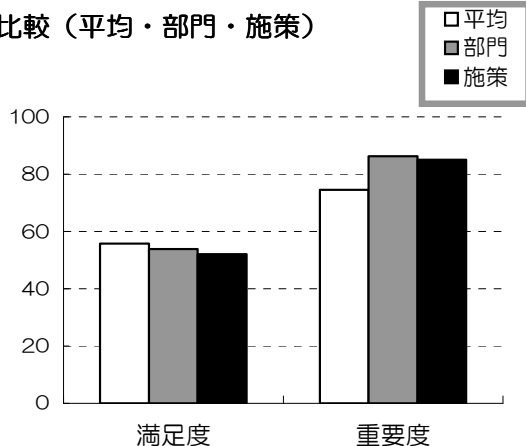
対象(誰を・何を)	意図(どういう状態にしたいか)
市民	さまざまな災害に対し、迅速かつ的確な対応ができるよう消防防災体制を充実させるとともに、防火対象物の安全性の向上や市民による応急手当実施の推進などにより、災害から市民の生命・財産を守ります。 東海地震等の大規模災害が発生した場合を想定し、被災者に対して医療・食糧・生活必需品等を発生直後から支障無く提供できるようにします。

2 施策の実績(現在の状況)

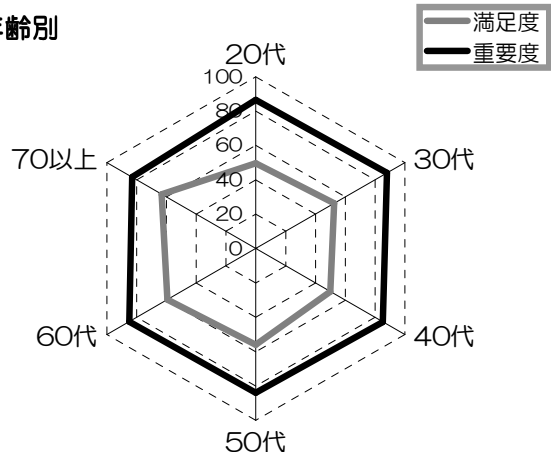
① 市民意識

満足度	☆ (52.1)	重要度	☆☆☆ (85.0)
-----	----------	-----	------------

比較(平均・部門・施策)



年齢別



② 名古屋新世紀計画 2010 第 2 次実施計画の数値目標の進捗状況

No.	指標	計画策定時の数値	16 年度実績値	目標値		進捗状況	所管局
				18 年度	22 年度		
1	防火対象物定期点検結果の報告率	—	53.6%	30%	50%	☆☆☆	消防局
	● 目標設定の考え方:防火対象物定期点検報告制度を普及することにより、防火管理などの面において建物の安全性の向上をはかります。						
2	心肺停止傷病者に対する応急手当の実施率	25.3% (14 年度)	32.8%	30%	35%	☆☆☆	消防局
	● 目標設定の考え方:救急隊の到着までの間に、現場に居あわせた市民による心肺停止傷病者に対する応急手当の実施率の向上をめざします。						

3 まとめ

- 満足度は、全施策平均を下回り、部門平均も下回っています。また、年齢別では、50 歳代以上では全施策平均を上回っていますが、20～40 歳代では下回り、とりわけ 20 歳代で「満足」と「不満足」のボーダーラインである 50 ポイントを下回っています。
- 重要度は、全施策中 7 番目に高くなっていますが、部門平均は下回っています。また、年齢別では、どの年代においても全施策平均を上回っていますが、そのうち 30 歳代では高く、70 歳代以上では低くなっています。
- 第 2 次実施計画の数値目標では、防火対象物定期点検結果の報告率、心肺停止傷病者に対する応急手当の実施率のいずれの指標も 18 年度目標をすでに達成しています。

施策別シート

部 門 名	2-1 災害の防止
施 策 名	3 地震や火災に強いまちづくり
関 係 局	総務局、市民経済局、健康福祉局、住宅都市局、緑政土木局、消防局、教育委員会、上下水道局

1 施策の目的

① 基本方針

地震や火災などの災害に備えて、都市基盤の整備や老朽木造住宅密集地域の改善など総合的な防災対策の推進により、災害に強いまちづくりをめざします。

② 達成目標

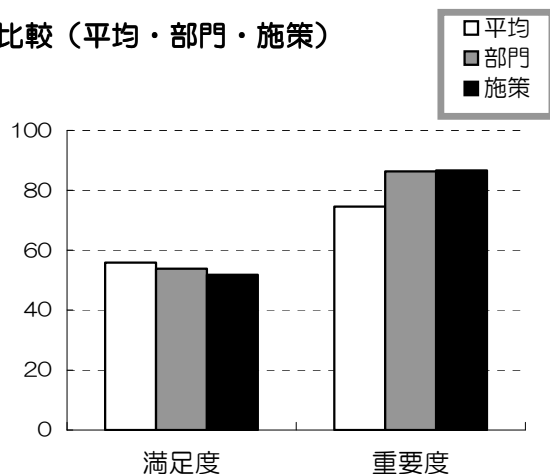
対象(誰を・何を)	意図(どういう状態にしたいか)
市民	危険度の高い住宅の耐震改修や建替えを促進するとともに、災害時の避難路の確保や防災活動拠点・避難所となる市設建築物の耐震化、災害復旧活動の支援拠点などとなる防災公園を整備することにより、安心して生活できるようにします。

2 施策の実績(現在の状況)

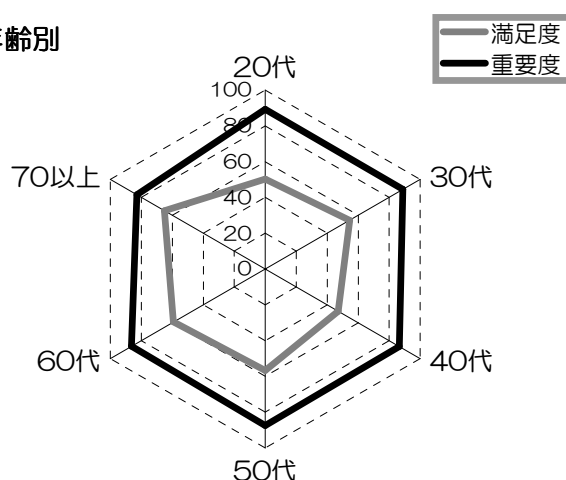
① 市民意識

満足度	☆ (51.8)	重要度	☆☆☆ (86.6)
-----	----------	-----	------------

比較(平均・部門・施策)



年齢別



② 名古屋新世紀計画 2010 第 2 次実施計画の数値目標の進捗状況

No.	指標	計画策定時の数値	16 年度実績値	目標値		進捗状況	所管局
				18 年度	22 年度		
1	防災上重要な公共建築物の耐震化率	31% (14 年度末)	60%	93%	100%	☆☆☆	住宅都市局はじめ関係局
	● 目標設定の考え方: 防災上重要な公共建築物のうち、平成 14 年度までの耐震診断結果から耐震化が必要となった施設(806 棟)について、耐震化率の向上をめざします。						
2	応急給水管路の耐震化率	65% (14 年度末)	71%	82%	100%	☆☆☆	上下水道局
	● 目標設定の考え方: 応急給水施設へ至る管路の耐震性の向上をめざします。						

3 まとめ

- 満足度は、全施策平均を下回り、部門平均も下回っています。また、年齢別の満足度では、50 歳代以上では全施策平均を上回り、とりわけ 70 歳以上で高くなっていますが、20～40 歳代では全施策平均を下回り、とりわけ 40 歳代で「満足」と「不満足」のボーダーラインである 50 ポイントを下回っています。
- 重要度は、全施策中 4 番目に高く、部門平均とはほぼ同等になっています。また、年齢別では、どの年代においても全施策平均を上回っていますが、そのうち 20 歳代と 30 歳代では高く、70 歳代以上では低くなっています。
- 第 2 次実施計画の数値目標では、施設等の耐震性が向上しており、目標達成に向けて順調にすすんでいます。

施策別シート

部 門 名	2-1 災害の防止
施 策 名	4 大雨に強いまちづくり
関 係 局	緑政土木局、上下水道局

1 施策の目的

① 基本方針

浸水などをもたらす大雨に備えて、河川や下水道の整備により洪水や浸水に対する安全度を向上させるとともに、雨水貯留施設や浸透施設の設置などの雨水流出抑制策をすすめ、大雨に強いまちづくりをめざします。

② 達成目標

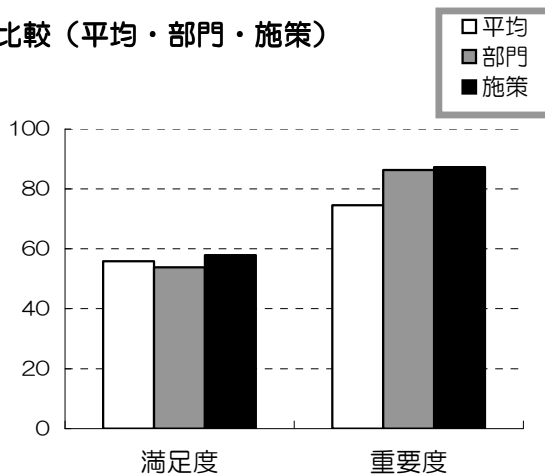
対象(誰を・何を)	意図(どういう状態にしたいか)
市民	河川改修を始めとする治水施設の整備とともに、老朽化したポンプや排水路の改良更新など総合的な浸水対策を着実にすすめます。また、これらと併せ橋りょうの改築などにも取り組むことで更なる安全度の向上をはかり、市民の生命と財産を守る生活基盤を構築します。
市民生活および資産	東海豪雨と同程度の降雨が発生した場合においても床上浸水をおおむね解消し、浸水被害を最小限にとどめます。

2 施策の実績(現在の状況)

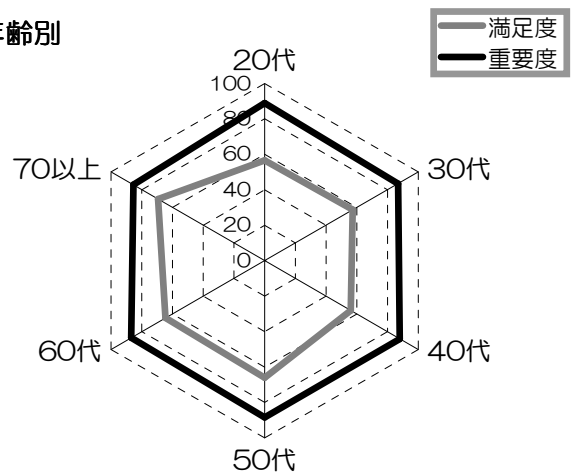
① 市民意識

満足度	☆☆ (57.9)	重要度	☆☆☆ (87.3)
-----	-----------	-----	------------

比較(平均・部門・施策)



年齢別



② 名古屋新世紀計画 2010 第 2 次実施計画の数値目標の進捗状況

No.	指標	計画策定時の数値	16 年度実績値	目標値		進捗状況	所管局
				18 年度	22 年度		
1	都市基盤河川の護岸整備率	87% (14 年度末)	87.2%	88%	89%	☆☆☆	緑政土木局
	● 目標設定の考え方: 都市基盤河川の護岸整備をすすめることにより治水安全度の向上をめざします。(堀川の総合整備、山崎川ふるさとの川整備実施分を除きます。)						
2	下水道による都市浸水対策達成率	85% (14 年度末)	88%	92%	100%	☆☆☆	上下水道局
	● 目標設定の考え方: 1 時間 50 mm の降雨に対応するため、雨水貯留施設などの整備をすすめます。						

3 まとめ

- 満足度は、全施策平均を上回り、部門平均も上回っています。また、年齢別では、どの年代においても全施策平均を上回り、とりわけ 50 歳代以上で高くなっています。
- 重要度は、全施策中 3 番目に高く、部門平均とはほぼ同等になっています。また、年齢別では、どの年代においても全施策平均を上回っていますが、そのうち 20 歳代では高く、70 歳代以上では低くなっています。
- 第 2 次実施計画の数値目標では、都市基盤河川の護岸整備率、下水道による都市浸水対策達成率のいずれの指標も上がっており、目標達成に向けて順調にすすんでいます。

施策別シート

部 門 名	2-2 環境の保全と緑化
施 策 名	1 環境保全活動の促進
関 係 局	総務局、環境局

1 施策の目的

① 基本方針

市民・事業者・行政のパートナーシップにより、環境にやさしいライフスタイルや事業活動の定着をはかることにより、自ら主体的に環境保全活動に取り組む都市の形成をはかります。

地球規模の環境問題に関する取り組みを積極的にすすめ、環境への負荷の低減をはかり、地域と連携して地球環境保全に貢献する都市の形成をめざします。また、二酸化炭素をはじめとする温室効果ガスについては、市内の排出総量を平成 22 年(2010 年)までに平成 2 年(1990 年)の水準から 10%の削減をはかります。

② 達成目標

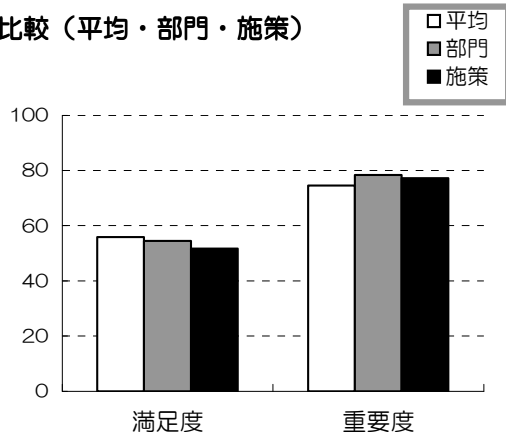
対象(誰を・何を)	意図(どういう状態にしたいか)
市民および事業者	市民・事業者が主体的・積極的に取り組むことができる仕組み・支援策を体系的に整備することにより、環境にやさしいライフスタイルや事業活動の定着をはかります。

2 施策の実績(現在の状況)

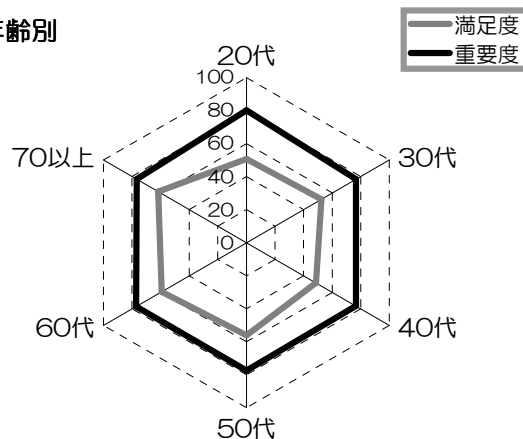
① 市民意識

満足度	☆ (51.7)	重要度	☆☆ (77.2)
-----	----------	-----	-----------

比較(平均・部門・施策)



年齢別



② 名古屋新世紀計画 2010 第 2 次実施計画の数値目標の進捗状況

No.	指標	計画策定時の数値	16 年度実績値	目標値		進捗状況	所管局
				18 年度	22 年度		
1	二酸化炭素の排出量	1,509 万トン-CO ₂ (12 年)	1,539 万トン-CO ₂ (13 年)	1,440 万トン-CO ₂ (18 年)	1,393 万トン-CO ₂ (22 年)	☆	環境局
	●目標設定の考え方:国・産業界・市民・事業者・行政の取り組みによって、平成 22 年までに平成 2 年の水準(1,548 万トン-CO ₂)から 10%削減します。						

3 まとめ

- 満足度は、全施策平均を下回り、部門平均も下回っています。また、年齢別では、50 歳代以上では全施策平均を上回っていますが、20～40 歳代では下回り、とりわけ 40 歳代で「満足」と「不満足」のボーダーラインである 50 ポイントを下回っています。
- 重要度は、全施策平均を上回り、部門平均を下回っています。また、年齢別では、どの年代においても全施策平均を上回っており、とりわけ 20 歳代で高くなっています。
- 第 2 次実施計画の数値目標では、二酸化炭素の排出量は増加し、目標達成に向けて遅れが見受けられます。

施 策 別 シ ー ト

部 門 名	2-2 環境の保全と緑化
施 策 名	2 公害のない快適な生活環境の確保
関 係 局	環境局

1 施策の目的

① 基本方針

大気、水などの環境の保全や有害化学物質対策に取り組み、公害のない快適な生活環境の確保をめざします。

② 達成目標

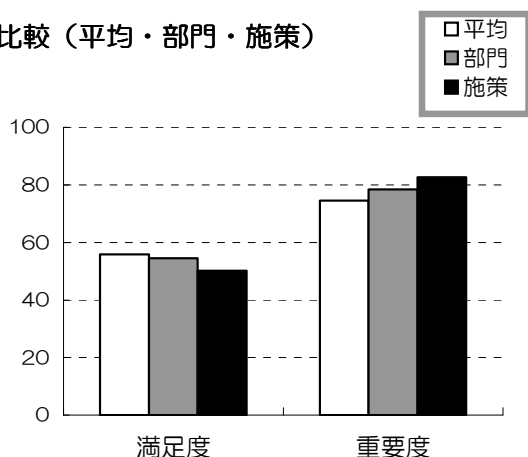
対象(誰を・何を)	意図(どういう状態にしたいか)
市民および事業者	公害の発生源に対する規制や環境への負荷の低減のために必要な措置等を講ずることにより、現在および将来の世代の市民が健康で安全な生活を営むことができる良好な環境を保全します。

2 施策の実績(現在の状況)

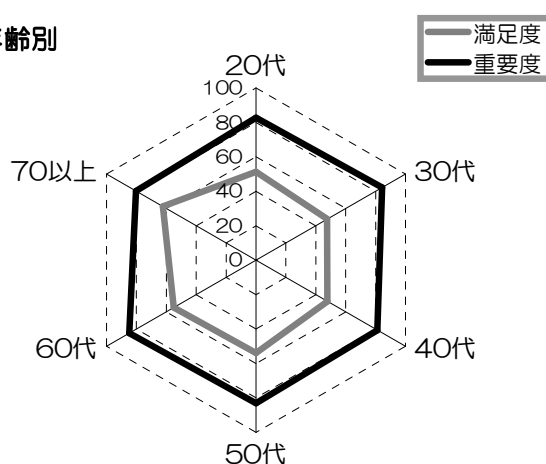
① 市民意識

満足度	☆ (50. 2)	重要度	☆☆☆ (82. 7)
-----	-----------	-----	-------------

比較(平均・部門・施策)



年齢別



② 名古屋新世紀計画 2010 第 2 次実施計画の数値目標の進捗状況

No.	指標	計画策定時の数値	16 年度実績値	目標値		進捗状況	所管局
				18 年度	22 年度		
1	大気環境基準の達成率 (二酸化窒素)	93% (14 年度)	97%	100%	100%	☆☆☆	環境局
2	水質環境基準の達成率(BOD※)	80% (14 年度)	90%	100%	100%	☆☆☆	環境局

●目標設定の考え方:人の健康や生活環境を保全する上で維持することが望ましいとして国が定める「環境基準」の達成をめざします。

※BOD:Biochemical Oxygen Demand の略。河川の水の汚れを微生物によって分解するときに消費される酸素量。川の汚れの指標。

3 まとめ

○満足度は、全施策平均を下回り、部門平均も下回っています。また、年齢別の満足度をみると、70 歳代以上では全施策平均を上回り、60 歳代ではほぼ同等ですが、20～40 歳代では下回り、とりわけ 30 歳代と 40 歳代で「満足」と「不満足」のボーダーラインである 50 ポイントを下回っています。

○重要度は、全施策平均を上回り、部門平均も上回っています。また、年齢別では、どの年代においても全施策平均を上回っていますが、そのうち 30 歳代と 60 歳代では高く、70 歳代以上では低くなっています。

○第 2 次実施計画の数値目標では、大気・水質のいずれの環境基準も達成率が向上しており、目標達成に向けて順調にすすんでいます。

施策別シート

部 門 名	2-2 環境の保全と緑化
施 策 名	3 緑豊かなまちづくり
関 係 局	緑政土木局

1 施策の目的

① 基本方針

市民 1 人当たりの都市公園等※の面積 10 m²をめざすとともに、パートナーシップによる緑の保全・創出を積極的にすすめることにより、四季の移ろいや自然とのふれあいを楽しむことができる緑豊かなまちづくりにつとめます。

※都市公園等:「街区公園」「近隣公園」「総合公園」などの都市公園に、「農業公園」「どんぐり広場」「公共空地」「市民緑地」「港湾緑地」「公園予定地」などの都市公園に類する施設を含む。

② 達成目標

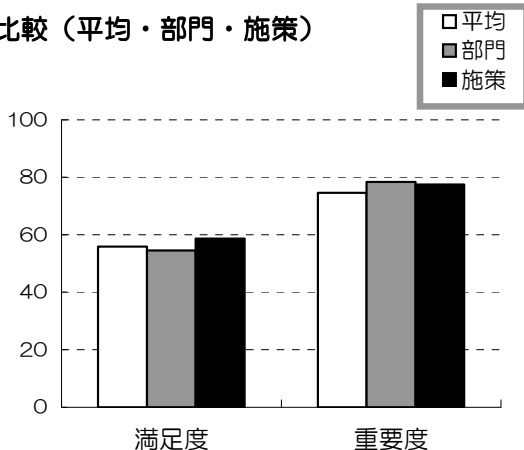
対象(誰を・何を)	意図(どういう状態にしたいか)
まちの緑	良好な都市環境の再生をはかるとともに、花・水・緑による美しく豊かな市民生活を醸成するため、緑地の保全と緑化の推進をはかります。 また、健康で文化的な市民生活を支え、災害に対する安全性を高めるため公園緑地の整備を推進します。 民有地・公有地を含めた市域全体の緑化推進のため、市民・企業の参画を得て、お互いに自主性を尊重しあいながら役割と責任を分担し、協働して取り組んでいきます。

2 施策の実績(現在の状況)

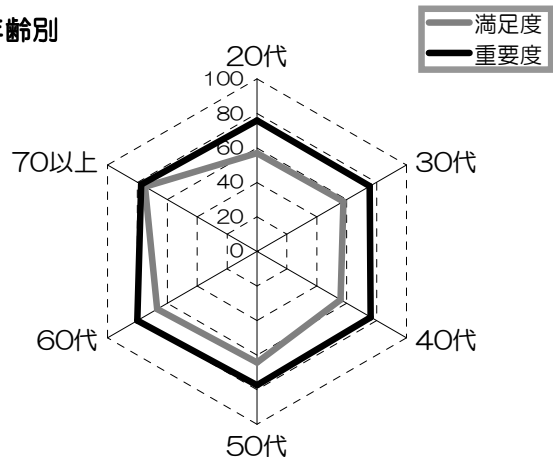
① 市民意識

満足度	☆☆ (58.7)	重要度	☆☆ (77.4)
-----	-----------	-----	-----------

比較(平均・部門・施策)



年齢別



② 名古屋新世紀計画 2010 第 2 次実施計画の数値目標の進捗状況

No.	指標	計画策定時の数値	16 年度実績値	目標値		進捗状況	所管局
				18 年度	22 年度		
1	市民1人当たりの都市公園等の面積	9.2 m ² (14 年度)	9.2 m ²	9.6 m ²	10 m ²	☆	緑政土木局
	● 目標設定の考え方: 都市公園や農業公園、港湾緑地など、緑の拠点となる空間の確保につとめます。						
2	みどりの活動への参加者数	2,500 人 (14 年度)	5,600 人	3,750 人	5,000 人	☆☆☆	緑政土木局
	● 目標設定の考え方: 森づくりワークショップなど、市が主催または共催するみどりの保全・創出活動へ参加する市民の増加をはかります。						

3 まとめ

- 満足度は、全施策平均を上回り、部門平均も上回っています。また、年齢別では、どの年代においても全施策平均を上回り、とりわけ 70 歳代以上で高くなっています。
- 重要度は、全施策平均を上回り、部門平均とほぼ同等になっています。また、年齢別では、どの年代においても全施策平均を上回り、とりわけ 60 歳代で高くなっています。
- 第 2 次実施計画の数値目標では、市民1人当たりの都市公園等の面積はほぼ横ばいで、目標達成に向けて遅れが見受けられますが、市が主催する緑の保全・創出活動への市民の参加者数は 22 年度目標をすでに達成しています。

施策別シート

部 門 名	2-2 環境の保全と緑化
施 策 名	4 うるおいのある水辺環境の創出
関 係 局	環境局、緑政土木局、上下水道局

1 施策の目的

① 基本方針

人と自然が共生できる、生態系に配慮した水辺環境の保全と育成を地域の人々などの参加によりすすめるとともに、きれいで豊かな水の流れやせせらぎなどを身近な場所に確保し、うるおいのある魅力的な水辺環境の創出をはかります。

② 達成目標

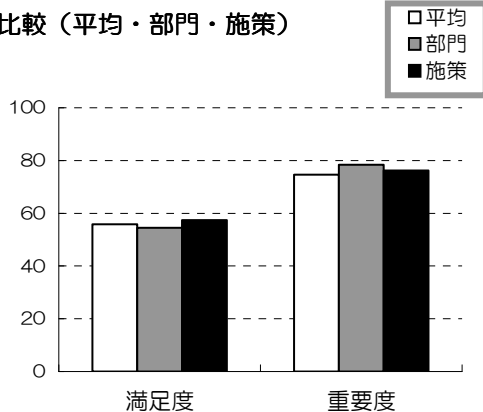
対象(誰を・何を)	意図(どういう状態にしたいか)
市民	衛生的な生活空間を確保するとともに、伊勢湾や堀川などの公共用水域の水質保全をはかり、市民に憩いとやすらぎの水辺空間を提供します。 都市化の進展により失われつつある自然の水循環機能を、雨水の地下への浸透を促進すること等により、回復・保全し、都市の中にきれいで流量のある川や湧水など、親水オアシスの再生をめざします。 市民の生活に密着した河川や農業用水路において、水質浄化や景観に配慮した護岸整備による良好な水辺空間の形成をはかります。 河川愛護活動の支援や市民が水辺で学ぶことができる環境づくりを推進することにより、市民との協働関係の構築をめざします。

2 施策の実績(現在の状況)

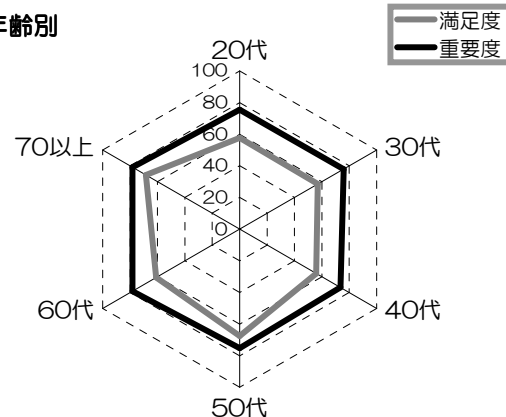
① 市民意識

満足度	☆☆ (57.3)	重要度	☆☆ (76.2)
-----	-----------	-----	-----------

比較(平均・部門・施策)



年齢別



② 名古屋新世紀計画 2010 第 2 次実施計画の数値目標の進捗状況

No.	指標	計画策定時の数値	16 年度実績値	目標値		進捗状況	所管局
				18 年度	22 年度		
1	堀川(小塩橋付近)の BOD※	5.9mg/ℓ (14 年度)	4.4mg/ℓ	5.5mg/ℓ	5.0mg/ℓ	☆☆☆	緑政土木局
	●目標設定の考え方:2010 年(平成 22 年)の堀川開削 400 周年に向けて、上流域でオイカワなどが生息できる程度まで水質浄化をめざします。						

※BOD:Biochemical Oxygen Demand の略。河川の水の汚れを微生物によって分解するときに消費される酸素量。川の汚れの指標。

3 まとめ

- 満足度は、全施策平均を上回り、部門平均も上回っています。また、年齢別では、どの年代においても全施策平均を上回り、とりわけ 50 歳代と 70 歳代以上で高くなっています。
- 重要度は、全施策平均を上回り、部門平均を下回っています。また、年齢別では、20 歳代、40 歳代および 50 歳代では全施策別平均とほぼ同等で、他の年代では上回っています。
- 第 2 次実施計画の数値目標では、22 年度目標をすでに達成しています。

施策別シート

部 門 名	2-3 廃棄物の減量と処理
施 策 名	1 循環型社会構築に向けた3R の推進
関 係 局	環境局、緑政土木局、上下水道局

1 施策の目的

① 基本方針

循環型社会の実現をめざし、市民・事業者・行政のパートナーシップにより、リデュース (Reduce:ごみの発生抑制)、リユース (Reuse:使用済み製品の再利用)、リサイクル (Recycle:原材料として再利用) の優先順位で3Rを積極的に推進し、ごみを出さないライフスタイルや事業活動を促進します。 また、公共工事にともなう建設廃棄物などの再資源化を促進します。

② 達成目標

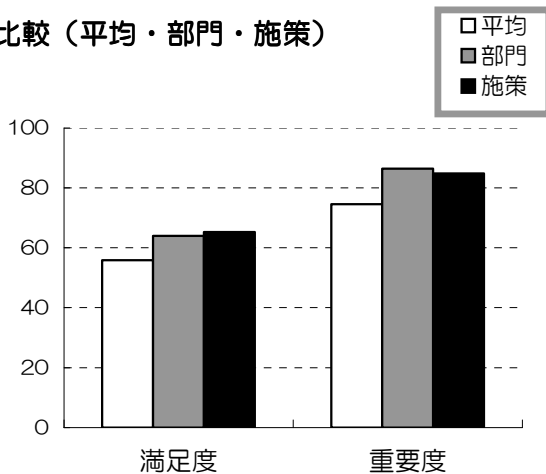
対象(誰を・何を)	意図(どういう状態にしたいか)
市民および事業者	従来の「大量生産」「大量消費」「大量廃棄」という 20 世紀型使い捨て文化を克服し、3R の優先順位を踏まえたライフスタイル・ビジネススタイルへの転換を促進します。

2 施策の実績(現在の状況)

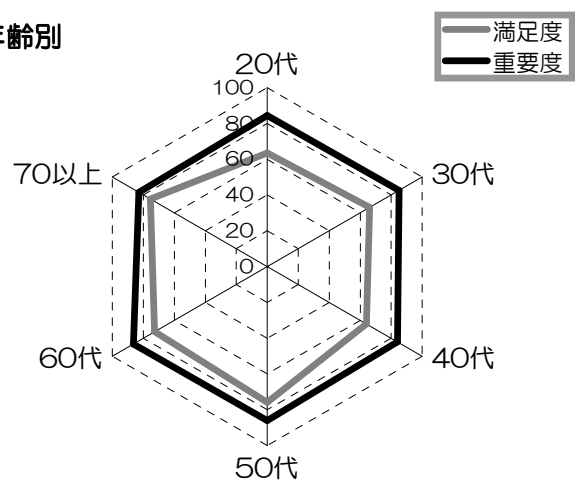
① 市民意識

満足度	☆☆☆ (65. 3)	重要度	☆☆☆ (84. 8)
-----	-------------	-----	-------------

比較 (平均・部門・施策)



年齢別



② 名古屋新世紀計画 2010 第 2 次実施計画の数値目標の進捗状況

No.	指標	計画策定時の数値	16 年度実績値	目標値		進捗状況	所管局
				18 年度	22 年度		
1	ごみと資源の総排出量	111 万トン (14 年度)	113 万トン (15 年度)	108 万トン	108 万トン	☆	環境局
	● 目標設定の考え方: 総排出量をこれ以上増やさず、平成 12 年度の水準(108 万トン)以下に抑制します。						
2	資源回収量	35 万トン (14 年度)	37 万トン (15 年度)	38 万トン	46 万トン	☆☆☆	環境局
	● 目標設定の考え方: 分別の徹底などにより資源の回収率を家庭系 40%、事業系 50%に引き上げ、回収量を高めます。						

3 まとめ

- 満足度は、全施策中 7 番目に高くなっています。また、年齢別では、どの年代においても全施策平均を上回り、とりわけ 50 歳代以上で高くなっています。
- 重要度は、全施策中 10 番目に高くなっています。また、年齢別では、どの年代においても全施策平均を上回っていますが、年代による差はあまりみられません。
- 第 2 次実施計画の数値目標では、資源回収量は順調に伸び、目標達成に向けて順調にすすんでいますが、ごみと資源の総排出量は増えており、目標達成に向けて遅れが見受けられます。

施策別シート

部 門 名	2-3 廃棄物の減量と処理
施 策 名	2 安全で適正なごみ処理の推進
関 係 局	環境局

1 施策の目的

① 基本方針

焼却工場での有害化学物質の発生を抑制し、安全かつ衛生的な処理を推進することはもとより、地球環境の保全に配慮した資源・エネルギーの効率的な回収や埋立処分量の削減をすすめ、環境への負荷の少ない資源循環型のごみ処理システムの構築をめざします。

産業廃棄物については、排出者処理責任の原則のもとに、減量・適正処理についての指導・監督を行います。

② 達成目標

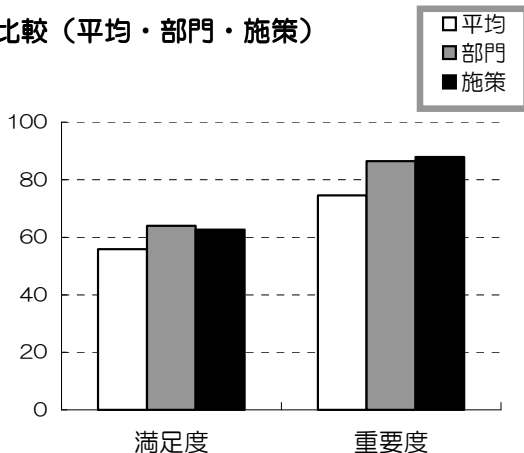
対象(誰を・何を)	意図(どういう状態にしたいか)
ごみ	ごみを焼却処理した後に発生する焼却灰などを溶融処理することにより減容化し、さらに溶融スラグを有効利用することで、埋立量の削減をはかり環境負荷の低減をめざすとともに、市内での処分場および尾張地域市町村と共同利用する広域処分場などを確保していきます。 また、パトロールや監視カメラによる監視、専用ファクシミリでの不法投棄情報の受付を行うことで、不法投棄を未然に防止するほか、各区不法投棄防止対策会議、隣接市町村不法投棄連絡会議を通じて不法投棄の要注意場所を解消していきます。

2 施策の実績(現在の状況)

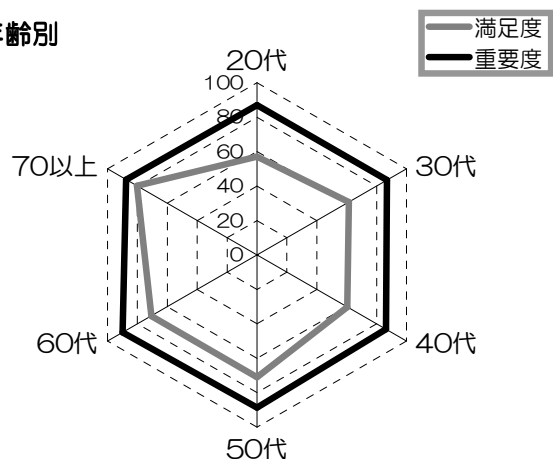
① 市民意識

満足度	☆☆☆ (62.7)	重要度	☆☆☆ (87.9)
-----	------------	-----	------------

比較(平均・部門・施策)



年齢別



② 名古屋新世紀計画 2010 第 2 次実施計画の数値目標の進捗状況

No.	指標	計画策定時の数値	16 年度実績値	目標値		進捗状況	所管局
				18 年度	22 年度		
1	ごみの埋立量	12 万トン (14 年度)	11 万トン	9 万トン	2 万トン	☆☆	環境局
	● 目標設定の考え方: 焼却灰の溶融処理などにより、埋立量の削減をすすめます。						
2	焼却灰を溶融処理する割合	10% (14 年度)	15%	30%	100%	☆☆	環境局
	● 目標設定の考え方: 焼却灰の減容、重金属などの安定・無害化のため、焼却灰の全量溶融処理をめざします。						

3 まとめ

- 満足度は、全施策中 10 番目に高くなっています。また、年齢別では、どの年代においても全施策平均を上回っていますが、そのうち 50 歳代以上では高く、20 歳代では低くなっています。
- 重要度は、全施策中 2 番目に高くなっています。また、年齢別では、どの年代においても全施策平均を上回り、とりわけ 60 歳代で高くなっています。
- 第 2 次実施計画の数値目標では、ごみの埋立量、焼却灰を溶融処理する割合のいずれの指標も目標達成に向けてやや遅れが見受けられます。

施策別シート

部 門 名	3-1 学校教育
施 策 名	1 幼児教育
関 係 局	教育委員会

1 施策の目的

① 基本方針

変化の激しい時代の中で、健全な人間関係を築きながらたくましく生きるため、子どもに生きる力を育みます。

自らを律しつつ他を思いやる心、自他の生命を大切にし人権を尊重する心、美しいものや自然に感動する心、公共のためにつくそうとする心など、豊かな人間性を育む心の教育の充実をはかります。

② 達成目標

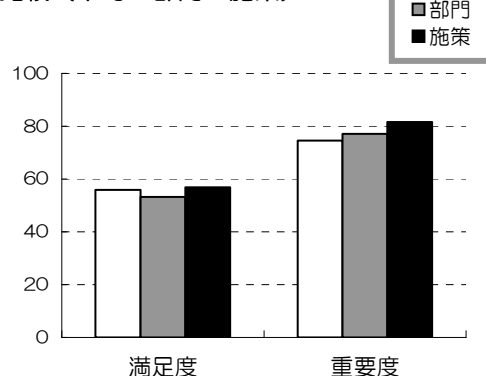
対象(誰を・何を)	意図(どういう状態にしたいか)
市内の幼稚園児・未就園児およびその保護者	幼稚園において、自然体験や社会体験などの直接体験をとおして、幼児の豊かな感性を育み、友達との感動体験を共有することにより、園児が楽しく園生活を送ることができるようにします。また、子育てに対する不安や戸惑いを抱える保護者の相談を受けたり、孤独になりがちな親子に対して安心して親子で遊ぶことができる場所や機会を提供することで、幼稚園が子育て支援の場となるようにします。

2 施策の実績(現在の状況)

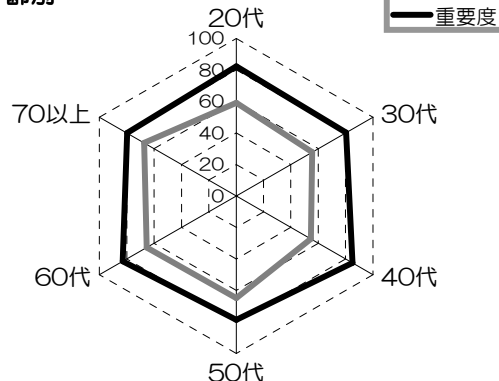
① 市民意識

満足度	☆☆ (56.9)	重要度	☆☆☆ (81.5)
-----	-----------	-----	------------

比較(平均・部門・施策)



年齢別



② 名古屋新世紀計画 2010 第 2 次実施計画の数値目標の進捗状況

No.	指標	計画策定時の数値	16 年度実績値	目標値		進捗状況	所管局
				18 年度	22 年度		
1	友だちとふれあい楽しく幼稚園生活を送っている園児の割合	68% (15 年度)	70%	71%	74%	☆☆☆	教育委員会
	● 目標設定の考え方: 市立幼稚園において自然体験・社会体験活動を充実し、楽しく園生活を送る園児の割合を高めます。						
2	幼稚園が子育て支援の場として有意義であると感じている親の割合	69% (15 年度)	70%	72%	75%	☆☆☆	教育委員会
	● 目標設定の考え方: 子育て支援事業の充実により、幼稚園が子育て支援の場となるようにします。						

3 まとめ

- 満足度は、全施策平均を上回り、部門平均も上回っています。また、年齢別では、40 歳代を除き全施策平均を上回るか、ほぼ同等になっています。
- 重要度は、全施策平均を上回り、部門平均も上回っています。また、年齢別では、どの年代においても全施策平均を上回っていますが、そのうち 40 歳代では高く、50 歳代では低くなっています。
- 第 2 次実施計画の数値目標では、園児、親の満足度が上がっており、目標達成に向けて順調にすすんでいます。

施 策 別 シ ー ト

部 門 名	3-1 学校教育
施 策 名	2 小中学校教育
関 係 局	教育委員会

1 施策の目的

① 基本方針

変化の激しい時代の中で、健全な人間関係を築きながらたくましく生きるため、子どもに生きる力を育みます。

自らを律しつつ他を思いやる心、自他の生命を大切にし人権を尊重する心、美しいものや自然に感動する心、公共のためにつくそうとする心など、豊かな人間性を育む心の教育の充実をはかります。

基礎・基本を確実に習得させるとともに、多様でゆとりある教育活動を展開し、一人ひとりが持つさまざまなよさや可能性の伸長をはかります。

体験的な学習、問題解決的な学習への取り組みをすすめ、自ら学び、自ら考える力を育みます。

すすんで体力づくりに取り組み、生涯を通じて健康で活力ある生活を送るための基礎を養います。

家庭や地域との連携を深めつつ、各学校の創意工夫を生かして、特色ある学校づくり、地域に開かれた学校づくりの実現につとめます。

国際化、高度情報化など、新しい時代の潮流に的確に対応することのできる能力の育成をはかります。

子どもたちの学ぶ意欲の向上や多様な学習活動の展開をはかるため、教育環境を整えるとともに、地域開放や安全、環境などに配慮した学校施設の整備をすすめます。

② 達成目標

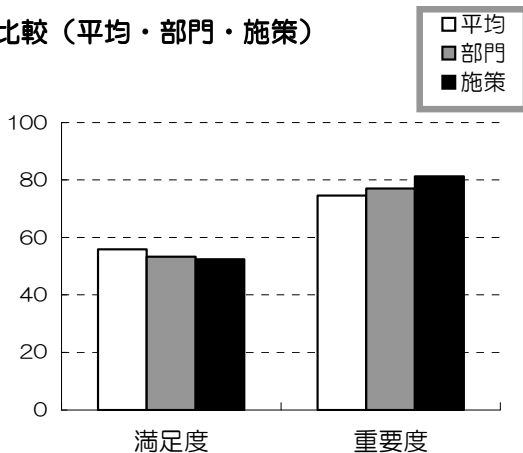
対象(誰を・何を)	意図(どういう状態にしたいか)
名古屋市立小・中・養護学校の児童・生徒	児童生徒が豊かな心を育み、夢や希望を持って世界に羽ばたく人間として育つことをめざし、学校・家庭・地域が一体となった教育活動の重要性をふまえ、「ともに学び、ともに感じ、ともに創る」を柱に、特色のある教育の展開と開かれた学校づくりを推進し、児童生徒が、心ふれあう、生き生きとした楽しい学校生活を送ることができることをめざします。

2 施策の実績(現在の状況)

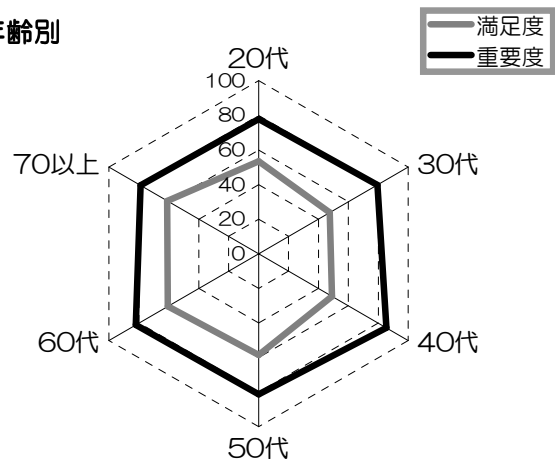
① 市民意識

満足度	☆☆ (52.4)	重要度	☆☆ (81.2)
-----	-----------	-----	-----------

比較(平均・部門・施策)



年齢別



② 名古屋新世紀計画 2010 第 2 次実施計画の数値目標の進捗状況

No.	指標	計画策定時の数値	16 年度実績値	目標値		進捗状況	所管局
				18 年度	22 年度		
1	学校の授業がわかると思う小中学生の割合	68% (15 年度)	69%	71%	74%	☆☆☆	教育委員会
	●目標設定の考え方:基礎・基本の定着をめざした学習指導により、授業がわかる小中学生の割合を高めます。						
2	学校生活が楽しいと思う小中学生の割合	80% (15 年度)	81%	82%	84%	☆☆☆	教育委員会
	●目標設定の考え方:特色ある教育の推進により、学校生活が楽しいと思う小中学生の割合を高めます。						

3 まとめ

- 満足度は、全施策平均を下回り、部門平均とほぼ同等になっています。また、年齢別では、50 歳代以上では全施策平均を上回っていますが、20～40 歳代では下回り、とりわけ 30 歳代と 40 歳代で「満足」と「不満足」のボーダーラインである 50 ポイントを下回っています。
- 重要度は、全施策平均を上回り、部門平均も上回っています。また、年齢別では、どの年代においても全施策平均を上回っていますが、そのうち 40 歳代では高く、20 歳代では低くなっています。
- 第 2 次実施計画の数値目標では、授業がわかると思う小中学生の割合、学校生活が楽しいと思う小中学生の割合のいずれも向上しており、目標達成に向けて順調にすすんでいます。

施策別シート

部 門 名	3-1 学校教育
施 策 名	3 高等学校教育
関 係 局	教育委員会

1 施策の目的

① 基本方針

変化の激しい時代の中で、健全な人間関係を築きながらたくましく生きるため、子どもに生きる力を育みます。

基礎・基本を確実に習得させるとともに、多様でゆとりある教育活動を展開し、一人ひとりが持つさまざまなよさや可能性の伸長をはかります。

体験的な学習、問題解決的な学習への取り組みをすすめ、自ら学び、自ら考える力を育みます。

家庭や地域との連携を深めつつ、各学校の創意工夫を生かして、特色ある学校づくり、地域に開かれた学校づくりの実現につとめます。

国際化、高度情報化など、新しい時代の潮流に的確に対応することのできる能力の育成をはかります。

② 達成目標

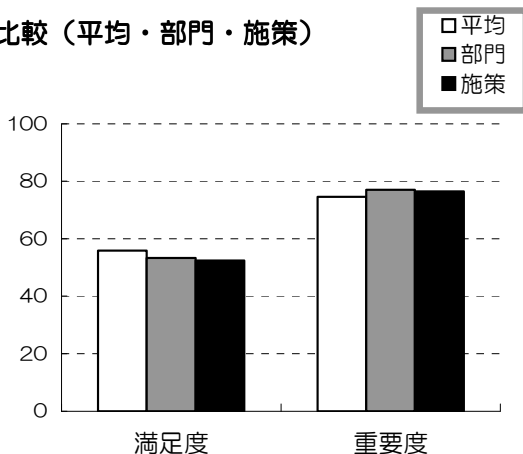
対象(誰を・何を)	意図(どういう状態にしたいか)
名古屋市立高等学校の生徒	高等学校における指導方法、指導体制などの実践的な研究を支援し、基礎・基本の確実な定着をはかります。また、多様なニーズをもつ生徒一人ひとりに対応する魅力ある学校づくりをすすめ、ゆとりの中で生きる力を育み、個性や能力の伸長をはかります。

2 施策の実績(現在の状況)

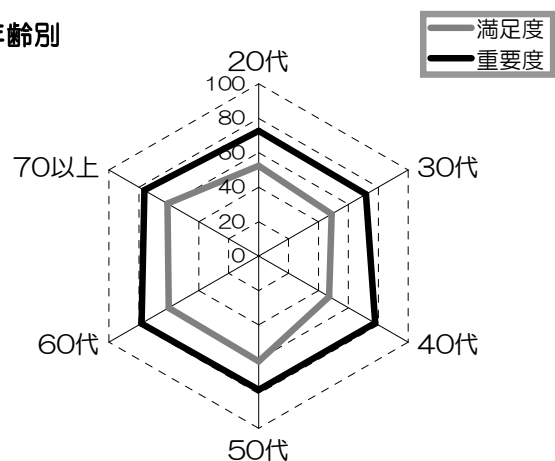
① 市民意識

満足度	☆☆ (52.4)	重要度	☆☆ (76.5)
-----	-----------	-----	-----------

比較(平均・部門・施策)



年齢別



② 名古屋新世紀計画 2010 第 2 次実施計画の数値目標の進捗状況

No.	指標	計画策定時の数値	16 年度実績値	目標値		進捗状況	所管局
				18 年度	22 年度		
1	学校生活が充実していると思う高校生の割合	66% (15 年度)	63% (参考値)	68%	70%	*	教育委員会
●目標設定の考え方:魅力ある学校づくりにより、学校生活の充実度を高めます。							

③ 参考指標による状況

No.	指標	15 年度実績値	16 年度実績値	所管局
1	授業がわかると思う生徒の割合(学力向上促進事業)	—	67%	教育委員会
	●指標の考え方:学力向上促進事業の実施校において、授業が分かると思う生徒の割合が増えることをめざします。			
2	全日制高校の中途退学率	0.83%	0.63%	教育委員会
	●指標の考え方:全日制高校における在籍者数に占める中途退学者数の割合を低水準に保つことをめざします。			
3	定時制高校の中途退学率	14.9%	14.9%	教育委員会
	●指標の考え方:定時制高校における在籍者数に占める中途退学者数の割合を低水準に保つことをめざします。			

3 まとめ

- 満足度は、全施策平均を下回り、部門平均とほぼ同等になっています。また、年齢別では、50 歳代以上では全施策平均を上回っていますが、20～40 歳代では下回り、とりわけ 30 歳代と 40 歳代で「満足」と「不満足」のボーダーラインである 50 ポイントを下回っています。
- 重要度は、全施策平均を上回り、部門平均とほぼ同等になっています。また、年齢別では、40 歳代以上では全施策平均を上回っていますが、20 歳代と 30 歳代では下回っています。
- 第 2 次実施計画の数値目標では、16 年度実績が参考値のため、進捗状況はどちらとも言えませんが、参考指標をみると、授業が分かると思う生徒の割合はほぼ 7 割に達しています。また、全日制高校の中途退学率は下がっており、定時制高校の中途退学率は横ばいです。

施策別シート

部 門 名	3-1 学校教育
施 策 名	4 障害児教育
関 係 局	教育委員会

1 施策の目的

① 基本方針

変化の激しい時代の中で、健全な人間関係を築きながらたくましく生きるため、子どもに生きる力を育みます。

障害のある児童・生徒が、障害の種類や程度に応じて適切な教育を受けることができるよう、やさしさとぬくもりを大切にした障害児教育をすすめます。

子どもたちの学ぶ意欲の向上や多様な学習活動の展開をはかるため、教育環境を整えるとともに、地域開放や安全、環境などに配慮した学校施設の整備をすすめます。

② 達成目標

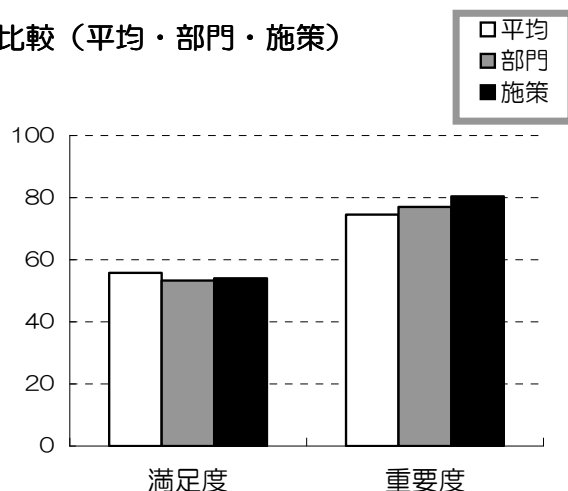
対象(誰を・何を)	意図(どういう状態にしたいか)
名古屋市内の障害児および名古屋市立学校の教職員	軽度発達障害のある児童・生徒も含む障害の多様化、重度・重複化がすすんでいる中で、社会的自立をするために必要な力を身につけさせるための教育環境を整えます。

2 施策の実績(現在の状況)

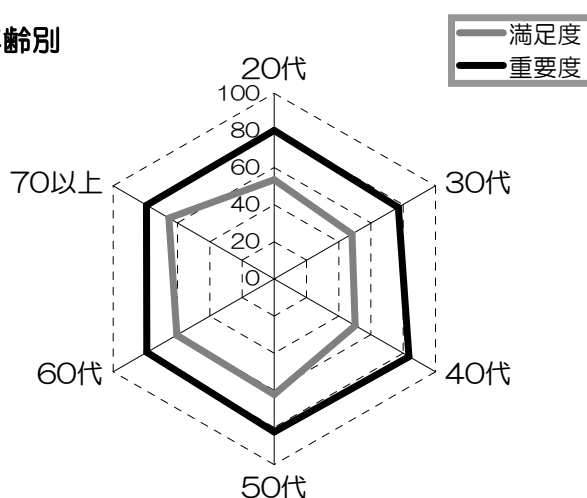
① 市民意識

満足度	☆☆ (54.0)	重要度	☆☆ (80.5)
-----	-----------	-----	-----------

比較(平均・部門・施策)



年齢別



② 名古屋新世紀計画 2010 第 2 次実施計画の数値目標の進捗状況

No.	指標	計画策定時の数値	16 年度実績値	目標値		進捗状況	所管局
				18 年度	22 年度		
1	社会的自立をするために必要な力を身につけている障害児の割合	62% (15 年度)	63%	64%	66%	☆☆☆	教育委員会
	●目標設定の考え方:義務教育終了時において、独りで電車に乗れるなど社会的自立をするために必要な力を身につけている障害児の割合を高めます。						

3 まとめ

- 満足度は、全施策平均を下回り、部門平均とほぼ同等になっています。また、年齢別では、50 歳代以上では全施策平均を上回っていますが、20～40 歳代では下回り、とりわけ 30 歳代で「満足」と「不満足」のボーダーラインである 50 ポイントを下回っています。
- 重要度は、全施策平均を上回り、部門平均も上回っています。また、年齢別では、どの年代においても全施策平均を上回っていますが、そのうち 40 歳代では高く、30 歳代では低くなっています。
- 第 2 次実施計画の数値目標では、社会的自立をするために必要な力を身につけている障害児の割合は増えており、目標達成に向けて順調にすすんでいます。

施策別シート

部 門 名	3-1 学校教育
施 策 名	5 市立大学
関 係 局	市立大学

1 施策の目的

① 基本方針

市立大学が、学術・文化の中心としてより地域に貢献することができるよう、教育・研究体制を充実するとともに、地域に開かれた大学をめざします。

② 達成目標

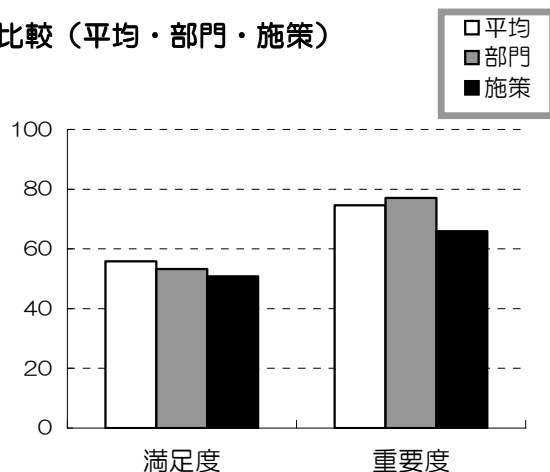
対象(誰を・何を)	意図(どういう状態にしたいか)
市民、地域および社会	高い研究水準を維持向上させ、その研究の蓄積に支えられた教育により、高度な知・技術と真の教養、幅広い視野、総合的な判断力、豊かな創造性を身につけた有能な人材を育成する大学をめざしています。また、独立行政法人化の準備をすすめるとともに、これまで以上に理念や目標を明確にした上で、特色ある教育・研究、地域貢献、産学官等連携などを推進していきます。

2 施策の実績(現在の状況)

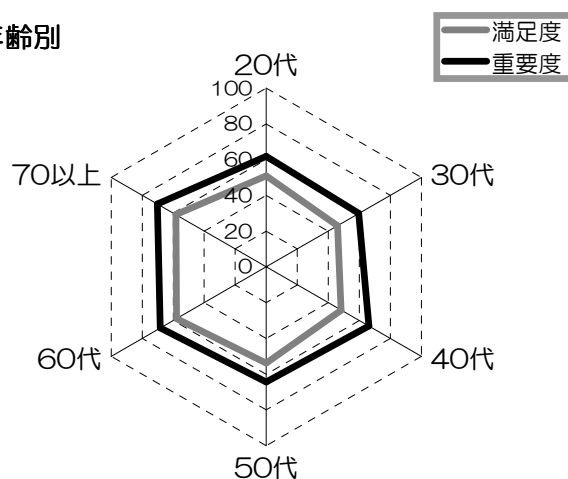
① 市民意識

満足度	☆ (50. 8)	重要度	☆ (65. 9)
-----	-----------	-----	-----------

比較 (平均・部門・施策)



年齢別



② 名古屋新世紀計画 2010 第 2 次実施計画の数値目標の進捗状況

No.	指標	計画策定時の数値	16 年度実績値	目標値		進捗状況	所管局
				18 年度	22 年度		
1	市立大学における大学院学生在籍者のうち社会人受入数	77 人 (15 年度)	92 人	135 人	150 人	☆☆☆	市立大学
	● 目標設定の考え方: 研究科専攻の再編・受入枠の拡大などを通じて、社会人学生受入数の増加をめざします。						
2	市立大学における共同研究の受入件数	—	10 件	3 件	7 件	☆☆☆	市立大学
	● 目標設定の考え方: 産学官連携の推進により、民間企業などとの共同研究の受入件数を増やします。						

3 まとめ

- 満足度は、全施策平均を下回り、部門平均も下回っています。また、年齢別では、60 歳代と 70 歳代以上では全施策平均を上回っていますが、20～50 歳代では下回り、とりわけ 30 歳代と 40 歳代で「満足」と「不満足」のボーダーラインである 50 ポイントを下回っています。
- 重要度は、全施策平均を下回り、部門平均も下回っています。また、年齢別では、どの年代においても全施策平均を下回り、とりわけ 30 歳代で低くなっています。
- 第 2 次実施計画の数値目標では、社会人および共同研究の受入数は増えており、目標達成に向けて順調にすすんでいます。

施策別シート

部 門 名	3-2 生涯学習、スポーツ・レクリエーション
施 策 名	1 生涯学習の推進
関 係 局	総務局、教育委員会

1 施策の目的

① 基本方針

いつでも自由に学ぶことができ、その成果を生かして活躍できるような社会の構築をめざして、高等教育機関、民間教育事業者などとの役割分担と連携のもと、市民の多様なニーズに対応した学習機会の提供や活躍の場の充実につとめます。

誰もが本に親しみ、必要な資料を入手できる環境づくりをすすめるとともに、情報化に対応した図書館サービスの提供につとめます。

② 達成目標

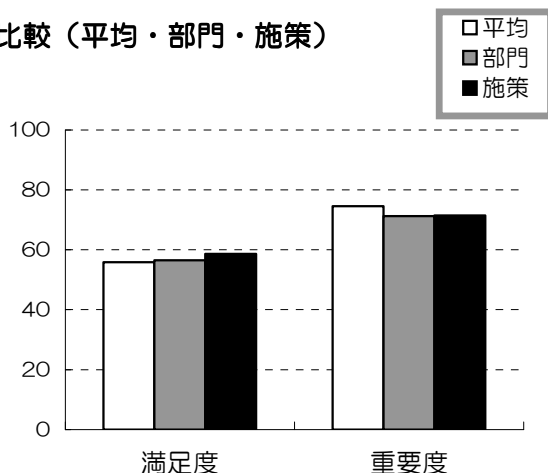
対象(誰を・何を)	意図(どういう状態にしたいか)
市民	自分の学習ニーズに基づき社会の変化に対応した知識や技術を学ぶとともに、学習成果を活用し、実践したり、指導したりして活躍することができるようにします。

2 施策の実績(現在の状況)

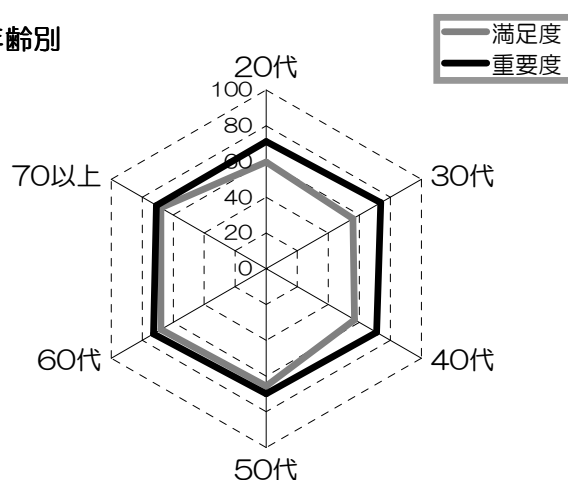
① 市民意識

満足度	☆☆ (58.7)	重要度	☆☆ (71.5)
-----	-----------	-----	-----------

比較 (平均・部門・施策)



年齢別



② 名古屋新世紀計画 2010 第 2 次実施計画の数値目標の進捗状況

No.	指標	計画策定時の数値	16 年度実績値	目標値		進捗状況	所管局
				18 年度	22 年度		
1	生涯学習に取り組んでいる成人の割合	32% (15 年度)	49% (参考値)	35%	38%	*	教育委員会
● 目標設定の考え方: 自主的に学習活動を行う成人の割合を高めます。							

③ 参考指標による状況

No.	指標	15 年度実績値	16 年度実績値	所管局
1	生涯学習センター利用率	56.9%	56.4%	教育委員会
● 指標の考え方: 生涯学習センターで講座の開催や学習グループの支援等を行うことで、市民の学習機会の充実をはかります。				

3 まとめ

- 満足度は、全施策平均を上回り、部門平均も上回っています。また、年齢別では、どの年代においても全施策平均を上回り、とりわけ 50 歳代以上で高くなっています。
- 重要度は、全施策平均を下回り、部門平均とほぼ同等になっています。また、年齢別では、どの年代においても全施策平均を下回っていますが、そのうち 30 歳代では高くなっています。
- 第 2 次実施計画の数値目標では、16 年度実績が参考値のため、進捗状況はどちらとも言えませんが、参考指標をみると、生涯学習センターの利用率はほぼ横ばいです。

施策別シート

部 門 名	3-2 生涯学習、スポーツ・レクリエーション
施 策 名	2 生涯スポーツの振興
関 係 局	教育委員会

1 施策の目的

① 基本方針

子どもから高齢者まで、各年代層において、気軽にスポーツに親しむことができるよう、多彩な事業の展開をはかるとともに、身近な活動の場の確保や地域に根ざしたさまざまな活動の支援をすすめます。

② 達成目標

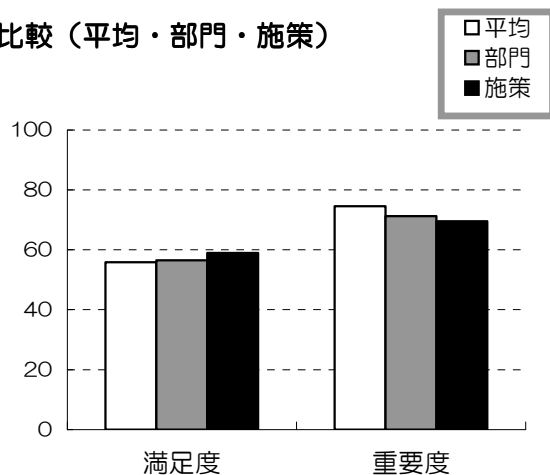
対象(誰を・何を)	意図(どういう状態にしたいか)
市民	市民一人ひとりが自分に適した、自分のしたいスポーツを見つけ、行うことを”マイ・スポーツ”と名付け、このマイ・スポーツの推進を市民とのパートナーシップによりすすめることによって、スポーツの一層の振興をはかります。

2 施策の実績(現在の状況)

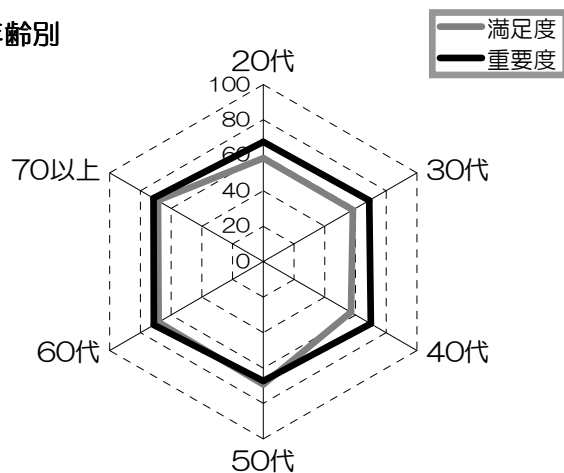
① 市民意識

満足度	☆☆ (59.0)	重要度	☆☆ (69.6)
-----	-----------	-----	-----------

比較(平均・部門・施策)



年齢別



② 名古屋新世紀計画 2010 第 2 次実施計画の数値目標の進捗状況

No.	指標	計画策定時の数値	16 年度実績値	目標値		進捗状況	所管局
				18 年度	22 年度		
1	週 1 回以上スポーツを実施している成人の割合	31% (13 年度)	34% (参考値)	40%	50%	*	教育委員会
	● 目標設定の考え方:マイ・スポーツの普及、定着をはかり、週 1 回以上の運動習慣をもってスポーツする人の割合を高めます。						

③ 参考指標による状況

No.	指標	15 年度実績値	16 年度実績値	所管局
1	中学校施設の一般開放利用率(体育館・運動場)	体育館 89.7% 運動場 56.9%	体育館 92.4% 運動場 54.4%	教育委員会
	● 指標の考え方:中学校の体育施設を地域スポーツセンターとして学校教育に支障のない範囲内で開放し、地域のスポーツ・レクリエーション活動を促進します。			
2	学区の地域ジュニアスポーツクラブ設置率	25.4%	31.2%	教育委員会
	● 指標の考え方:地域ジュニアスポーツクラブ事業により、地域におけるスポーツ活動の機会を提供し、地域コミュニティの醸成をめざします。			

3 まとめ

- 満足度は、全施策平均を上回り、部門平均も上回っています。また、年齢別では、どの年代においても全施策平均を上回り、とりわけ 50 歳代以上で高くなっています。
- 重要度は、全施策平均を下回り、部門平均も下回っています。また、年齢別では、どの年代においても全施策平均を下回り、とりわけ 20 歳代と 50 歳代で低くなっています。
- 第 2 次実施計画の数値目標では、16 年度実績が参考値のため、進捗状況はどちらとも言えませんが、参考指標をみると、中学校施設の一般開放利用率、学区の地域ジュニアスポーツクラブ設置率のいずれの指標もおおむね上がっています。

施 策 別 シ ー ト

部 門 名	3-2 生涯学習、スポーツ・レクリエーション
施 策 名	3 健全な青少年の育成
関 係 局	教育委員会

1 施策の目的

① 基本方針

家庭、学校、地域、関係機関が一体となって、青少年が健やかに育つ環境づくりを推進するとともに、青少年が自主的な活動に活用することのできる施設の整備をすすめます。

② 達成目標

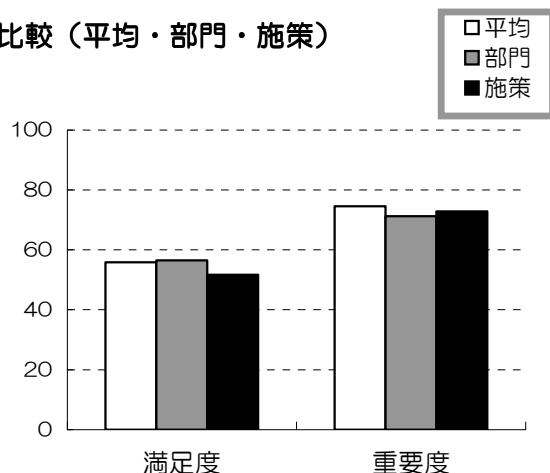
対象(誰を・何を)	意図(どういう状態にしたいか)
市民	心豊かで活力のある青少年を育成するため、家庭においては親が子どもとコミュニケーションをはかりながら学びあい、また、地域においては一人ひとりの大人が意識して子どもたちと関わるような状態をめざし、青少年が健やかに育つ環境づくりを推進します。

2 施策の実績(現在の状況)

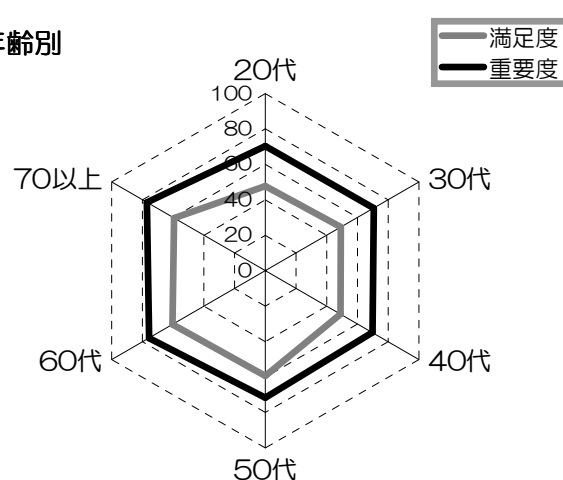
① 市民意識

満足度	☆ (51. 7)	重要度	☆☆ (72. 9)
-----	-----------	-----	------------

比較 (平均・部門・施策)



年齢別



② 名古屋新世紀計画 2010 第 2 次実施計画の数値目標の進捗状況

No.	指標	計画策定時の数値	16 年度実績値	目標値		進捗状況	所管局
				18 年度	22 年度		
1	近所の人にあいさつができる子どもの割合	55% (14 年度)	50% (参考値)	60%	65%	*	教育委員会
● 目標設定の考え方: 地域で子どもと大人があいさつしあう環境をめざします。							

③ 参考指標による状況

No.	指標	15 年度実績値	16 年度実績値	所管局
1	近所の子どもと積極的にあいさつをする大人の割合	12.2% (14 年度)	18.8%	教育委員会
● 指標の考え方: 子どもたちが安心・安全で快適に過ごせるよう、地域ぐるみで子どもを見守る運動等の展開をはかります。				

3 まとめ

- 満足度は、全施策平均を下回り、部門平均も下回っています。また、年齢別では、50 歳代以上では全施策平均を上回っていますが、20～40 歳代では「満足」と「不満足」のボーダーラインである 50 ポイントを下回っています。
- 重要度は、全施策平均を下回り、部門平均を上回っています。また、年齢別では、60 歳代と 70 歳代以上では全施策平均を上回っていますが、20～50 歳代では下回っています。
- 第 2 次実施計画の数値目標では、16 年度実績が参考値のため、進捗状況はどちらとも言えませんが、参考指標をみると、近所の子どもと積極的にあいさつをする大人の割合は増加しています。

施策別シート

部 門 名	3-3 文化
施 策 名	1 歴史・文化の保存継承と情報発信
関 係 局	総務局、市民経済局、住宅都市局、緑政土木局、教育委員会

1 施策の目的

① 基本方針

近世武家文化のシンボルである名古屋城など、歴史上貴重な文化資産を生かし、市民が名古屋に誇りと愛着が持てるようにするとともに、内外に名古屋の魅力を積極的に情報発信します。

歴史、伝統、民俗、行事など地域の魅力的な文化資源の積極的な保存・活用を地域住民とともにすすめ、次世代に継承していきます。

産業技術の中核にふさわしい産業文化の拠点として、ものづくりの技や心を育み、次の時代に伝えます。

② 達成目標

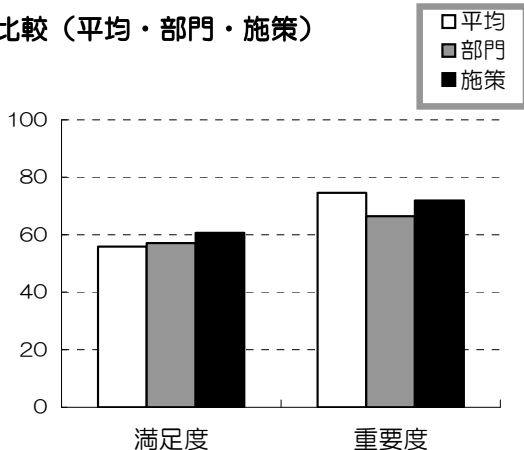
対象(誰を・何を)	意図(どういう状態にしたいか)
市民	名古屋城、徳川園、蓬左文庫などの文化資産を市民共通の貴重な財産として継承・発展していくことで、名古屋の魅力向上、活性化をはかります。 市史の編さん・普及および市史資料の公開を通じて、市民意識に郷土への理解と愛着を深め、歴史に根ざしたまちづくりへの関心を育むとともに、全国に向けて名古屋地域に関する歴史的な知の集積を発信します。

2 施策の実績(現在の状況)

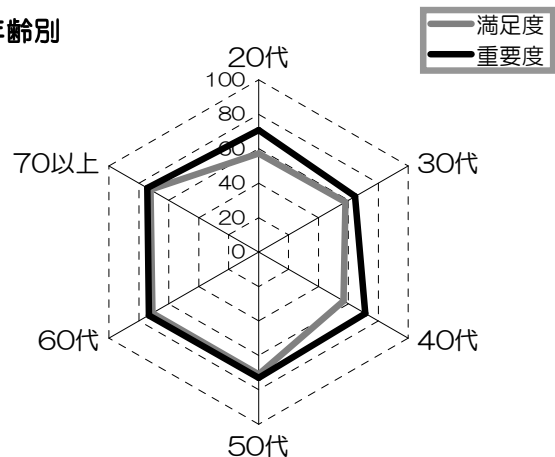
① 市民意識

満足度	☆☆☆ (60.7)	重要度	☆☆ (71.9)
-----	------------	-----	-----------

比較(平均・部門・施策)



年齢別



② 名古屋新世紀計画 2010 第 2 次実施計画の数値目標の進捗状況

No.	指標	計画策定時の数値	16 年度実績値	目標値		進捗状況	所管局
				18 年度	22 年度		
1	名古屋城本丸御殿復元の理解度	75% (14 年度)	77.4%	77%	80%	☆☆☆	市民経済局
	●目標設定の考え方:名古屋城内やイベント会場などでのアンケートにおいて、本丸御殿の復元を希望する人の割合が 80%以上となることをめざします。						
2	徳川園(池泉回遊式庭園)の年間入園者数	—	221,601人 (11/2~3/31)	50 万人 (17 年度)	30 万人	☆☆☆	緑政土木局
	●目標設定の考え方:愛・地球博開催年度は 50 万人、その後定常的に 30 万人の入園者確保をめざします。						
3	「新修名古屋市史」資料編の刊行巻数	—	—	3 巻	11 巻	*	総務局
	●目標設定の考え方:平成 22 年度までに全 11 巻を刊行します。						

3 まとめ

- 満足度は、全施策平均を上回っています。また、年齢別では、どの年代においても全施策平均を上回り、とりわけ 50 歳代以上で高くなっています。
- 重要度は、全施策平均を下回っています。また、年齢別では、70 歳代以上では全施策平均とほぼ同等ですが、他の年代では下回り、とりわけ 30 歳代で低くなっています。
- 第 2 次実施計画の数値目標では、「新修名古屋市史」資料編の刊行巻数は 16 年度末までで実績値がないため、進捗状況はどちらとも言えませんが、名古屋城本丸御殿復元の理解度、徳川園(池泉回遊式庭園)の年間入園者数のいずれの指標も目標達成に向けて順調にすすんでいます。

施策別シート

部 門 名	3-3 文化
施 策 名	2 新たな文化創造・文化活動への支援
関 係 局	市民経済局、教育委員会

1 施策の目的

① 基本方針

文化に関わるさまざまな立場の人々や多様な価値観を持った人々が互いに刺激しあうことにより新たな文化が創造されるよう、人、場所のネットワークづくりをすすめます。

文化を身近なものとして感じ、ふれ、自らも活動できるような機会と場所づくりをすすめ、市民の文化活動を「芸どころ名古屋」と誇ることができるように、より一層支援します。

② 達成目標

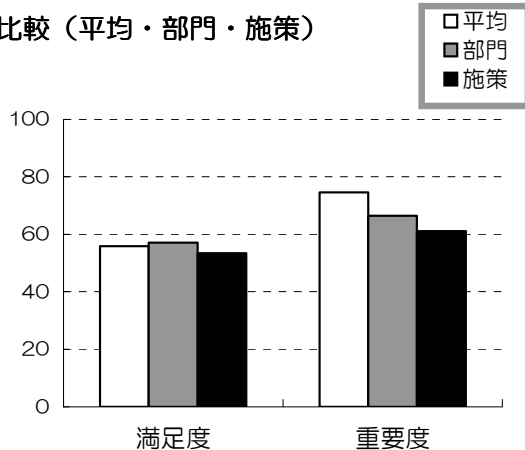
対象(誰を・何を)	意図(どういう状態にしたいか)
市民	広く市民に優れた芸術に接する機会を提供し、芸術文化活動を行っている団体、個人の活動を支援することで、市民の文化力向上と、なごや文化の底力を発信し、名古屋の都市魅力の向上をはかります。 都心の緑豊かな白川公園内にある科学館天文館・理工館の改築や美術館の新館の整備をすすめ、市民の交流の場や機会の拡大をはかるとともに、この地域の活性化や賑わいを創出して、白川公園と一体となった新しい文化の拠点を創造するため、芸術と科学の杜構想を推進します。

2 施策の実績(現在の状況)

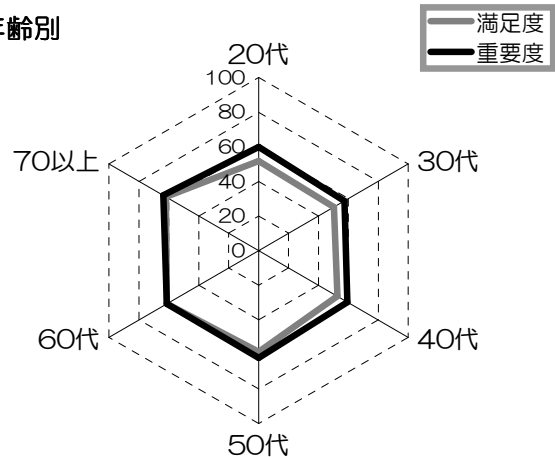
① 市民意識

満足度	☆☆ (53.5)	重要度	☆ (61.0)
-----	-----------	-----	----------

比較(平均・部門・施策)



年齢別



② 名古屋新世紀計画 2010 第 2 次実施計画の数値目標の進捗状況

No.	指標	計画策定時の数値	16 年度実績値	目標値		進捗状況	所管局
				18 年度	22 年度		
1	名古屋フィルハーモニー交響楽団の市民向け公演の回数	111 件 (14 年度)	115 件	115 件	115 件	☆☆☆	市民経済局
	●目標設定の考え方:名古屋フィルハーモニー交響楽団の活動を通じて、市民文化の一層の向上をめざします。						
2	文化小劇場(ホール)の利用率	69.3% (14 年度)	72.7%	72%	75%	☆☆☆	市民経済局
	●目標設定の考え方:市民の文化活動の場である文化小劇場の利用率(利用日数/利用可能日数)向上をめざします。						

3 まとめ

- 満足度は、全施策平均を下回っています。また、年齢別では、50 歳代以上では全施策平均を上回っていますが、20～40 歳代では下回っています。
- 重要度は、全施策平均を下回っています。また、年齢別では、どの年代においても全施策平均を下回り、とりわけ 30 歳代と 40 歳代で低くなっています。
- 第 2 次実施計画の数値目標では、名古屋フィルハーモニー交響楽団の市民向け公演の回数、文化小劇場(ホール)の利用率のいずれの指標も目標の達成に向けて順調にすすんでいます。

施策別シート

部 門 名	3-4 コミュニティ・市民活動
施 策 名	1 コミュニティ活動の支援
関 係 局	市民経済局、環境局

1 施策の目的

① 基本方針

市民の自主的なコミュニティ活動を積極的に支援することにより、幅広い世代間の活動・交流が活発に行われ、ふるさとだと思えることができるような、ふれあいと愛着が感じられるコミュニティづくりをすすめます。

② 達成目標

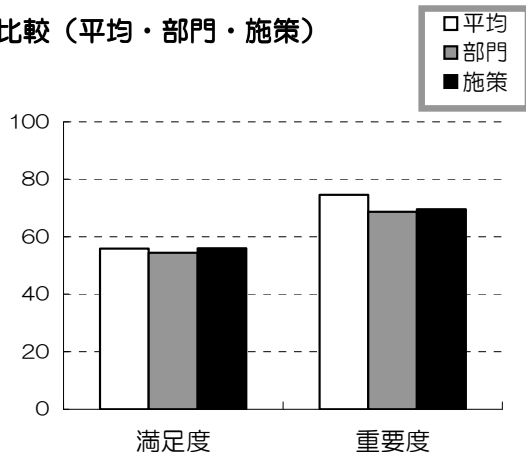
対象(誰を・何を)	意図(どういう状態にしたいか)
市民および事業者	住民相互の交流や連携を一層促進し、地域の自主的なコミュニティ活動を活発にします。 また、ごみの散乱、自転車などの放置、迷惑駐車など、人々のモラルの低下やマナーの欠如などにより生活環境が悪化する中、市民参画による安心・安全で快適なまちづくりを一層推進します。 自主的なコミュニティ活動を積極的に支援し、ふれあいと愛着が感じられるコミュニティをつくります。

2 施策の実績(現在の状況)

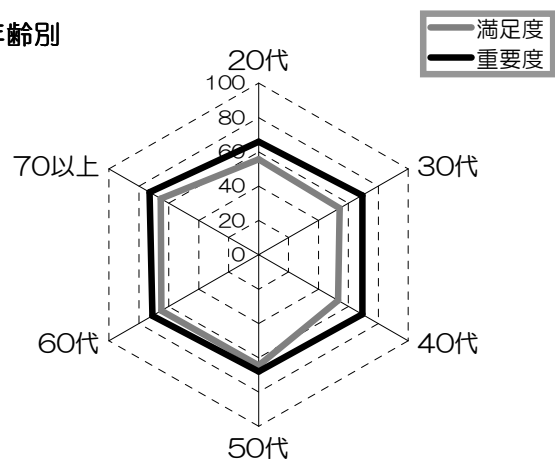
① 市民意識

満足度	☆☆ (56.0)	重要度	☆☆ (69.6)
-----	-----------	-----	-----------

比較(平均・部門・施策)



年齢別



② 名古屋新世紀計画 2010 第 2 次実施計画の数値目標の進捗状況

No.	指標	計画策定時の数値	16 年度実績値	目標値		進捗状況	所管局
				18 年度	22 年度		
1	地域パトロール活動など市民活動の参加者数	—	11 万人	30 万人	40 万人	☆☆☆	市民経済局
	●目標設定の考え方:活動の延べ参加者数が、全市民の 20%になることをめざします。						
2	町を美しくする運動の参加者数	138,727 人 (14 年度)	558,160 人	165,000 人	171,000 人	☆☆☆	市民経済局
	●目標設定の考え方:市民参画による快適なまちづくりを推進するため、町を美しくする運動の参加者数の増加をめざします。						

3 まとめ

- 満足度は、全施策平均とほぼ同等で、部門平均を上回っています。また、年齢別では、50 歳代以上では全施策平均を上回っていますが、20 歳代ではほぼ同等、30 歳代と 40 歳代では下回っています。
- 重要度は、全施策平均を下回り、部門平均とほぼ同等になっています。また、年齢別では、どの年代においても全施策平均を下回っていますが、そのうち 20 歳代では低く、70 歳代以上では高くなっています。
- 第 2 次実施計画の数値目標では、市民活動等への参加者が増加しており、いずれの指標も目標達成に向けて順調にすすんでいます。

施策別シート

部 門 名	3-4 コミュニティ・市民活動
施 策 名	2 市民活動の支援
関 係 局	市民経済局

1 施策の目的

① 基本方針

市民の自主的なコミュニティ活動を積極的に支援することにより、幅広い世代間の活動・交流が活発に行われ、ふるさとだと思えることができるような、ふれあいと愛着が感じられるコミュニティづくりをすすめます。

さまざまな分野で展開されるボランティア活動や NPO 活動に対し、活動しやすい環境の整備をすすめ、市民・企業・行政のパートナーシップによるまちづくりをすすめます。

② 達成目標

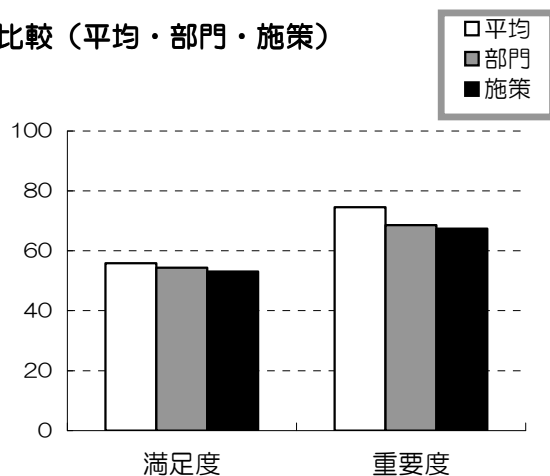
対象(誰を・何を)	意図(どういう状態にしたいか)
市民および NPO	ボランティアや NPO 活動に対する市民の意欲・関心を現実の活動に結びつけ、市民活動を促進するとともに、多様化・複雑化する市民ニーズに対応するために、NPO と本市の協働を促進します。

2 施策の実績(現在の状況)

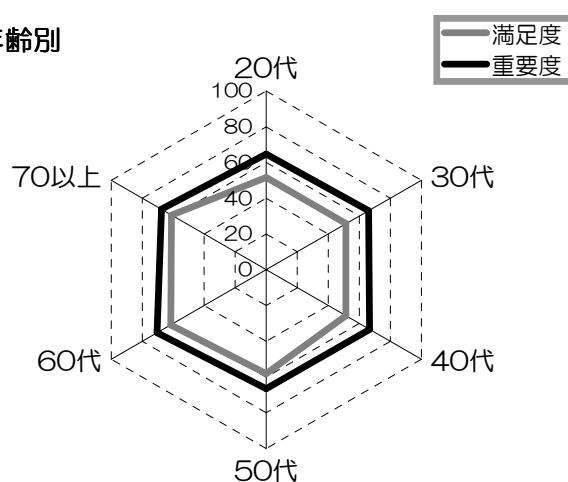
① 市民意識

満足度	☆☆ (53. 1)	重要度	☆ (67. 4)
-----	------------	-----	-----------

比較 (平均・部門・施策)



年齢別



② 名古屋新世紀計画 2010 第 2 次実施計画の数値目標の進捗状況

No.	指標	計画策定時の数値	16 年度実績値	目標値		進捗状況	所管局
				18 年度	22 年度		
1	市内に主たる住所のある NPO 法人数	154 団体 (14 年度)	367 団体	400 団体	700 団体	☆☆☆	市民経済局
	● 目標設定の考え方: NPO 法人の増加をめざします。						

3 まとめ

- 満足度は、全施策平均を下回り、部門平均も下回っています。また、年齢別では、50 歳代以上では全施策平均を上回っていますが、20～40 歳代では下回っています。
- 重要度は、全施策平均を下回り、部門平均も下回っています。また、年齢別では、どの年代においても全施策平均を下回り、とりわけ 20 歳代で低くなっています。
- 第 2 次実施計画の数値目標では、市内に主たる住所のある NPO 法人数は増えており、目標達成に向けて順調にすすんでいます。

施策別シート

部 門 名	3-4 コミュニティ・市民活動
施 策 名	3 魅力ある地域づくりの推進
関 係 局	市民経済局、緑政土木局

1 施策の目的

① 基本方針

地域のさまざまな課題に対して、住民と行政が柔軟に役割分担を決め、協力しながら取り組んでいくことにより、魅力ある地域づくりをすすめます。

② 達成目標

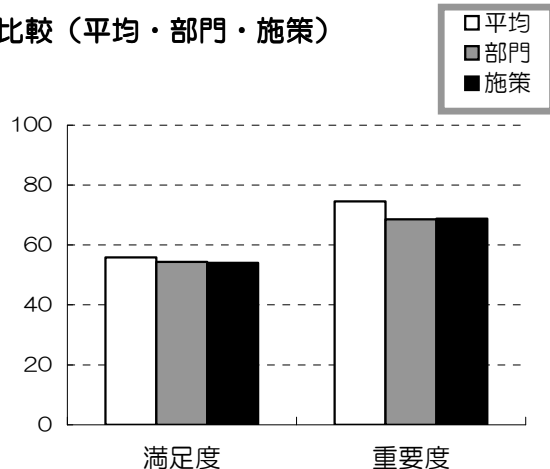
対象(誰を・何を)	意図(どういう状態にしたいか)
市民	市民と協働して、地域の資源や特性を生かした魅力ある地域づくりをすすめます。

2 施策の実績(現在の状況)

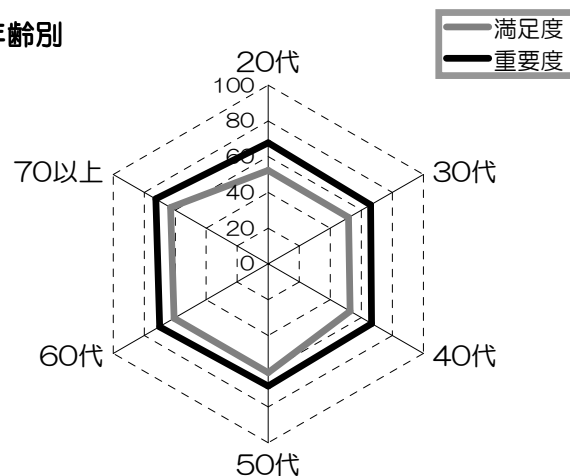
① 市民意識

満足度	☆☆ (54.0)	重要度	☆☆ (68.8)
-----	-----------	-----	-----------

比較(平均・部門・施策)



年齢別



② 名古屋新世紀計画 2010 第 2 次実施計画の数値目標の進捗状況

No.	指標	計画策定時の数値	16 年度実績値	目標値		進捗状況	所管局
				18 年度	22 年度		
1	区の魅力づくり事業の進捗率	63% (14 年度)	73%	80%	100%	☆☆☆	市民経済局
	● 目標設定の考え方: 区民が主体となった魅力あるまちづくりをすすめるため、区の魅力づくり事業の完全実施をめざします。						

3 まとめ

- 満足度は、全施策平均を下回り、部門平均とほぼ同等になっています。また、年齢別では、50 歳代以上では全施策平均を上回っていますが、20～40 歳代では下回っています。
- 重要度は、全施策平均を下回り、部門平均とほぼ同等になっています。また、年齢別では、どの年代においても全施策平均を下回っていますが、そのうち 30 歳代と 40 歳代では低く、70 歳代以上では高くなっています。
- 第 2 次実施計画の数値目標では、区民が主体となった区の魅力づくり事業が進捗しており、目標達成に向けて順調にすすんでいます。

施策別シート

部 門 名	3-5 男女平等参画
施 策 名	1 男女平等参画の総合的な推進
関 係 局	総務局

1 施策の目的

① 基本方針

基本条例の制定や男女平等参画推進センターの設置により、あらゆる施策の基本に男女平等参画の視点を盛り込み、男女共同参画社会の実現に向けた具体的な施策を実施します。

女性のみならず男性の意識変革もすすめ、社会全体に性別役割分担を解消する意識を高めます。

女性の自立に向けた能力開発や審議会等への女性委員の登用率を高めるなど、あらゆる分野への参画を支援します。

② 達成目標

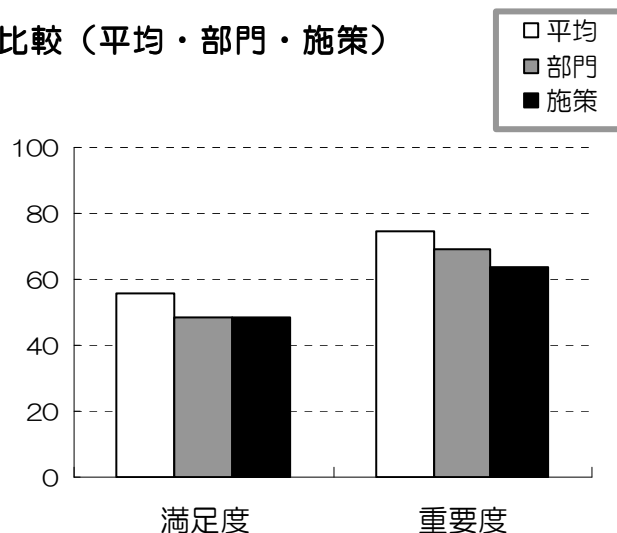
対象(誰を・何を)	意図(どういう状態にしたいか)
市民および事業者	女性も男性も互いに人権を尊重しつつ、性別にかかわらず個性と能力を十分に発揮し、社会のあらゆる分野において、対等に参画し、共に責任を担い利益を受けることができるようにします。

2 施策の実績(現在の状況)

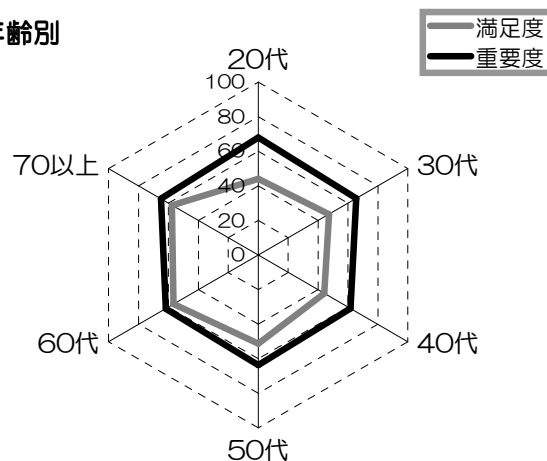
① 市民意識

満足度	☆ (48.6)	重要度	☆ (63.9)
-----	----------	-----	----------

比較（平均・部門・施策）



年齢別



② 名古屋新世紀計画 2010 第 2 次実施計画の数値目標の進捗状況

No.	指標	計画策定時の数値	16 年度実績値	目標値		進捗状況	所管局
				18 年度	22 年度		
1	審議会等への女性委員の登用率	21% (15 年度)	24.1%	30%	40%	☆☆☆	総務局
	●目標設定の考え方:政策などへの立案過程への女性の参画をすすめるため、審議会等への女性委員の登用率を高めます。						

3 まとめ

- 満足度は、全施策平均を下回っています。また、年齢別では、60 歳代と 70 歳代以上では全施策平均を上回っていますが、20～50 歳代では下回り、とりわけ 20～40 歳代で「満足」と「不満足」のボーダーラインである 50 ポイントを下回っています。
- 重要度は、全施策平均を下回っています。また、年齢別では、どの年代においても全施策平均を下回っていますが、そのうち 40 歳代と 60 歳代では低く、20 歳代では高くなっています。
- 第 2 次実施計画の数値目標では、本市の審議会等への女性委員の登用率は上がっており、目標達成に向けて順調にすすんでいます。

施策別シート

部 門 名	3-5 男女平等参画
施 策 名	2 女性の人権の尊重
関 係 局	総務局

1 施策の目的

① 基本方針

女性の人権の尊重の視点から、セクシュアルハラスメントやドメスティック・バイオレンスなどの社会問題に積極的に取り組みます。

② 達成目標

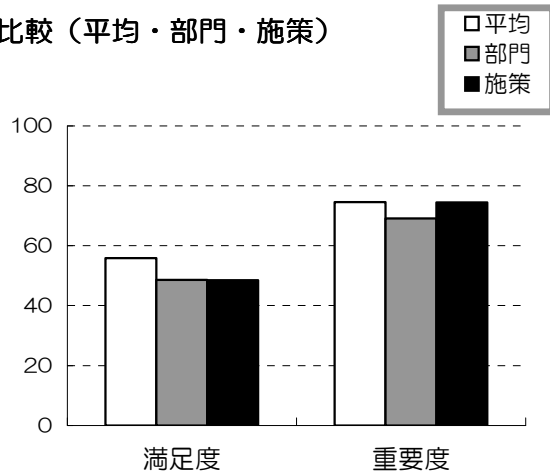
対象(誰を・何を)	意図(どういう状態にしたいか)
市民および社会	女性に対するあらゆる暴力やセクシュアルハラスメントなどが根絶され、性別にかかわらず、健康で安全に生活できる、人権の尊重された社会の実現をめざします。

2 施策の実績(現在の状況)

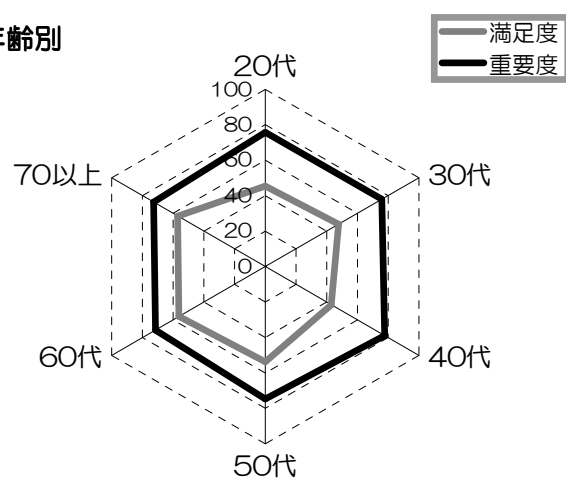
① 市民意識

満足度	☆ (48. 5)	重要度	☆☆ (74. 4)
-----	-----------	-----	------------

比較(平均・部門・施策)



年齢別



② 名古屋新世紀計画 2010 第 2 次実施計画の数値目標の進捗状況

No.	指標	計画策定時の数値	16 年度実績値	目標値		進捗状況	所管局
				18 年度	22 年度		
1	市が支援している民間シェルター数	2 (15 年度)	2	3	3	☆☆☆	総務局
	● 目標設定の考え方: 暴力の被害から逃れる女性のための緊急一時保護施設への家賃補助数を増やします。						

3 まとめ

- 満足度は、全施策平均を下回っています。また、年齢別では、60 歳代と 70 歳代以上では全施策平均を上回っていますが、20～50 歳代では下回り、とりわけ 20～40 歳代で「満足」と「不満足」のボーダーラインである 50 ポイントを下回っています。
- 重要度は、全施策平均とほぼ同等になっています。また、年齢別では、20～50 歳では全施策平均を上回るか、ほぼ同等ですが、60 歳代と 70 歳代以上では下回っています。
- 第 2 次実施計画の数値目標では、目標達成に向けて順調にすすんでいます。

施策別シート

部 門 名	3-6 国際都市
施 策 名	1 国際交流・国際協力の推進
関 係 局	市長室、緑政土木局

1 施策の目的

① 基本方針

多様な交流を支える国際都市としての基盤づくりを積極的に推進するとともに、外国からの来訪者をもてなす心の醸成をはかり、多様な国際交流を活発にすることにより、国際交流拠点都市をめざします。

大都市としてのまちづくりに関するノウハウの蓄積を生かした技術協力を推進するとともに、国際協力に取り組む市民団体やボランティアなどの活動を促進することにより、国際社会への貢献を果たします。

都市の個性である歴史、伝統、文化などを生かし、その魅力により世界中の人々が集まるような都市魅力の形成をはかるとともに、国際社会に通用する知識や意思疎通能力を備えた人材の育成や、国際的ネットワークの形成をはかり、世界へ情報発信する都市をめざします。

② 達成目標

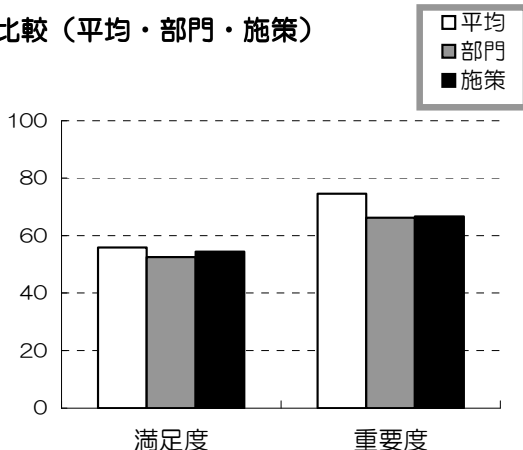
対象(誰を・何を)	意図(どういう状態にしたいか)
市民および名古屋を訪れる外国人を中心とした全世界の人々	ホームステイなどの各種ボランティア、国際理解に関するイベントや姉妹都市交流を通じ、市民と名古屋を訪れる外国人との交流の場を提供するとともに、世界に向けて名古屋の認知度を高めます。 また、留学生会館の運営や JICA(国際協力機構)の受入・派遣事業等を通じ、国際社会への貢献に寄与します。

2 施策の実績(現在の状況)

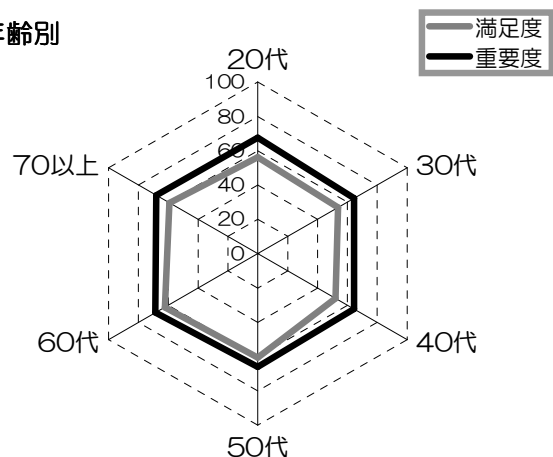
① 市民意識

満足度	☆☆ (54. 4)	重要度	☆ (66. 6)
-----	------------	-----	-----------

比較(平均・部門・施策)



年齢別



② 名古屋新世紀計画 2010 第 2 次実施計画の数値目標の進捗状況

No.	指標	計画策定時の数値	16 年度実績値	目標値		進捗状況	所管局
				18 年度	22 年度		
1	名古屋国際センター登録ボランティアの年間延べ活動回数	3,900 回 (14 年度)	5,132 回	4,500 回	5,000 回	☆☆☆	市長室
	● 目標設定の考え方: ボランティア活動の場を積極的に提供し、名古屋国際センター登録ボランティアの年間活動回数を増やします。						

3 まとめ

- 満足度は、全施策平均を下回っています。また、年齢別では、30 歳代と 40 歳代を除き全施策平均を上回り、とりわけ 60 歳代で高くなっています。
- 重要度は、全施策平均を下回っています。また、年齢別では、どの年代においても全施策平均を下回り、とりわけ 30 歳代と 40 歳代で低くなっています。
- 第 2 次実施計画の数値目標では、22 年度目標をすでに達成しています。

施策別シート

部 門 名	3-6 国際都市
施 策 名	2 外国人市民が暮らしやすいまちづくり
関 係 局	市長室、市民経済局

1 施策の目的

① 基本方針

地域で生活する外国人市民が地域社会の一員として受け入れられ、日常生活で不便や困難を生じることがなく安心して生活できる、外国人市民が暮らしやすいまちをめざします。

② 達成目標

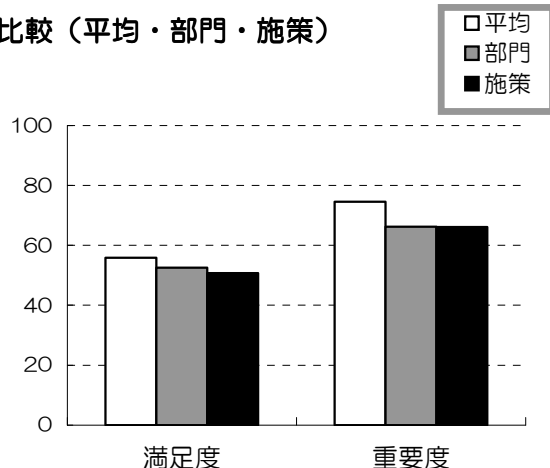
対象(誰を・何を)	意図(どういう状態にしたいか)
本市に在住する外国人市民	日本人市民と同等の情報を入手でき、外国人市民と日本人市民が相互に文化的背景、習慣を認め合い、地域の共同構成員として暮らしていくまちにしていきたい。

2 施策の実績(現在の状況)

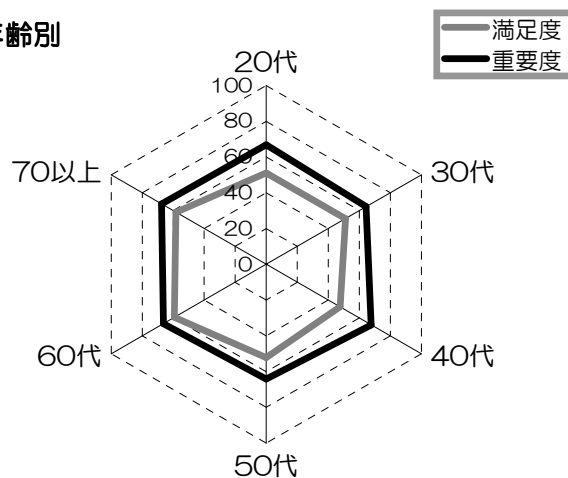
① 市民意識

満足度	☆ (50.7)	重要度	☆ (66.1)
-----	----------	-----	----------

比較(平均・部門・施策)



年齢別



② 名古屋新世紀計画 2010 第 2 次実施計画の数値目標の進捗状況

No.	指標	計画策定時の数値	16 年度実績値	目標値		進捗状況	所管局
				18 年度	22 年度		
1	地域行事に参加する外国人団体等の件数	5 件 (14 年度)	7 件	11 件	16 件	☆☆	市民経済局
	● 目標設定の考え方: 区民まつりなど地域で行われる行事への参加の度合により外国人市民と地域社会の深まりを測ります。						

3 まとめ

○満足度は、全施策平均を下回っています。また、年齢別では、60 歳代と 70 歳代以上では全施策平均を上回っていますが、20～50 歳代では下回り、とりわけ 40 歳代で「満足」と「不満足」のボーダーラインである 50 ポイントを下回っています。

○重要度は、全施策平均を下回っています。また、年齢別では、どの年代においても全施策平均を下回っていますが、年代による差はあまりみられません。

○第 2 次実施計画の数値目標では、目標達成に向けてやや遅れが見受けられます。

施策別シート

部 門 名	4-1 市街地整備
施 策 名	1 合理的な土地利用の促進・総合的で多様なまちづくりの推進
関 係 局	住宅都市局

1 施策の目的

① 基本方針

安全、快適で活気ある都市空間の形成をめざし、都市計画などの制度を活用し合理的な土地利用を促進するとともに、市民とのパートナーシップによる総合的で多様なまちづくりをすすめます。

② 達成目標

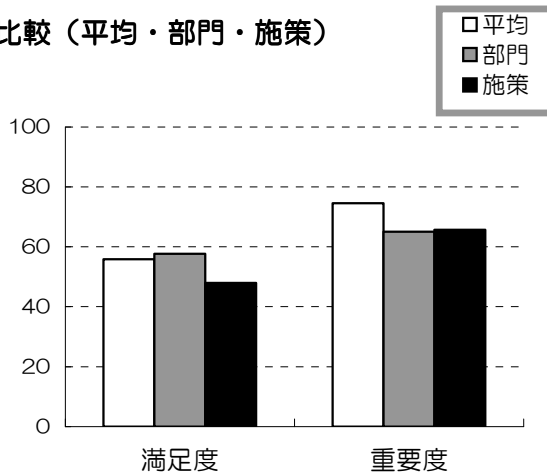
対象(誰を・何を)	意図(どういう状態にしたいか)
名古屋の都市空間	人口、世帯数の動向、土地区画整理事業等による市街地整備の状況をふまえ、周辺の土地利用と調和に配慮しながら、安全、快適で活気のある都市空間を形成します。 また、自然環境、歴史・文化資源などの地域特性を生かしながら、地域住民とのパートナーシップにより、きめ細かく魅力的な土地利用をすすめていくとともに、大規模低・未利用地については、事業者との調整につとめ、土地の有効利用を促進します。

2 施策の実績(現在の状況)

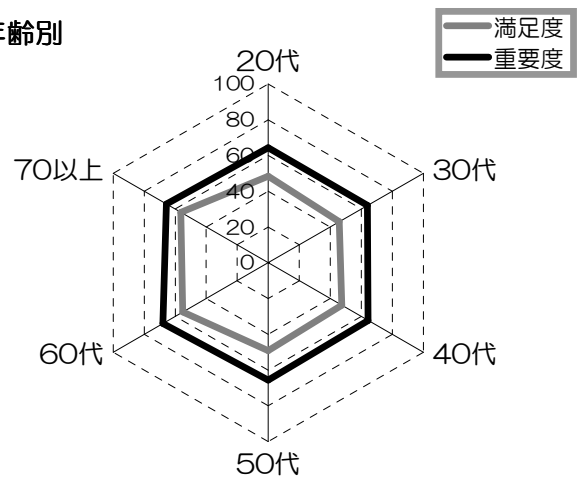
① 市民意識

満足度	☆ (48.0)	重要度	☆ (65.7)
-----	----------	-----	----------

比較 (平均・部門・施策)



年齢別



② 名古屋新世紀計画 2010 第 2 次実施計画の数値目標の進捗状況

No.	指標	計画策定時の数値	16 年度実績値	目標値		進捗状況	所管局
				18 年度	22 年度		
1	地区計画の決定および建築協定の締結地区数	71 地区 (14 年度末)	77 地区	83 地区	90 地区	☆☆☆	住宅都市局
	● 目標設定の考え方: 身近なまちづくりへの関心をさらに高め、地区計画および建築協定の地区数が 90 地区以上となることをめざします。						

3 まとめ

○満足度は、全施策平均を下回り、部門平均も下回っています。また、年齢別では、60 歳と 70 歳代以上では全施策平均を上回るか、ほぼ同等ですが、20～50 歳代では「満足」と「不満足」のボーダーラインである 50 ポイントを下回っています。

○重要度は、全施策平均を下回り、部門平均とほぼ同等になっています。また、年齢別では、どの年代においても全施策平均を下回っていますが、年代による差はあまりみられません。

○第 2 次実施計画の数値目標では、目標地区数 90 以上に向け、順調にすすんでいます。

施 策 別 シ ー ト

部 門 名	4-1 市街地整備
施 策 名	2 都市機能が集積し活気に満ちた都心域の形成
関 係 局	住宅都市局

1 施策の目的

① 基本方針

活気に満ちた国際・広域交流の拠点都市にふさわしいさまざまな都市機能の集積をはかるとともに、快適な都心居住を促進します。

② 達成目標

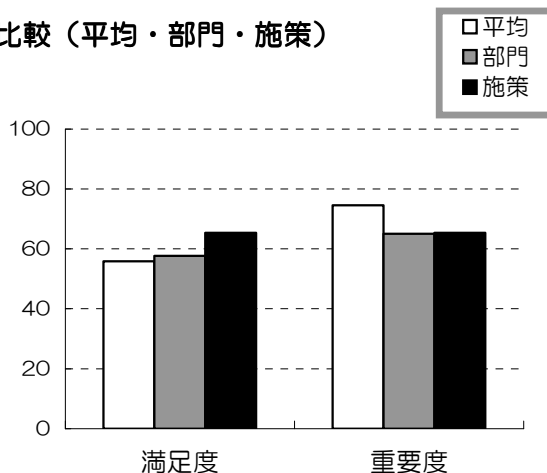
対象(誰を・何を)	意図(どういう状態にしたいか)
都心域および市民	中枢機能の集積と広域交流機能の一層の充実をはかり、風格ある魅力的な都市空間を形成するために、公共への貢献の視点をもちつつ、市民・企業・行政などが一体となってまちづくりをすすめる、多様な魅力の創出、まちの個性の演出、歩いて楽しい都心の再生、都心居住の推進、安心・安全な都心を形成をすることで、快適に生活できるようにします。

2 施策の実績(現在の状況)

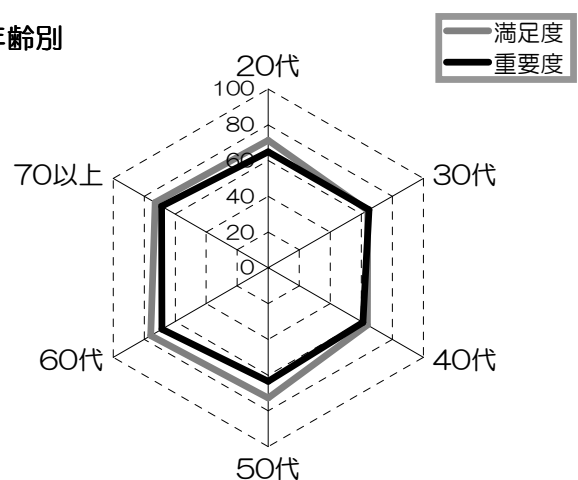
① 市民意識

満足度	☆☆☆ (65.4)	重要度	☆ (65.4)
-----	------------	-----	----------

比較(平均・部門・施策)



年齢別



② 名古屋新世紀計画 2010 第 2 次実施計画の数値目標の進捗状況

No.	指標	計画策定時の数値	16 年度実績値	目標値		進捗状況	所管局
				18 年度	22 年度		
1	都心域の主要な通りにおける休日の歩行者数	16.6 万人 (11 年度)	—	—	20 万人	*	住宅都市局
	● 目標設定の考え方: 名駅通、広小路通、大津通、久屋大通の 4 地点における休日 (7~19 時) の歩行者数が 20 万人以上となることをめざします。						
2	名古屋駅周辺・伏見・栄地域内での容積率の活用割合	500% (14 年度)	—	—	520%	*	住宅都市局
	● 目標設定の考え方: 都市再生緊急整備地域の名古屋駅周辺・伏見・栄地域内において、建築物の利用容積率が 520% 以上となることをめざします。						

③ 参考指標による状況

No.	指標	15 年度実績値	16 年度実績値	所管局
1	広小路通の休日歩行者数	10,490 人 (11 年度参考値)	9,502 人	住宅都市局
	● 指標の考え方: ゆとりある、歩行空間の形成、公共空間の有効活用、ビル低層部店舗化促進により、再生をめざします。			

3 まとめ

- 満足度は、全施策中 6 番目に高く、部門平均も上回っています。また、年齢別では、どの年代においても全施策平均を上回っていますが、とりわけ 20 歳代と 50 歳代以上で高くなっています。
- 重要度は、全施策平均を下回り、部門平均とほぼ同等になっています。また、年齢別では、どの年代においても全施策平均を下回っていますが、そのうち 40 歳代では低く、60 歳代と 70 歳代以上では高くなっています。
- 第 2 次実施計画の数値目標では、16 年度実績値および 18 年度目標値がなく、進捗状況はどちらも言えませんが、参考指標をみると、広小路通の休日歩行者数が減少傾向となっています。

施 策 別 シ ー ト

部 門 名	4-1 市街地整備
施 策 名	3 安全で快適な既成市街地の再生
関 係 局	住宅都市局、緑政土木局

1 施策の目的

① 基本方針

都市基盤の整備や老朽木造住宅密集地域の改善をすすめるとともに、地域の特性に応じた活性化をはかることなどにより、安全で快適な既成市街地の再生をはかります。

② 達成目標

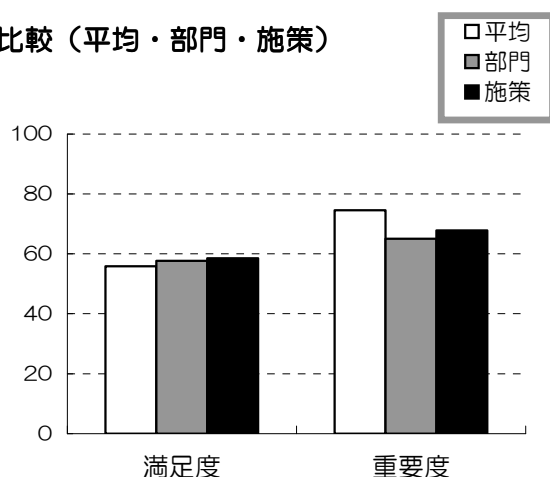
対象(誰を・何を)	意図(どういう状態にしたいか)
既成市街地および市民	既成市街地の道路および公園等、公共施設の整備や老朽木造住宅密集地域の改善をすすめることにより、居住環境や防災性を向上させたり、駅周辺の施設を整備することにより地域を活性化させ、安全で快適に生活できるようにします。

2 施策の実績(現在の状況)

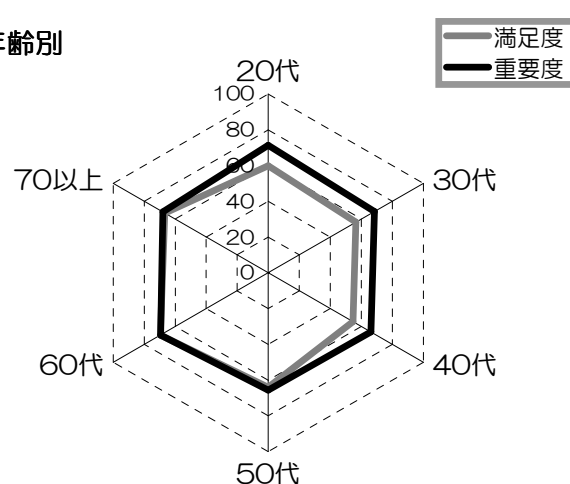
① 市民意識

満足度	☆☆ (58. 5)	重要度	☆☆ (67. 8)
-----	------------	-----	------------

比較 (平均・部門・施策)



年齢別



② 名古屋新世紀計画 2010 第 2 次実施計画の数値目標の進捗状況

No.	指標	計画策定時の数値	16 年度実績値	目標値		進捗状況	所管局
				18 年度	22 年度		
1	既成市街地での土地 地区画整理事業などにより整備された 道路・公園の面積	22ha (14年度末)	22.8ha	30ha	38ha	☆☆	住宅都市局
	●目標設定の考え方:土地地区画整理事業および市街地再開発事業により整備された道路・公園の面積が 38ha(ナゴヤドーム約 8 個分)以上となることをめざします。						

3 まとめ

- 満足度は、全施策平均を上回り、部門平均とほぼ同等になっています。また、年齢別では、どの年代においても全施策平均を上回るか、ほぼ同等ですが、とりわけ 50 歳代以上で高くなっています。
- 重要度は、全施策平均を下回り、部門平均を上回っています。また、年齢別では、どの年代においても全施策平均を下回っていますが、そのうち 50 歳代では低く、20 歳代では高くなっています。
- 第 2 次実施計画の数値目標では、既成市街地での土地地区画整理事業などにより整備された道路・公園の面積はあまり増えておらず、目標達成に向けてやや遅れが見受けられます。

施 策 別 シ ー ト

部 門 名	4-1 市街地整備
施 策 名	4 計画的な新市街地の形成
関 係 局	住宅都市局

1 施策の目的

① 基本方針

自然環境などに配慮しながら、計画的に良好な宅地の供給と都市基盤の整備をすすめます。

② 達成目標

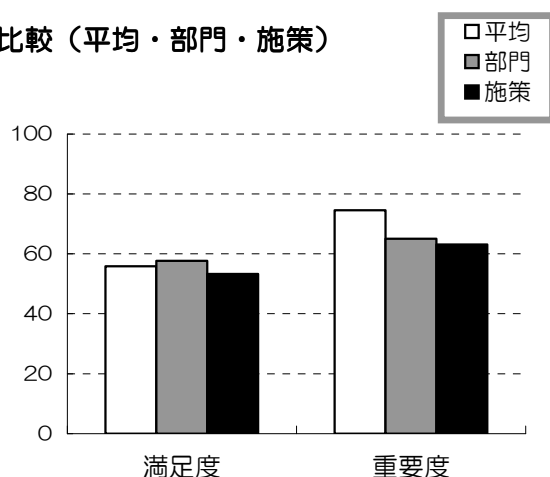
対象(誰を・何を)	意図(どういう状態にしたいか)
新たに市街地の形成をはかる市域および市民	計画的な新市街地の形成をはかるため、組合区画整理事業を活用して道路・公園等の都市基盤を整備し、自然環境などと調和を取るなど、地域の特性を生かして、快適で安全に生活できるようにします。

2 施策の実績(現在の状況)

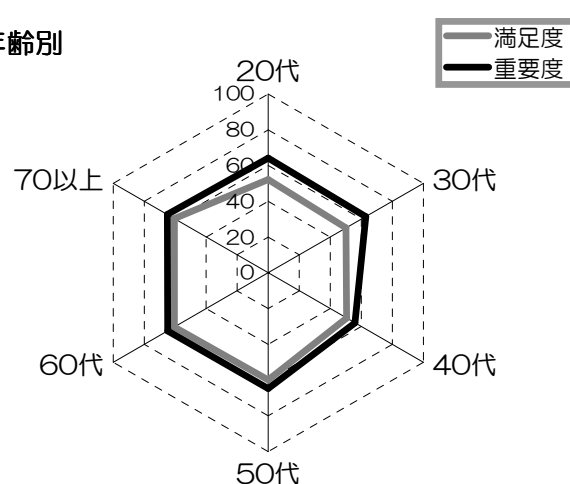
① 市民意識

満足度	☆☆ (53. 3)	重要度	☆ (63. 1)
-----	------------	-----	-----------

比較 (平均・部門・施策)



年齢別



② 名古屋新世紀計画 2010 第 2 次実施計画の数値目標の進捗状況

No.	指標	計画策定時の数値	16 年度実績値	目標値		進捗状況	所管局
				18 年度	22 年度		
1	新市街地での組合土地区画整理事業による整備面積	7,364ha (15 年度)	7,438ha	7,700ha	8,200ha	☆☆☆	住宅都市局
	● 目標設定の考え方: 良好な宅地の供給をはかるため、換地処分済みの施行地区面積が 8,200ha(ナゴヤドーム約 1,700 個分)以上となることをめざします。						
2	新市街地での組合土地区画整理事業により整備された道路・公園の面積	1,620ha (15 年度)	1,637ha	1,700ha	1,800ha	☆☆☆	住宅都市局
	● 目標設定の考え方: 組合土地区画整理事業により新たに整備された道路・公園の面積が 1,800ha(ナゴヤドーム約 374 個分)以上となることをめざします。						

3 まとめ

- 満足度は、全施策平均を下回り、部門平均も下回っています。また、年齢別では、50 歳代以上では全施策平均を上回っていますが、20～40 歳代では下回っています。
- 重要度は、全施策平均を下回り、部門平均も下回っています。また、年齢別では、どの年代においても全施策平均を下回り、とりわけ 40 歳代で低くなっています。
- 第 2 次実施計画の数値目標では、新市街地での組合土地区画整理事業による整備面積、新市街地での組合土地区画整理事業により整備された道路・公園の面積のいずれも増えており、目標の達成に向けて順調にすすんでいます。

施 策 別 シ ー ト

部 門 名	4-1 市街地整備
施 策 名	5 魅力的な港・臨海域の形成
関 係 局	住宅都市局

1 施策の目的

① 基本方針

港湾機能の一層の強化をはかるとともに、魅力的なウォーターフロントの形成をめざします。

② 達成目標

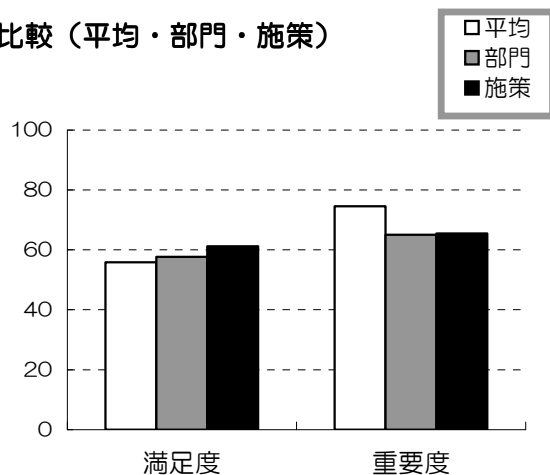
対象(誰を・何を)	意図(どういう状態にしたいか)
港・臨海域および市民	骨格となる幹線道路の整備を推進し、港湾機能の一層の強化をはかるとともに、水際域における公園・遊歩道整備や民間開発を誘導し魅力的なウォーターフロントを形成していくことにより、国際的・広域的な交流拠点とし、活気とうるおいを与えます。

2 施策の実績(現在の状況)

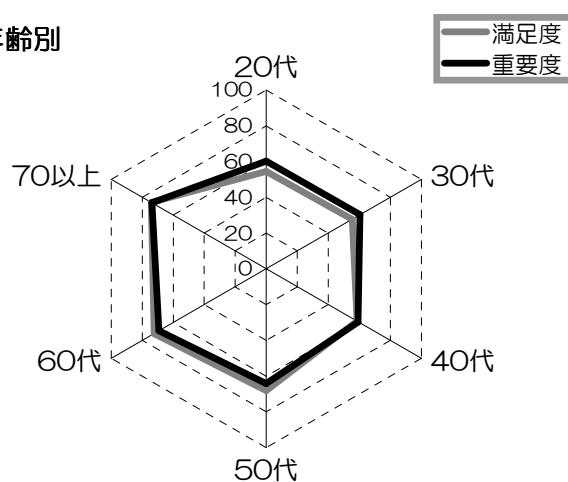
① 市民意識

満足度	☆☆☆ (61. 2)	重要度	☆ (65. 5)
-----	-------------	-----	-----------

比較 (平均・部門・施策)



年齢別



② 名古屋新世紀計画 2010 第 2 次実施計画の数値目標の進捗状況

No.	指標	計画策定時の数値	16 年度実績値	目標値		進捗状況	所管局
				18 年度	22 年度		
1	港・臨海域の公園やプロムナードの整備面積	64.3ha (14 年度末)	64.6ha	67.8ha	68.0ha	☆☆☆	住宅都市局
	● 目標設定の考え方: 築地、稲永地区における公園やプロムナードの整備済み面積が 68.0ha (ナゴヤドーム約 14 個分) 以上となることをめざします。						

3 まとめ

- 満足度は、全施策平均を上回り、部門平均も上回っています。また、年齢別では、20 歳代では全施策平均を下回っていますが、他の年代では全施策平均を上回るか、ほぼ同等で、とりわけ 60 歳代と 70 歳代以上で高くなっています。
- 重要度は、全施策平均を下回り、部門平均とほぼ同等になっています。また、年齢別では、どの年代においても全施策平均を下回っていますが、そのうち 20～40 歳代では低く、70 歳代以上では高くなっています。
- 第 2 次実施計画の数値目標では、港・臨海域の公園やプロムナードの整備面積が増えており、目標の達成に向けて順調にすすんでいます。

施策別シート

部 門 名	4-1 市街地整備
施 策 名	6 個性的な都市景観の形成
関 係 局	住宅都市局、緑政土木局

1 施策の目的

① 基本方針

地域の特性を生かしながら、デザイン都市名古屋にふさわしい個性的な都市景観の形成をすすめます。

② 達成目標

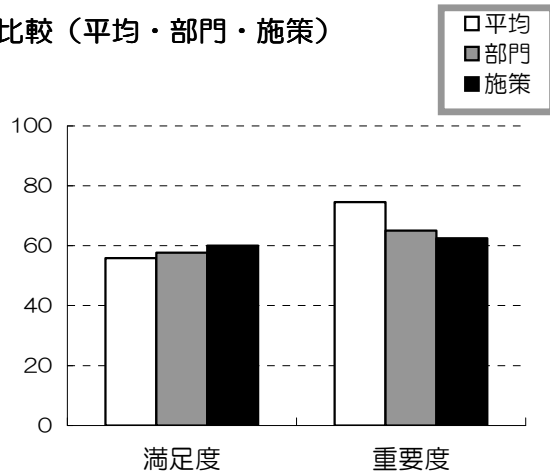
対象(誰を・何を)	意図(どういう状態にしたいか)
市民	行政とともに、都市景観をともに守り、育て、創り出していくことにより、地域の特性を生かしながら、都市の個性を育み、誇りと愛着を感じるまちを実現します。

2 施策の実績(現在の状況)

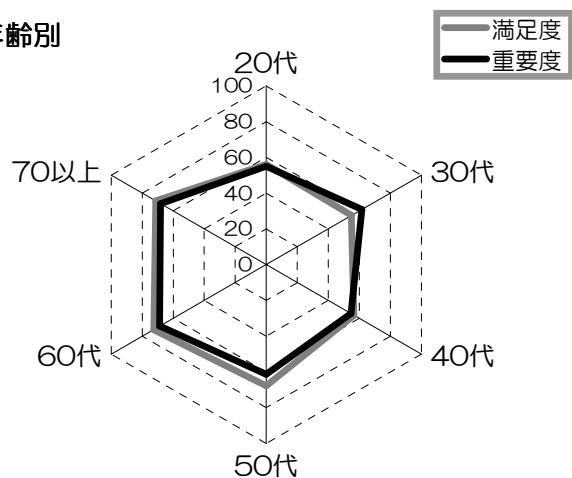
① 市民意識

満足度	☆☆☆ (60.0)	重要度	☆ (62.5)
-----	------------	-----	----------

比較(平均・部門・施策)



年齢別



② 名古屋新世紀計画 2010 第 2 次実施計画の数値目標の進捗状況

No.	指標	計画策定時の数値	16 年度実績値	目標値		進捗状況	所管局
				18 年度	22 年度		
1	市民参加によって景観づくりをすすめている地域数	9 地域 (14 年度末)	9 地域	10 地域	11 地域	☆☆☆	住宅都市局
	● 目標設定の考え方: 地域住民などの参加によって景観づくりをすすめている地域が、平成 22 年度までに 11 地域以上となることをめざします。						
2	電線類地中化道路延長	95.7km (14 年度末)	99.58km	100.6km	108.5km	☆☆☆	緑政土木局
	● 目標設定の考え方: 電線類を地中化した道路延長の増加をめざします。						

3 まとめ

- 満足度は、全施策平均を上回り、部門平均も上回っています。また、年齢別では、どの年代においても全施策平均を上回るか、ほぼ同等で、とりわけ 60 歳代と 70 歳代以上で高くなっています。
- 重要度は、全施策平均を下回り、部門平均も下回っています。また、年齢別では、どの年代においても全施策平均を下回っていますが、そのうち 20 歳代と 40 歳代では低く、60 歳代と 70 歳代以上では高くなっています。
- 第 2 次実施計画の数値目標では、市民参加によって景観づくりをすすめている地域数、電線類地中化道路延長のいずれの指標も目標の達成に向けて順調にすすんでいます。

施策別シート

部 門 名	4-2 住 宅
施 策 名	1 良質な住宅の形成
関 係 局	住宅都市局

1 施策の目的

① 基本方針

空間的にゆとりある住宅を確保するために、また資源の有効利用や環境保全の観点からも、長持ちする良質な住宅の形成をはかります。

② 達成目標

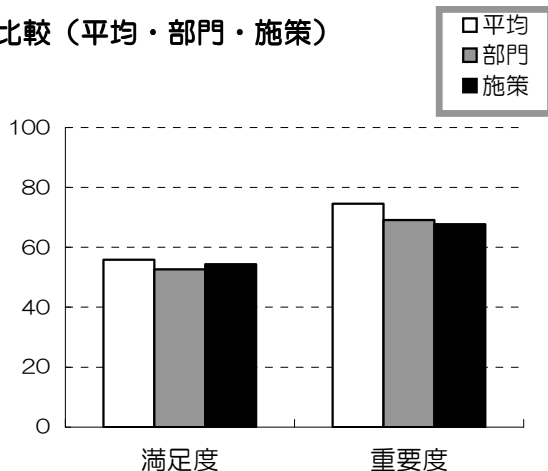
対象(誰を・何を)	意図(どういう状態にしたいか)
市民	市民の居住ニーズに対応した良質な住宅ストックを形成し、市民の皆様が自らのライフステージに応じて適切な住まいを主体的に選択できるようにします。

2 施策の実績(現在の状況)

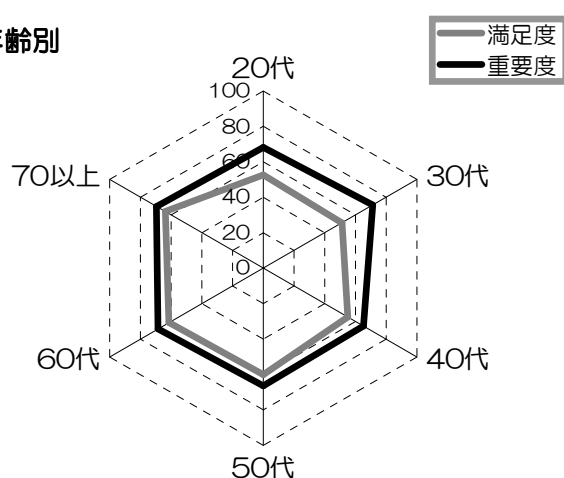
① 市民意識

満足度	☆☆ (54.4)	重要度	☆☆ (67.7)
-----	-----------	-----	-----------

比較(平均・部門・施策)



年齢別



② 名古屋新世紀計画 2010 第 2 次実施計画の数値目標の進捗状況

No.	指標	計画策定時の数値	16 年度実績値	目標値		進捗状況	所管局
				18 年度	22 年度		
1	誘導居住水準(例えば共同住宅に住む標準 4 人世帯で 91 m ² 以上)を達成する世帯の割合	45% (10 年度)	52% (15 年度参考値)	55%	60%	*	住宅都市局
	●目標設定の考え方:国の住宅宅地審議会答申(平成 12 年 6 月)での目標設定に準じて、誘導居住水準を達成する世帯の割合が 60%以上となることをめざします。						
2	老朽化した市営住宅ストックの割合	6.4% (15 年度)	6.0%	5.0%	3.0%	☆☆☆	住宅都市局
	●目標設定の考え方:昭和 40 年度以前に建設された市営住宅が、建て替えにより 3%以下(約 1,800 戸以下)となることをめざします。						

3 まとめ

- 満足度は、全施策平均を下回り、部門平均を上回っています。また、年齢別では、40 歳代以上では全施策平均を上回るか、ほぼ同等ですが、20 歳代と 30 歳代では下回っています。
- 重要度は、全施策平均を下回り、部門平均も下回っています。また、年齢別では、どの年代においても全施策平均を下回っていますが、そのうち 40 歳代では低く、30 歳代では高くなっています。
- 第 2 次実施計画の数値目標では、誘導居住水準を達成する世帯の割合は、16 年度実績が参考値(15 年度)のため、進捗状況はどちらも言えませんが、老朽化した市営住宅ストックの割合は下がっており、目標の達成に向けて順調にすすんでいます。

施策別シート

部 門 名	4-2 住 宅
施 策 名	2 いきいきとした交流の促進
関 係 局	健康福祉局、住宅都市局

1 施策の目的

① 基本方針

少子・高齢化の進行へ対応するために、すべての人にやさしい住まいづくりをすすめるとともに、福祉施策、コミュニティ施策と連携した住宅施策をすすめ、いきいきとした多世代の交流を促進します。

② 達成目標

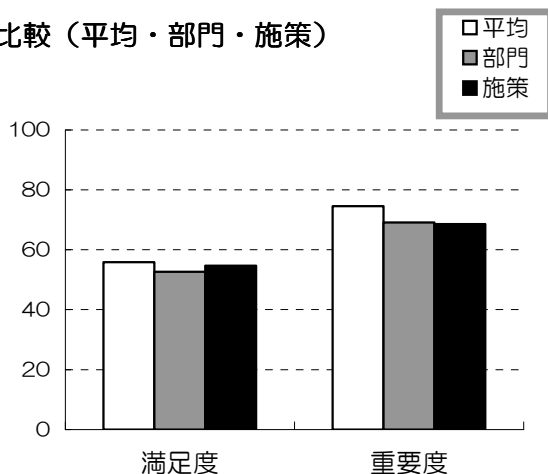
対象(誰を・何を)	意図(どういう状態にしたいか)
市民	安心して居住できる環境を整備するとともに、居住しやすい住宅の供給を促進することで、高齢者、障害者をはじめ誰もがいきいきとした住生活を営むことができるようにします。

2 施策の実績(現在の状況)

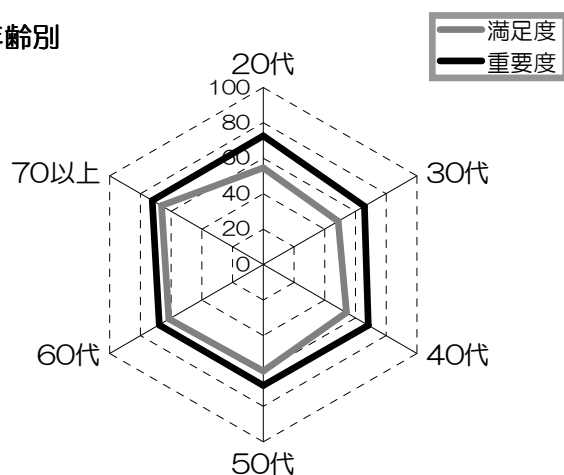
① 市民意識

満足度	☆☆ (54.7)	重要度	☆☆ (68.6)
-----	-----------	-----	-----------

比較 (平均・部門・施策)



年齢別



② 名古屋新世紀計画 2010 第 2 次実施計画の数値目標の進捗状況

No.	指標	計画策定時の数値	16 年度実績値	目標値		進捗状況	所管局
				18 年度	22 年度		
1	バリアフリー住宅に住む世帯の割合	3% (10 年度)	4% (15 年度参考値)	11%	15%	*	住宅都市局
	●目標設定の考え方:国の住宅宅地審議会答申(平成 12 年 6 月)での目標設定に準じて、平成 22 年度までに 15%以上となることをめざします。						
2	バリアフリー化した市営住宅ストックの割合	13% (15 年度)	14%	15%	17%	☆☆☆	住宅都市局
	●目標設定の考え方:市営住宅の建替戸数および高齢者向け改善戸数を勘案し、バリアフリー化した市営住宅ストックの割合が 17%以上(約 10,200 戸以上)となることをめざします。						

3 まとめ

- 満足度は、全施策平均を下回り、部門平均を上回っています。また、年齢別では、50 歳代以上では全施策平均を上回っていますが、20～40 歳代では全施策平均を下回り、とりわけ 30 歳代で「満足」と「不満足」のボーダーラインである 50 ポイントを下回っています。
- 重要度は、全施策平均を下回り、部門平均とほぼ同等になっています。また、年齢別では、どの年代においても全施策平均を下回っていますが、そのうち 30 歳代では低く、20 歳代と 70 歳代以上では高くなっています。
- 第 2 次実施計画の数値目標では、バリアフリー住宅に住む世帯の割合は、16 年度実績が参考値(15 年度)のため、進捗状況はどちらとも言えませんが、バリアフリー化した市営住宅ストックの割合は上がっており、目標の達成に向けて順調にすすんでいます。

施策別シート

部 門 名	4-2 住 宅
施 策 名	3 市民とともにすすめるすまい・まちづくり
関 係 局	住宅都市局

1 施策の目的

① 基本方針

健康的で安全な住まい・まちづくりをすすめるため、住まいに関する情報提供の仕組みを充実し、市民、企業、NPO などと協力して市民の主体的な住まい・まちづくりを支援します。
--

② 達成目標

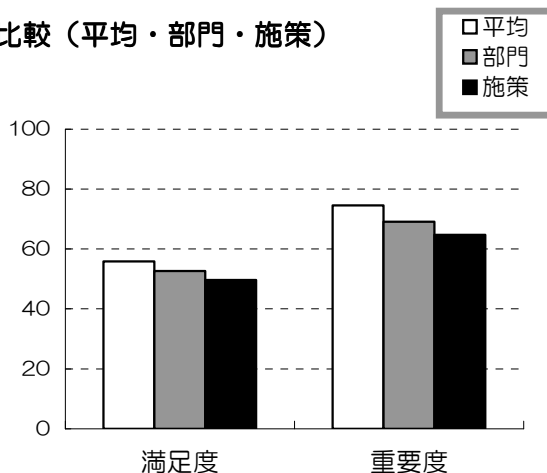
対象(誰を・何を)	意図(どういう状態にしたいか)
市民	市民が知りたい情報や知識が適切に得られるように、住まいに関する情報提供の仕組みを充実させ、市民の主体的な住まい・まちづくりを支援します。

2 施策の実績(現在の状況)

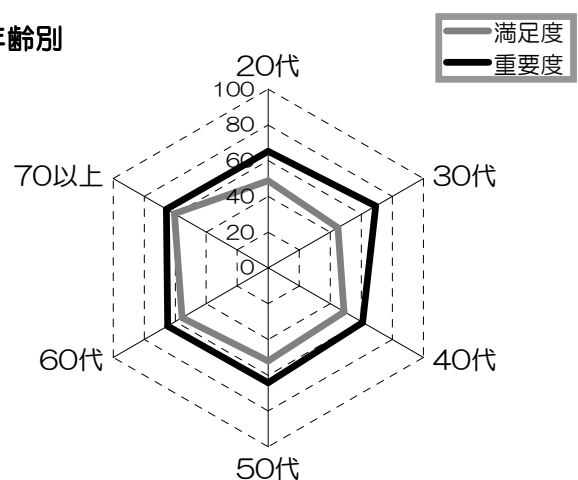
① 市民意識

満足度	☆ (49.7)	重要度	☆ (64.7)
-----	----------	-----	----------

比較(平均・部門・施策)



年齢別



② 名古屋新世紀計画 2010 第 2 次実施計画の数値目標の進捗状況

No.	指標	計画策定時の数値	16 年度実績値	目標値		進捗状況	所管局
				18 年度	22 年度		
1	住宅の改善に関する情報の不足で困っている世帯の割合	9% (10 年度)	8% (15 年度参考値)	8%	6%	*	住宅都市局
	● 目標設定の考え方: 住宅の改善を考えている世帯のうち、情報不足で困っている世帯の割合の減少をめざします。						

③ 参考指標による状況

No.	指標	15 年度実績値	16 年度実績値	所管局
1	マンション管理基礎セミナー受講者数	271 人	220 人	住宅都市局
	● 指標の考え方: セミナーの実施により、より多くの管理組合や居住者が、組合運営に関する適切な情報を得ることができるようになります。			
2	栄住まいの相談コーナーの相談件数	3,863 件	3,620 件	住宅都市局
	● 指標の考え方: 住まいの相談コーナーにおいて相談業務・情報提供を実施することにより、市民ニーズに応えます。			

3 まとめ

- 満足度は、全施策平均を下回り、部門平均も下回っています。また、年齢別では、70 歳代以上では全施策平均を上回り、60 歳代ではほぼ同等になっていますが、20～50 歳代では下回り、とりわけ 20～40 歳代で「満足」と「不満足」のボーダーラインである 50 ポイントを下回っています。
- 重要度は、全施策平均を下回り、部門平均も下回っています。また、年齢別では、どの年代においても全施策平均を下回っていますが、そのうち 40 歳代では低く、30 歳代では高くなっています。
- 第 2 次実施計画の数値目標では、16 年度実績が参考値(15 年度)のため、進捗状況はどちらとも言えませんが、参考指標をみると、マンション管理基礎セミナー受講者数、栄住まいの相談コーナーの相談件数は前年度に比べて減っています。

施策別シート

部 門 名	4-2 住 宅
施 策 名	4 安全で快適な住宅地の整備
関 係 局	住宅都市局

1 施策の目的

① 基本方針

地震や火災などに備えた安全で快適な住宅地の整備をすすめます。

② 達成目標

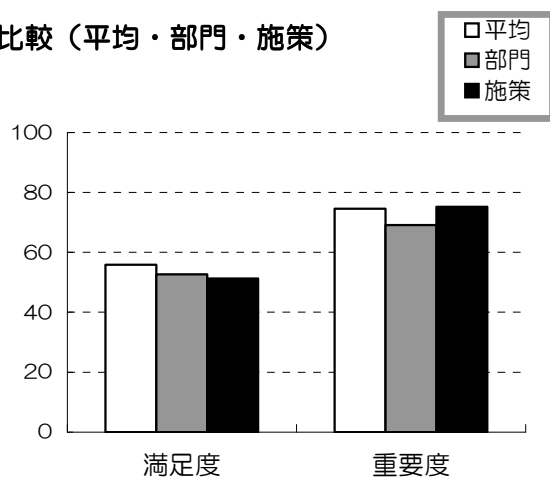
対象(誰を・何を)	意図(どういう状態にしたいか)
老朽住宅の密集地および市民	防災性を向上させるために老朽住宅の除却や道路、公園等の整備を総合的に行い、安全で快適に生活できるようにします。

2 施策の実績(現在の状況)

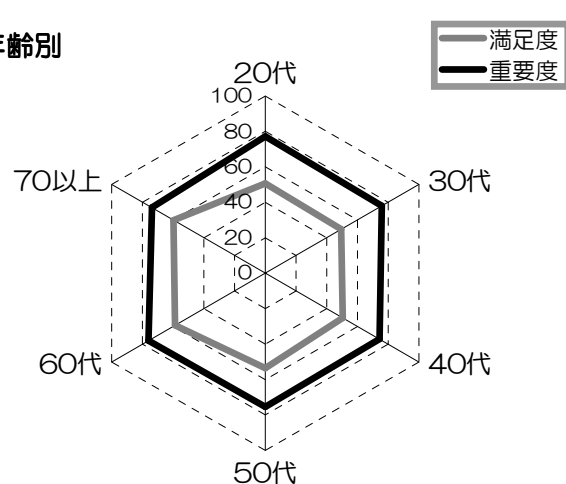
① 市民意識

満足度	☆ (51.3)	重要度	☆☆ (75.2)
-----	----------	-----	-----------

比較(平均・部門・施策)



年齢別



② 名古屋新世紀計画 2010 第 2 次実施計画の数値目標の進捗状況

No.	指標	計画策定時の数値	16 年度実績値	目標値		進捗状況	所管局
				18 年度	22 年度		
1	住宅市街地総合整備事業区域(5 地区)での道路・公園の整備面積	1.0ha (14 年度末)	1.15ha	1.3ha	2.6ha	☆☆☆	住宅都市局
	●目標設定の考え方:住宅市街地総合整備事業(旧密集住宅市街地整備促進事業)により整備された道路・公園の面積が 2.6ha(サッカーグラウンド約 3.6 個分)以上となることをめざします。						

3 まとめ

- 満足度は、全施策平均を下回り、部門平均も下回っています。また、年齢別では、60 歳代と 70 歳代以上では全施策平均を上回っていますが、20～50 歳代では下回り、とりわけ 30 歳代では「満足」と「不満足」のボーダーラインである 50 ポイントを下回っています。
- 重要度は、全施策平均とほぼ同等で、部門平均を上回っています。また、年齢別では、どの年代においても全施策を上回るか、ほぼ同等になっていますが、年代による差はあまりみられません。
- 第 2 次実施計画の数値目標では、住宅市街地総合整備事業区域での道路・公園の整備面積が着実に増えており、順調にすすんでいます。

施策別シート

部 門 名	4-3 交 通
施 策 名	1 都市の活力と魅力を生み出す総合交通体系の形成
関 係 局	総務局、住宅都市局、緑政土木局、交通局

1 施策の目的

① 基本方針

公共交通機関優先の原則に立ち、都心部への自動車の過度な流入を抑制するため、地下鉄や道路網の整備などをすすめ、各交通機関が適正な役割を分担し、都市の活力と魅力を生み出す総合交通体系の形成をはかります。

② 達成目標

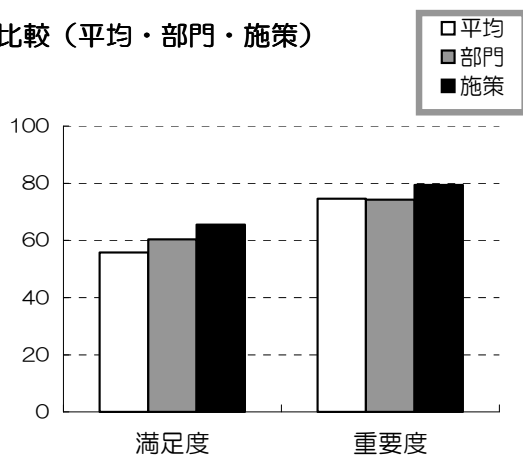
対象(誰を・何を)	意図(どういう状態にしたいか)
市民	自動車専用道路を含む道路ネットワークおよび鉄軌道など、都市交通基盤を整備することによって、交通の円滑化をはかり都市の活力と魅力を生み出す総合交通体系を形成します。 交通需要マネジメントを推進することにより、都市活動に不可欠な自動車交通と公共交通のそれぞれの特性を生かしながら、交通機関相互の連携を強化する総合交通施策を実施し、市民に快適な交通サービスを提供します。 市バスと地下鉄との連携強化による効率的なネットワークを活用し、利便性の確保をはかり、市民・利用者にとって、身近で使いやすいものにしていきます。

2 施策の実績(現在の状況)

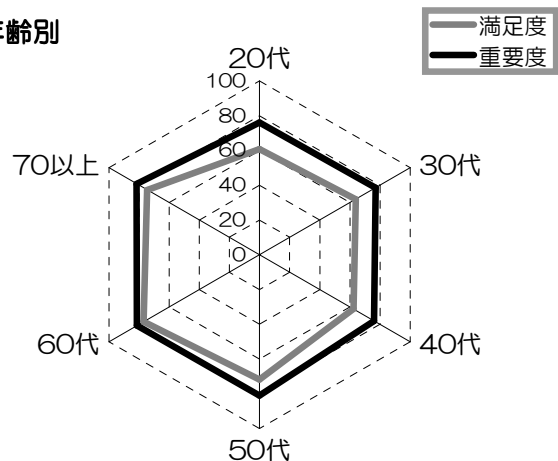
① 市民意識

満足度	☆☆☆ (65. 5)	重要度	☆☆ (79. 4)
-----	-------------	-----	------------

比較(平均・部門・施策)



年齢別



② 名古屋新世紀計画 2010 第 2 次実施計画の数値目標の進捗状況

No.	指標	計画策定時の数値	16 年度実績値	目標値		進捗状況	所管局
				18 年度	22 年度		
1	1 日の公共交通機関の利用者数	297 万人 (12 年度)	293 万人 (14 年度)	312 万人	327 万人	☆	総務局 はじめ 関係局
	●目標設定の考え方:公共交通の利用者数を、12 年度の 297 万人から 10%増加させます。						
2	地下鉄の営業キロ	79.0km (14 年度末)	89.1km	89.1km	89.1km	☆☆☆	交通局
	●目標設定の考え方:地下鉄 4 号線の全線開業をめざします。						
3	整備中路線における自動車の平均旅行速度	18km/h (14 年度)	20km/h	23km/h	25km/h	☆☆☆	緑政土木局
	●目標設定の考え方:交通網を充実させることにより、整備中路線における平日の平均旅行速度を向上させ、移動時間の短縮をはかります。						

3 まとめ

- 満足度は、全施策中 5 番目に高く、部門平均も上回っています。また、年齢別では、どの年代においても全施策平均を上回り、とりわけ 50 歳代以上で高くなっています。
- 重要度は、全施策平均を上回り、部門平均も上回っています。また、年齢別では、どの年代においても全施策平均を上回り、とりわけ 50 歳代以上で高くなっています。
- 第 2 次実施計画の数値目標では、1 日の公共交通機関の利用者数は伸び悩み、目標達成に向けて遅れが見受けられます。また、地下鉄の営業キロは 22 年度目標をすでに達成しています。整備中路線における自動車の平均旅行速度は上がっており、目標達成に向けて順調にすすんでいます。

施策別シート

部 門 名	4-3 交 通
施 策 名	2 人にやさしく安全で快適な交通体系の形成
関 係 局	市民経済局、緑政土木局、交通局

1 施策の目的

① 基本方針

歩行者空間をはじめ誰もが安全で快適に移動できる、人にやさしい交通体系の形成をはかります。

② 達成目標

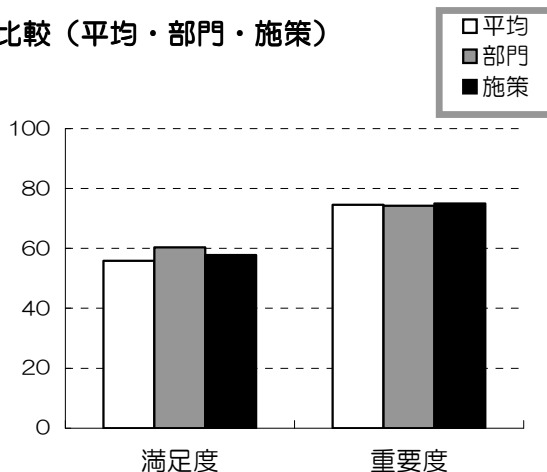
対象(誰を・何を)	意図(どういう状態にしたいか)
市民	幹線道路から住居地域へ流入する自動車の通過交通と速度を抑制し、歩行者や自転車が安全で快適に通行できる道路環境を形成し、併せて、その他各種の交通安全施設を整備するなど効果的な交通安全対策を実施するとともに、市民一人ひとりの交通安全意識の高揚をはかることにより市民運動を推進し、交通事故の抑止につなげていきます。

2 施策の実績(現在の状況)

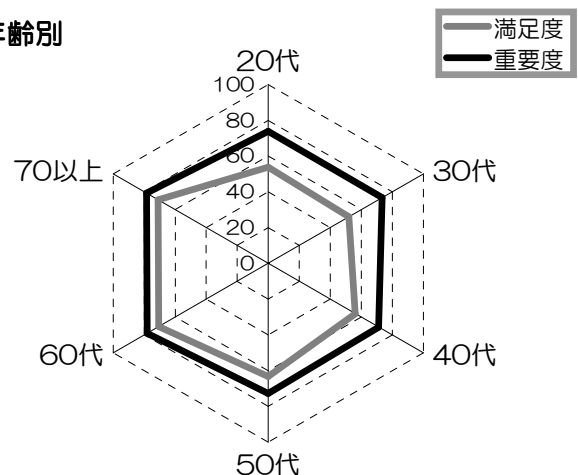
① 市民意識

満足度	☆☆ (57. 8)	重要度	☆☆ (75. 0)
-----	------------	-----	------------

比較(平均・部門・施策)



年齢別



② 名古屋新世紀計画 2010 第 2 次実施計画の数値目標の進捗状況

No.	指標	計画策定時の数値	16 年度実績値	目標値		進捗状況	所管局
				18 年度	22 年度		
1	年間交通事故死者数	69 人 (15 年)	73 人 (16 年)	70 人未満 (18 年)	60 人未満 (22 年)	☆	市民経済局
	●目標設定の考え方:統計を取りはじめた昭和 22 年以降における最少死者数 57 人(昭和 25 年)まで減らすことをめざします。						
2	コミュニティ道路の整備路線数	288 路線 (14 年度末)	306 路線	337 路線	381 路線	☆☆☆	緑政土木局
	●目標設定の考え方:安全で魅力ある歩行者空間の着実な形成をめざします。						

3 まとめ

- 満足度は、全施策平均を上回り、部門平均を下回っています。また、年齢別では、40 歳代以上では全施策平均を上回り、とりわけ 60 歳代と 70 歳代以上で高くなっていますが、20 歳代と 30 歳代では全施策平均を下回っています。
- 重要度は、全施策平均とほぼ同等で、部門平均ともほぼ同等になっています。また、年齢別では、60 歳代と 70 歳代以上では全施策平均を上回っていますが、20～50 歳代では下回っています。
- 第 2 次実施計画の数値目標では、年間交通事故死者数は目標水準と比べて多く、目標達成に向けて遅れが見られますが、コミュニティ道路の整備路線数は着実に増え、目標達成に向けて順調にすすんでいます。

施 策 別 シ ー ト

部 門 名	4-3 交 通
施 策 名	3 環境にやさしい交通体系の形成
関 係 局	総務局、住宅都市局、緑政土木局

1 施策の目的

① 基本方針

自転車利用の促進や沿線環境や走行環境に配慮した道路の整備などをすすめ、環境にやさしい交通体系の形成をはかります。

② 達成目標

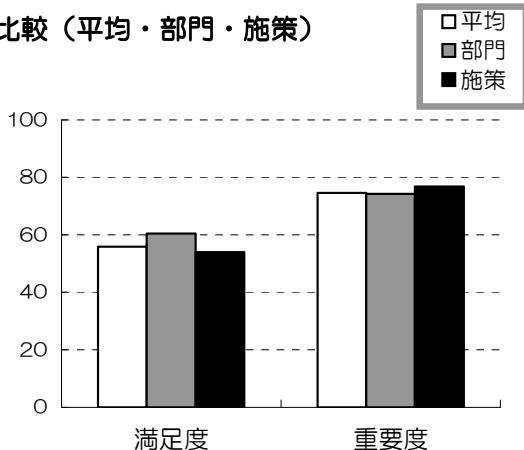
対象(誰を・何を)	意図(どういう状態にしたいか)
市民	名古屋高速道路へのETC設備の導入や、都心部における駐車場の有効活用促進することにより、渋滞の解消、路上駐車やうろつき交通の削減をはかり、快適な生活環境を維持します。
ITS技術	公共交通および自動車に導入され、快適・便利・安全そして環境にやさしい交通体系の実現をめざします。
道路環境	自転車の適正な利用促進をはかり、騒音低減効果のある舗装を施し、自然環境に調和した道路整備をすすめることにより、安全で快適な道路空間、沿道環境を創出します。

2 施策の実績(現在の状況)

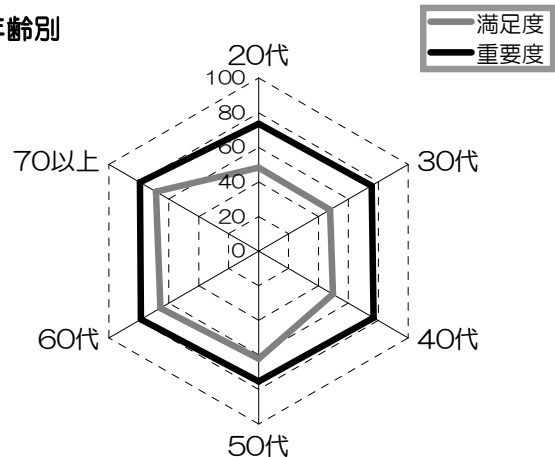
① 市民意識

満足度	☆☆ (53.9)	重要度	☆☆ (76.8)
-----	-----------	-----	-----------

比較(平均・部門・施策)



年齢別



② 名古屋新世紀計画 2010 第 2 次実施計画の数値目標の進捗状況

No.	指標	計画策定時の数値	16 年度実績値	目標値		進捗状況	所管局
				18 年度	22 年度		
1	市内で実用化した ITS 施策数	4 施策 (15年度)	6 施策	10 施策	13 施策	☆☆☆	総務局 はじめ 関係局
	● 目標設定の考え方: ITS 世界会議での実証実験候補となる ITS 施策の実運用化をはかります。						
2	駅周辺の自転車等 放置台数	35,000 台 (14年度)	32,781 台	33,000 台	24,500 台	☆☆☆	緑政土木 局
	● 目標設定の考え方: 適正な需要に対応した自転車駐車場の整備などにより、放置台数の減少をめざします。						

3 まとめ

- 満足度は、全施策平均を下回り、部門平均も下回っています。また、年齢別では、50 歳代以上では全施策平均を上回っていますが、20～40 歳代では「満足」と「不満足」のボーダーラインである 50 ポイントを下回っています。
- 重要度は、全施策平均を上回り、部門平均も上回っています。また、年齢別では、20 歳代のみ全施策平均を下回っています。
- 第 2 次実施計画の数値目標では、市内で実用化した ITS 施策数は着実に増え、また、駅周辺の自転車等放置台数は 18 年度目標をすでに達成しており、順調にすすんでいます。

施 策 別 シ ー ト

部 門 名	4-3 交 通
施 策 名	4 広域交通ネットワークの強化
関 係 局	総務局、住宅都市局、緑政土木局

1 施策の目的

① 基本方針

国際・広域交流の拠点都市をめざし、道路、鉄道など広域交通ネットワークの強化をはかります。

② 達成目標

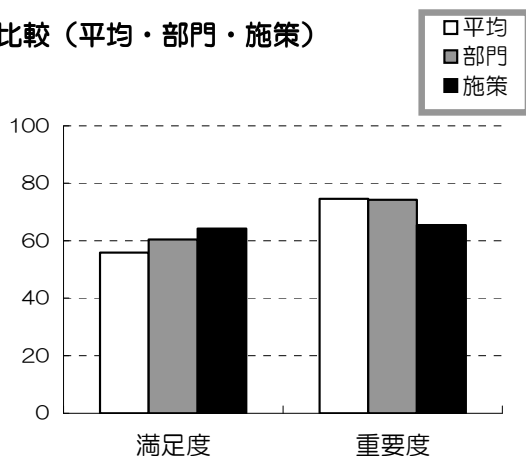
対象(誰を・何を)	意図(どういう状態にしたいか)
ひと・もの	名古屋市を中心とした広域的な圏域での移動を高速、快適かつ安全に行えるようにし、連携の強化をはかるとともに、より活発に交流できるようにします。
市民	本市を核とした基幹公共交通網を整備することにより、総合的な地域整備が推進されている名古屋東部方面との移動時間を短縮し、自動車交通により慢性的に渋滞している道路混雑を緩和します。
リニア中央新幹線	リニア中央新幹線の建設促進に向けた社会的気運を高めます。

2 施策の実績(現在の状況)

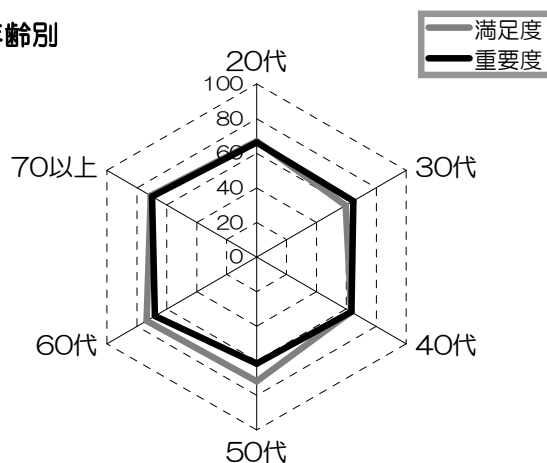
① 市民意識

満足度	☆☆☆ (64. 2)	重要度	☆ (65. 4)
-----	-------------	-----	-----------

比較(平均・部門・施策)



年齢別



② 名古屋新世紀計画 2010 第 2 次実施計画の数値目標の進捗状況

No.	指標	計画策定時の数値	16 年度実績値	目標値		進捗状況	所管局
				18 年度	22 年度		
1	環状を形成する自動車専用道の整備率	27.4% (15 年度末)	58%	58%	63%	☆☆☆	住宅都市局
	● 目標設定の考え方: 名古屋大都市圏において広域交通ネットワークの要となる、環状を形成する自動車専用道(第二東名・名神高速道路、東海環状自動車道、名古屋環状2号線)の整備率向上をめざします。						

3 まとめ

- 満足度は、全施策中 9 番目に高く、部門平均も上回っています。また、年齢別では、どの年代においても全施策平均を上回り、とりわけ 50 歳代以上で高くなっています。
- 重要度は、全施策平均を下回り、部門平均も下回っています。また、年齢別では、どの年代においても全施策平均を下回っていますが、そのうち 30 歳代では低く、60 歳代以上では高くなっています。
- 第 2 次実施計画の数値目標では、環状を形成する自動車専用道の整備率が向上し、目標達成に向けて順調にすすんでいます。

施策別シート

部 門 名	4-4-1 港 湾
施 策 名	1 国際競争力の高い港づくり
関 係 局	住宅都市局

1 施策の目的

① 基本方針

中部圏、名古屋大都市圏の産業・経済活動を支える中枢国際港湾として、質の高いサービスを提供する国際競争力の高い港づくりをすすめます。

② 達成目標

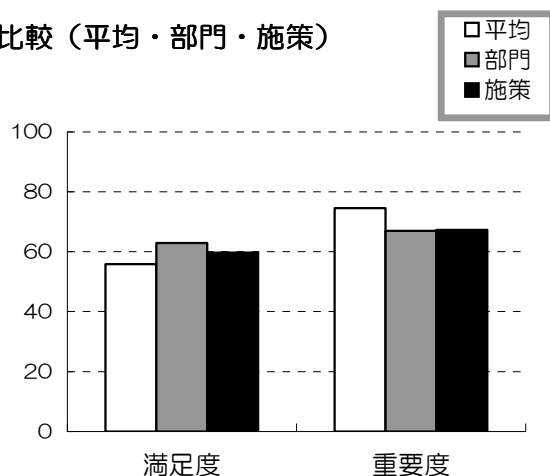
対象(誰を・何を)	意図(どういう状態にしたいか)
名古屋港	次世代高規格コンテナターミナルの整備、港湾物流システムの効率化、利用コストの低減、構造改革特区の活用などにより、国際物流の重要拠点(スーパー中枢港湾)として整備します。

2 施策の実績(現在の状況)

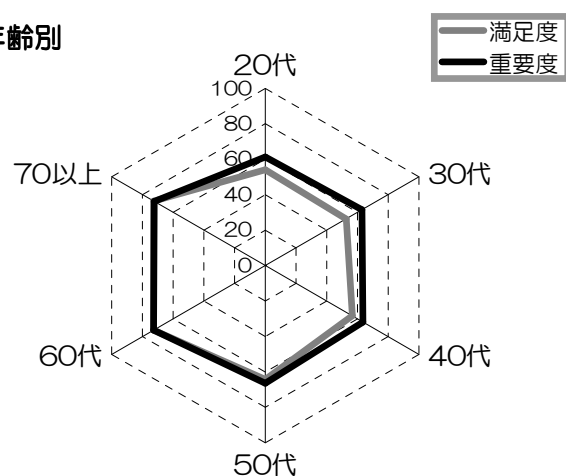
① 市民意識

満足度	☆☆☆ (59.7)	重要度	☆ (67.3)
-----	------------	-----	----------

比較(平均・部門・施策)



年齢別



② 名古屋新世紀計画 2010 第 2 次実施計画の数値目標の進捗状況

No.	指標	計画策定時の数値	16 年度実績値	目標値		進捗状況	所管局
				18 年度	22 年度		
1	外貿コンテナ貨物の年間取扱個数	179 万個 (14 年)	216 万個 (16 年)	—	208 万個 (22 年)	*	名古屋港 管理組合
● 目標設定の考え方: 港湾コンテナ貨物の取扱個数の増加をめざします。							

③ 参考指標による状況

No.	指標	15 年度実績値	16 年度実績値	所管局
1	輸出入総額(名古屋港)	10 兆 2,513 億円	11 兆 2,307 億円	名古屋港 管理組合
● 指標の考え方: 輸出入総額(名古屋港)の増加をめざします。				

3 まとめ

- 満足度は、全施策平均を上回っています。また、年齢別では、40 歳代以上では全施策平均を上回り、とりわけ 60 歳代と 70 歳代以上で高くなっていますが、20 歳代と 30 歳代では全施策平均を下回っています。
- 重要度は、全施策平均を下回っています。また、年齢別では、どの年代においても全施策平均を下回っていますが、そのうち 20～40 歳代では低く、60 歳代と 70 歳代以上では高くなっています。
- 第 2 次実施計画の数値目標では、18 年度目標値がなく、進捗状況はどちらとも言えませんが、参考指標をみると、名古屋港の輸出入総額は増加しています。

施策別シート

部 門 名	4-4-1 港 湾
施 策 名	2 活力・親しみ・環境と共生する港づくり
関 係 局	住宅都市局

1 施策の目的

① 基本方針

都市活動との連携をはかりながら、商業・業務機能を集積し、時代に即応した、活力ある港づくり、魅力的なウォーターフロントの形成など、人々でにぎわい、親しまれる港づくり、良好な港湾環境の保全と創造などにより、環境と共生する港づくりをすすめます。

② 達成目標

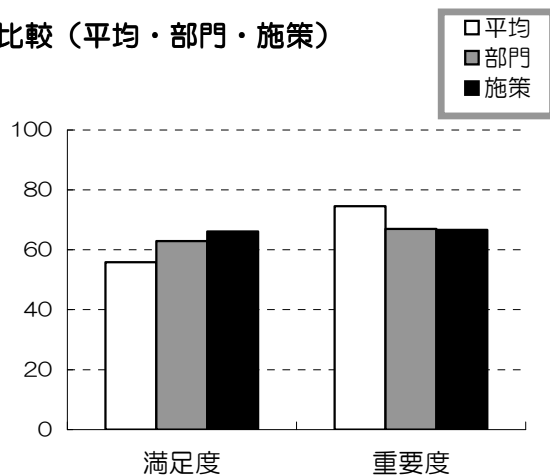
対象(誰を・何を)	意図(どういう状態にしたいか)
名古屋港	にぎわいづくり・交流拠点の形成や親水空間の整備などにより、人々でにぎわい、環境と共生する港づくりをめざします。

2 施策の実績(現在の状況)

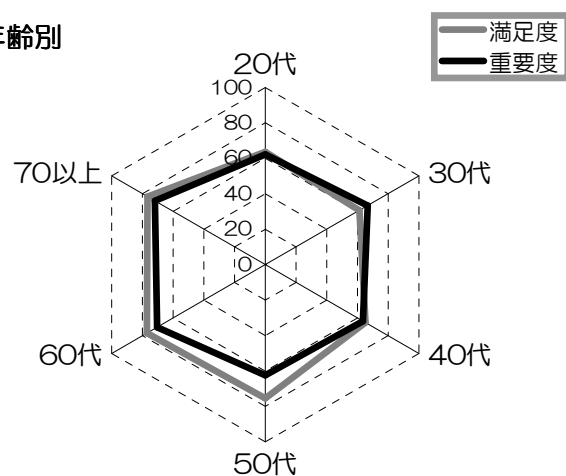
① 市民意識

満足度	☆☆☆ (66. 2)	重要度	☆ (66. 6)
-----	-------------	-----	-----------

比較 (平均・部門・施策)



年齢別



② 名古屋新世紀計画 2010 第 2 次実施計画の数値目標の進捗状況

No.	指標	計画策定時の数値	16 年度実績値	目標値		進捗状況	所管局
				18 年度	22 年度		
1	ガーデンふ頭および金城ふ頭の来港者数	410 万人 (14 年度)	426 万人	—	580 万人	*	住宅都市局、名古屋港管理組合
●目標設定の考え方:ガーデンふ頭および金城ふ頭の年間来港者数が 580 万人以上となることをめざします。							

③ 参考指標による状況

No.	指標	15 年度実績値	16 年度実績値	所管局
1	名古屋港水族館の入館者数	1,733 千人	1,760 千人	名古屋港管理組合
●指標の考え方:名古屋港水族館の入館者数の増加をめざします。				

3 まとめ

- 満足度は、全施策中 4 番目に高くなっています。また、年齢別では、どの年代においても全施策平均を上回り、とりわけ 50 歳代以上で高くなっています。
- 重要度は、全施策平均を下回っています。また、年齢別では、どの年代においても全施策平均を下回っていますが、そのうち 20 歳代と 50 歳代では低く、60 歳代と 70 歳代では高くなっています。
- 第 2 次実施計画の数値目標では、18 年度目標値がなく、進捗状況はどちらとも言えませんが、参考指標をみると、名古屋港水族館の入館者数は増加しています。

施策別シート

部 門 名	4-4-2 空 港
施 策 名	1 新交流時代にふさわしい中部国際空港の整備と国際・広域交流の促進
関 係 局	総務局

1 施策の目的

① 基本方針

2005年(平成17年)2月17日の開港をめざし、新交流時代にふさわしい中部国際空港の建設を促進します。

中部国際空港の母都市として、この地域の活力を高め、国際・広域交流を促進する機能の集積をはかります。

② 達成目標

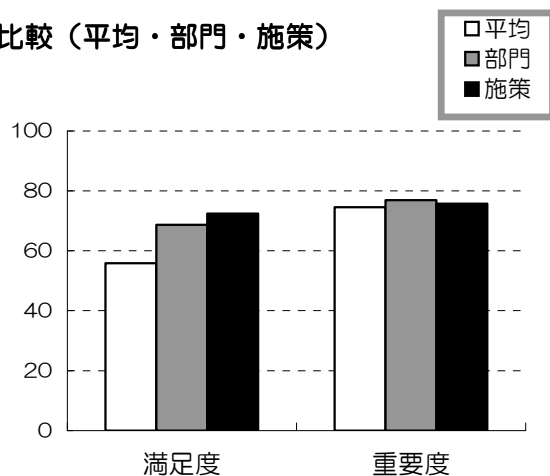
対象(誰を・何を)	意図(どういう状態にしたいか)
中部国際空港	中部国際空港の母都市として、国際線・国内線が一体となった利便性の高い24時間運用の中部国際空港の整備を支援します。また、関係機関とともに利用促進活動に協力し、旅客・貨物双方における国際・広域交流機能の集積をはかります。

2 施策の実績(現在の状況)

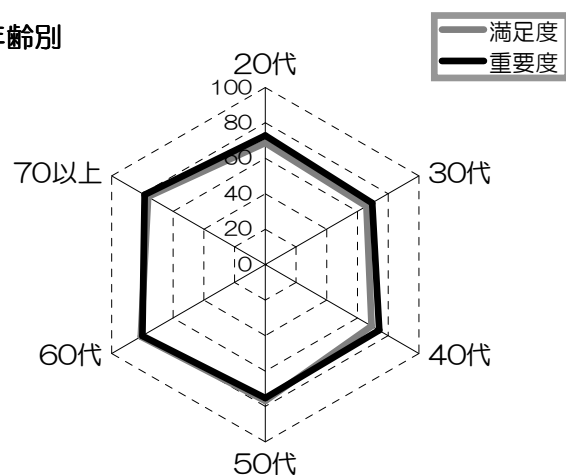
① 市民意識

満足度	☆☆☆ (72.4)	重要度	☆☆ (75.7)
-----	------------	-----	-----------

比較(平均・部門・施策)



年齢別



② 名古屋新世紀計画 2010 第 2 次実施計画の数値目標の進捗状況

No.	指標	計画策定時の数値	16 年度実績値	目標値		進捗状況	所管局
				18 年度	22 年度		
1	中部国際空港の年間航空旅客数	1,057 万人 (14 年度)	14.6 万人 (2/17~3/31)	1,210 万人 (17 年度)	1,430 万人	*	総務局
	● 目標設定の考え方:航空旅客数を増やします。(目標値は中部新国際空港推進調整会議「中部国際空港の計画案(最終まとめ)」によります。)						
2	中部国際空港の年間航空貨物量	18 万トン (14 年度)	3.1 万トン (2/17~3/31)	32 万トン (17 年度)	38 万トン	*	総務局
	● 目標設定の考え方:航空貨物量を増やします。(目標値は中部新国際空港推進調整会議「中部国際空港の計画案(最終まとめ)」によります。)						

※計画策定時の数値(14 年度)は名古屋空港の実績値

※16 年度実績値は、名古屋空港および中部国際空港の国際航空貨物量の合算値(速報値)

3 まとめ

- 満足度は、全施策中 2 番目に高くなっています。また、年齢別では、どの年代においても全施策平均を上回り、とりわけ 50 歳代以上で高くなっています。
- 重要度は、全施策平均を上回っています。また、年齢別では、40 歳代以上では全施策平均を上回るか、ほぼ同等で、とりわけ 60 歳代で高くなっていますが、20 歳代と 30 歳代では全施策平均を下回っています。
- 第 2 次実施計画の数値目標では、16 年度は短期間の実績値しかとれないため、進捗状況についてはどちらとも言えません。

中部国際空港は、平成 17 年 2 月 17 日に開港しました。

【参 考】 (平成 17 年 4~12 月)

- ・ 航空旅客数 952 万人
- ・ 国際航空貨物量 17 万トン

施策別シート

部 門 名	4-4-2 空 港
施 策 名	2 利便性が高いアクセスの整備
関 係 局	総務局

1 施策の目的

① 基本方針

利用しやすい中部国際空港とするため、利便性が高いアクセスの整備をすすめます。

② 達成目標

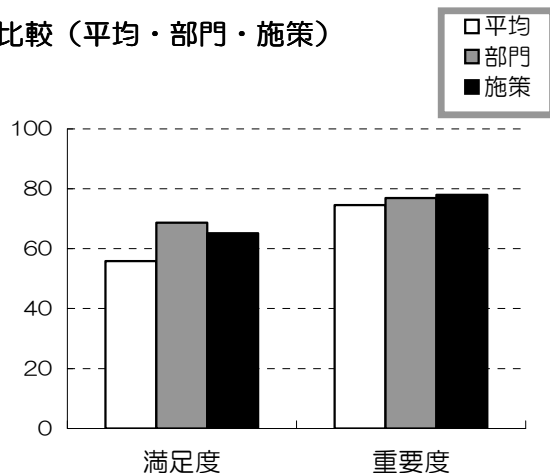
対象(誰を・何を)	意図(どういう状態にしたいか)
中部国際空港の利用者	利便性の高いアクセスを提供します。

2 施策の実績(現在の状況)

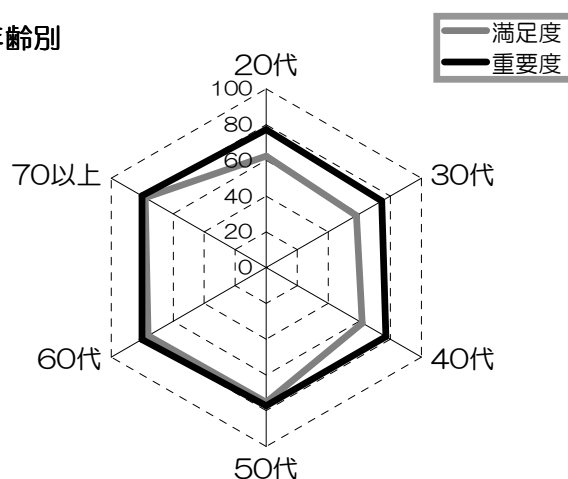
① 市民意識

満足度	☆☆☆ (65. 1)	重要度	☆☆ (78. 0)
-----	-------------	-----	------------

比較 (平均・部門・施策)



年齢別



② 名古屋新世紀計画 2010 第 2 次実施計画の数値目標の進捗状況

No.	指標	計画策定時の数値	16 年度実績値	目標値		進捗状況	所管局
				18 年度	22 年度		
1	中部国際空港への所要時間(鉄道)	—	28 分	28 分 (16 年度)	28 分	☆☆☆	総務局
● 目標設定の考え方:新名古屋駅ー空港駅間の所要時間(特急)							

3 まとめ

- 満足度は、全施策中 8 番目に高くなっています。また、年齢別では、どの年代においても全施策平均を上回り、とりわけ 50 歳代以上で高くなっています。
- 重要度は、全施策平均を上回っています。また、年齢別では、どの年代においても全施策平均を上回るか、ほぼ同等で、とりわけ 60 歳代と 70 歳代以上で高くなっています。
- 第 2 次実施計画の数値目標は、すでに目標を達成しています。

施 策 別 シ ー ト

部 門 名	4-5 情報・通信
施 策 名	1 市民サービスの向上と行政の効率化
関 係 局	総務局、財政局、市民経済局、緑政土木局、上下水道局

1 施策の目的

① 基本方針

各種行政サービスや行政の内部事務を電子化し、情報通信ネットワークを利用することで、市民が身近な場所で利用しやすい時間に行政サービスを受けることのできる電子市役所の実現をめざします。また、急速にすすむ情報通信技術の動向を見極めつつ、高度情報化の先導的・実験的な取り組みをすすめます。 行政情報を電子化し、各部署が保有するデータをデータベース化して共同利用することにより行政事務の効率化をすすめ、市民が求める情報公開に対し、迅速に応えることができる開かれた市政をめざします。 高齢者、障害者などにも十分配慮し、格差のない情報化をはかります。

② 達成目標

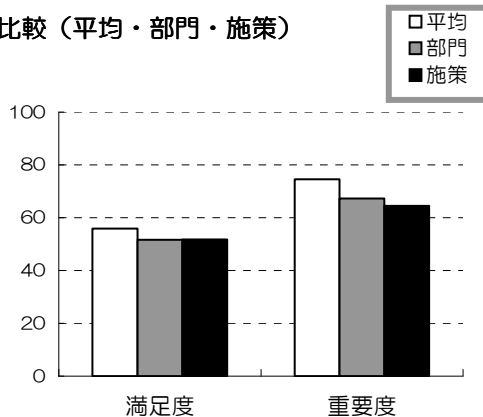
対象(誰を・何を)	意図(どういう状態にしたいか)
市民	各種行政サービスや行政の内部事務を電子化し、情報通信ネットワークを整備・利用することで、市民が身近な場所で利用しやすい時間に行政サービスを受けることのできるようにするなど市民サービスの向上をはかります。

2 施策の実績(現在の状況)

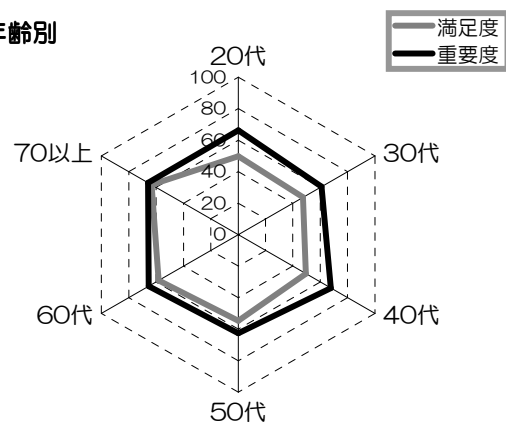
① 市民意識

満足度	☆ (51.8)	重要度	☆ (64.5)
-----	----------	-----	----------

比較(平均・部門・施策)



年齢別



② 名古屋新世紀計画 2010 第 2 次実施計画の数値目標の進捗状況

No.	指標	計画策定時の数値	16 年度実績値	目標値		進捗状況	所管局
				18 年度	22 年度		
1	電子的に受付可能な申請・届出件数の割合	—	—	50%	80%	*	総務局
	●目標設定の考え方:申請・届出の業務のうち、市民ニーズの高いものなどから順次対象業務を増やします。						
2	市税申告における電子申告の利用率	—	—	33%	60%	*	財政局
	●目標設定の考え方:インターネットの普及にともない電子商取引や国税電子申告などの利用者の増加が見込まれることから、市税電子申告についても利用者の拡大をはかります。						

③ 参考指標による状況

No.	指標	15 年度実績値	16 年度実績値	所管局
1	行政情報サービスネットワーク管理システム利用件数	約 135 万件	約 160 万件	総務局
	●指標の考え方:システム利用件数の増加をめざします。			

※行政情報サービスネットワーク管理システム:スポーツ施設の空き状況照会、抽選申込、空き予約などをインターネットや電話自動応答によりサービス提供するもの。

3 まとめ

- 満足度は、全施策平均を下回り、部門平均とほぼ同等になっています。また、年齢別では、60 歳代と 70 歳代以上では全施策平均を上回っていますが、20～50 歳代では下回り、とりわけ 20～40 歳代で「満足」と「不満足」のボーダーラインである 50 ポイントを下回っています。
- 重要度は、全施策平均を下回り、部門平均も下回っています。また、年齢別では、どの年代においても全施策平均を下回り、とりわけ 30 歳代と 50 歳代で低くなっています。
- 第 2 次実施計画の数値目標では、16 年度末で実績値がなく、進捗状況はどちらとも言えませんが、参考指標をみると、行政情報サービスネットワーク管理システムの利用件数は増加しています。

施策別シート

部 門 名	4-5 情報・通信
施 策 名	2 豊かで活力ある地域の情報化
関 係 局	総務局

1 施策の目的

① 基本方針

市内のどこでも高度な情報通信サービスが利用できるように、情報通信基盤については、民間と行政の適切な役割分担のもとに整備をすすめます。

② 達成目標

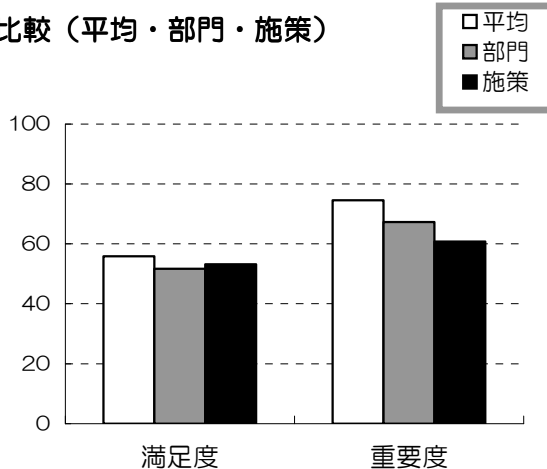
対象(誰を・何を)	意図(どういう状態にしたいか)
市民	地上デジタル放送を市政情報や防災情報などの提供に活用していき、また、ケーブルテレビが地上デジタル放送などに対応できる施設整備を促進することで、多様化する市民ニーズに対応したメディアの活用を図り、より豊かな地域の情報化をめざします。

2 施策の実績(現在の状況)

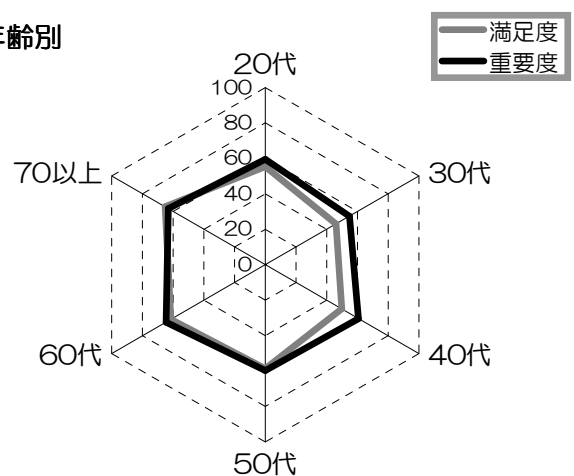
① 市民意識

満足度	☆☆ (53. 2)	重要度	☆ (60. 8)
-----	------------	-----	-----------

比較 (平均・部門・施策)



年齢別



② 名古屋新世紀計画 2010 第 2 次実施計画の数値目標の進捗状況

No.	指標	計画策定時の数値	16 年度実績値	目標値		進捗状況	所管局
				18 年度	22 年度		
1	ケーブルテレビ加入率	39% (14 年度末)	44.8%	44%	50%	☆☆☆	総務局
	● 目標設定の考え方: 利用者にメリットがあるサービスを提供できるようにすることで、ケーブルテレビ加入率を 50% まで向上させます。						

3 まとめ

- 満足度は、全施策平均を下回り、部門平均を上回っています。また、年齢別では、50 歳代以上では全施策平均を上回り、20 歳代ではほぼ同等になっていますが、30 歳代と 40 歳代では「満足」と「不満足」のボーダーラインである 50 ポイントを下回っています。
- 重要度は、全施策平均を下回り、部門平均も下回っています。また、年齢別では、どの年代においても全施策平均を下回り、とりわけ 20 歳代、30 歳代および 50 歳代で低くなっています。
- 第 2 次実施計画の数値目標では、ケーブルテレビへの加入率は伸び、目標の達成に向けて順調にすすんでいます。

施 策 別 シ ー ト

部 門 名	4-5 情報・通信
施 策 名	3 安全な情報環境づくり
関 係 局	総務局

1 施策の目的

① 基本方針

市民が安心して生活できる、健全で不安のない高度情報通信社会の実現をめざし、個人情報の保護や情報通信システムの安全性の確保などにつとめます。

② 達成目標

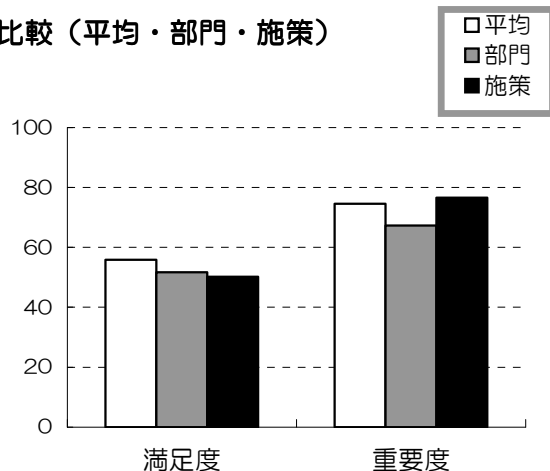
対象(誰を・何を)	意図(どういう状態にしたいか)
本市職員	安全対策についての職員向け研修や、厳格な通信制御によるコンピュータウィルスの駆除、住民に関するオンラインシステムの第三者機関による検証など、電子情報の安全対策に関する各種規程を適切に運用することで、市民にとって不安のない市政の運営を行います。

2 施策の実績(現在の状況)

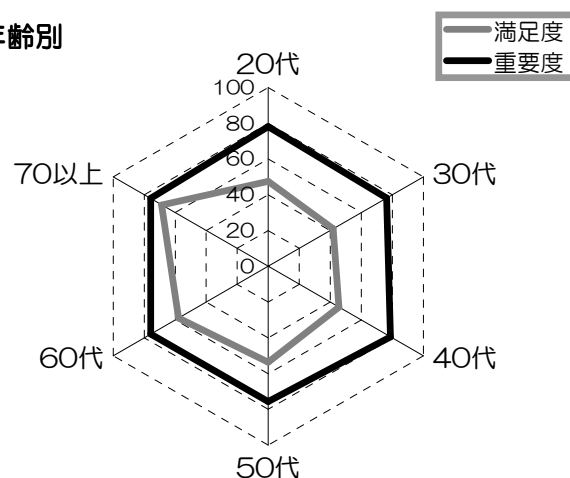
① 市民意識

満足度	☆ (50. 1)	重要度	☆☆ (76. 6)
-----	-----------	-----	------------

比較(平均・部門・施策)



年齢別



② 名古屋新世紀計画 2010 第 2 次実施計画の数値目標の進捗状況

No.	指標	計画策定時の数値	16 年度実績値	目標値		進捗状況	所管局
				18 年度	22 年度		
1	システム監査の実施割合	—	85.7%	100%	100%	☆☆☆	総務局
	● 目標設定の考え方:住民に関するオンラインシステムについて、システム監査の着実な実施をはかります。						

3 まとめ

- 満足度は、全施策平均を下回り、部門平均も下回っています。また、年齢別では、60 歳代と 70 歳代以上では全施策平均を上回っていますが、20～50 歳代では全施策平均を下回り、とりわけ 20～40 歳代で「満足」と「不満足」のボーダーラインである 50 ポイントを下回っています。
- 重要度は、全施策平均を上回り、部門平均も上回っています。また、年齢別では、どの年代においても全施策平均を上回り、とりわけ 40 歳代で高くなっています。
- 第 2 次実施計画の数値目標では、システム監査が着実に実施され、目標達成に向けて順調にすすんでいます。

施策別シート

部 門 名	4-6 水
施 策 名	1 安定した給水サービスの提供
関 係 局	環境局、上下水道局

1 施策の目的

① 基本方針

長期的な展望のもと、水源の多系統化につとめるとともに施設面の強化をはかり、渇水時や災害時においても安定した給水を行います。

安全でおいしい水がいつでも得られるよう、質・量ともに安定した給水サービスの確保につとめます。

② 達成目標

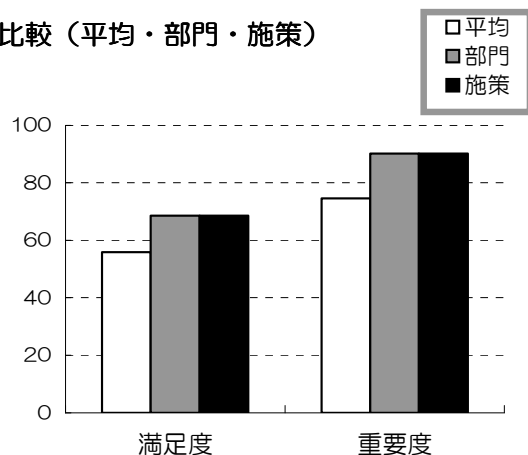
対象(誰を・何を)	意図(どういう状態にしたいか)
水道水	お客さまに安心して使っていただくため、安全でおいしい水道水を供給します。
工業用水	地盤沈下を防止するとともに、産業基盤を育成するため、工業用水を供給します。

2 施策の実績(現在の状況)

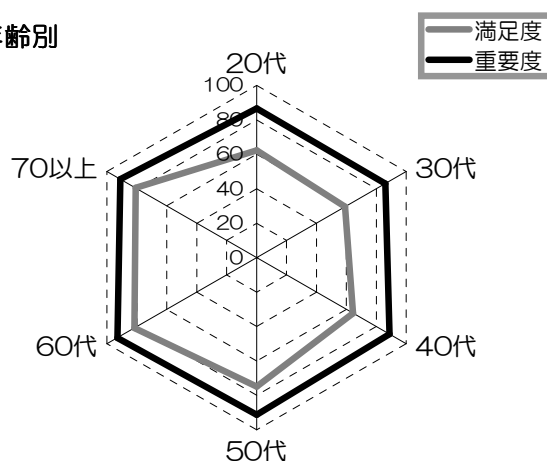
① 市民意識

満足度	☆☆☆ (68.5)	重要度	☆☆☆ (90.1)
-----	------------	-----	------------

比較(平均・部門・施策)



年齢別



② 名古屋新世紀計画 2010 第 2 次実施計画の数値目標の進捗状況

No.	指標	計画策定時の数値	16 年度実績値	目標値		進捗状況	所管局
				18 年度	22 年度		
1	より安全でおいしい水が供給されている割合	82.8% (14 年度)	84.7%	86%	90%	☆☆☆	上下水道局
	● 目標設定の考え方: 配水管内における残留塩素濃度が、より安全でおいしい水といえる 0.2mg/ℓ以上 0.5mg/ℓ以下となる割合を高めます。						

3 まとめ

- 満足度は、全施策中 3 番目に高くなっています。また、年齢別では、どの年代においても全施策平均を上回り、とりわけ 50 歳代以上で高くなっています。
- 重要度は、全施策中最も高くなっています。また、年齢別では、どの年代においても全施策平均を上回り、とりわけ 50 歳代以上で高くなっています。
- 第 2 次実施計画の数値目標では、より安全でおいしい水が供給されている割合が上がり、目標達成に向けて順調にすすんでいます。

施策別シート

部 門 名	5-1 産業振興
施 策 名	1 多様なリーディング産業群の育成
関 係 局	市民経済局

1 施策の目的

① 基本方針

研究成果や技術ノウハウ、人材など、産業に関する豊富な地域資源を生かした、産業振興策の総合的な展開をはかります。

名古屋の産業において大きな比重を占める中小企業の活力を高め、経済社会のグローバル化などさまざまな社会潮流に対応した多様な産業群として育成するとともに、新たな起業を支援・促進し、経済活力の向上をはかります。

② 達成目標

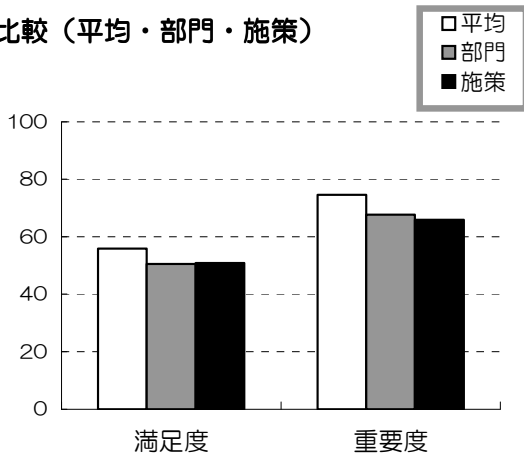
対象(誰を・何を)	意図(どういう状態にしたいか)
中小企業をはじめとする産業界、大学、公的研究機関、NPOなど	新産業創出の重点 6 分野(「モノづくり技術」「環境・エネルギー」「医療・福祉・健康」「情報通信」「デザイン・ファッション」「ビジネス支援サービス」)について、都心部など重点地域への集積を高めるため、産・学・行政・NPOの連携を促進し、人的ネットワークの構築、研究開発の促進により新産業の創出・育成を推進し、さらに、企業誘致などの積極的な産業立地を戦略的に推進することにより、経済の活性化につなげます。

2 施策の実績(現在の状況)

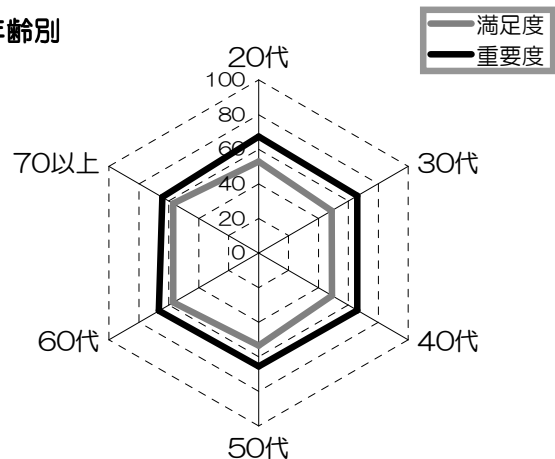
① 市民意識

満足度	☆ (50. 8)	重要度	☆ (65. 9)
-----	-----------	-----	-----------

比較(平均・部門・施策)



年齢別



② 名古屋新世紀計画 2010 第 2 次実施計画の数値目標の進捗状況

No.	指標	計画策定時の数値	16 年度実績値	目標値		進捗状況	所管局
				18 年度	22 年度		
1	新産業分野に関する事業所数	3,946 _{事業所} (13 年度)	3,633 _{事業所} (参考値)	4,400 _{事業所}	4,800 _{事業所}	*	市民経済局
	●目標設定の考え方:雇用機会の確保および産業の活性化をはかるため、新産業分野の事業所数の増加をめざします。						

③ 参考指標による状況

No.	指標	15 年度実績値	16 年度実績値	所管局
1	市内の民営事業所数※	13.9 万 _{事業所} (13 年度)	12.9 万 _{事業所}	市民経済局
	●指標の考え方:雇用機会の確保および産業の活性化をはかるため、事業所数および従業者数の増加をめざします。			

※総務省「事業所・企業統計調査」のうち、国・地方公共団体の事業所を除いた「民営事業所」に関する数値を集計したもの。

3 まとめ

- 満足度は、全施策平均を下回り、部門平均とほぼ同等になっています。また、年齢別では、60 歳代と 70 歳代以上では全施策平均を上回っていますが、20～50 歳代では下回り、とりわけ 30 歳代と 40 歳代で「満足」と「不満足」のボーダーラインである 50 ポイントを下回っています。
- 重要度は、全施策平均を下回り、部門平均も下回っています。年齢別では、どの年代においても全施策平均を下回っていますが、年代による差はあまりみられません。
- 第 2 次実施計画の数値目標では、16 年度実績が参考値のため、進捗状況はどちらとも言えませんが、参考指標をみると、市内の民営事業所数と従業者数は減少しています。

施策別シート

部 門 名	5-1 産業振興
施 策 名	2 独創的な中小企業の育成
関 係 局	市民経済局

1 施策の目的

② 基本方針

名古屋の産業において大きな比重を占める中小企業の活力を高め、経済社会のグローバル化などさまざまな社会潮流に対応した多様な産業群として育成するとともに、新たな起業を支援・促進し、経済活力の向上をはかります。

③ 達成目標

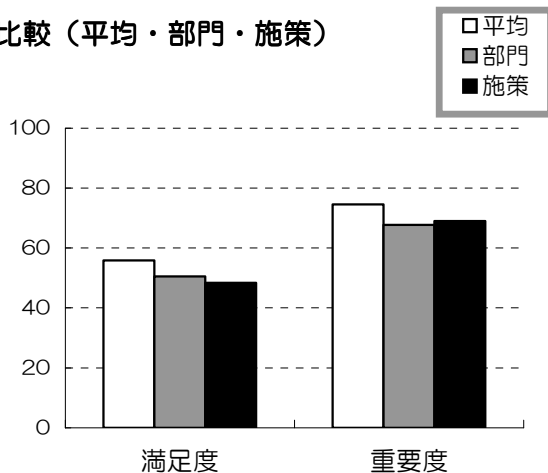
対象(誰を・何を)	意図(どういう状態にしたいか)
中小企業	意欲のある中小企業が景気や経済情勢の変化に対応し、今後も持続的な成長を達成できるよう、経営革新の支援や技術力の強化、第二創業や新たな事業分野の開拓支援などにより、独創的な中小企業の育成をはかります。

2 施策の実績(現在の状況)

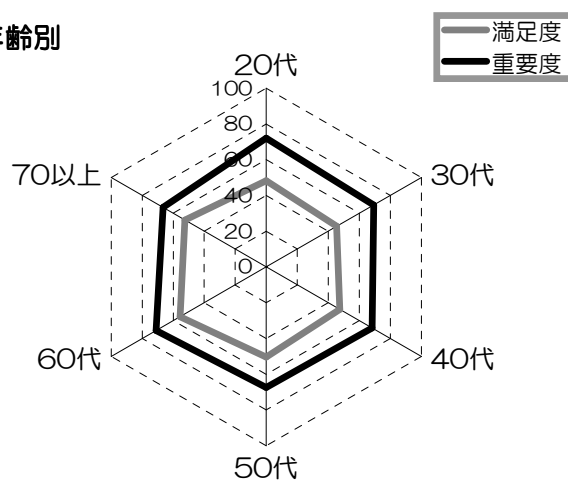
① 市民意識

満足度	☆ (48.3)	重要度	☆☆ (69.0)
-----	----------	-----	-----------

比較(平均・部門・施策)



年齢別



② 名古屋新世紀計画 2010 第 2 次実施計画の数値目標の進捗状況

No.	指標	計画策定時の数値	16 年度実績値	目標値		進捗状況	所管局
				18 年度	22 年度		
1	新事業支援センターを通じて新規開業した中小企業数	29 社 (14 年度末)	58 社	129 社	229 社	☆☆	市民経済局
● 目標設定の考え方: 年 25 件の新規開業をめざします。							

3 まとめ

- 満足度は、全施策平均を下回り、部門平均も下回っています。また、年齢別では、全施策平均とほぼ同等の 60 歳代を除き、どの年代においても全施策平均を下回り、とりわけ 20～40 歳代で「満足」と「不満足」のボーダーラインである 50 ポイントを下回っています。
- 重要度は、全施策平均を下回り、部門平均を上回っています。また、年齢別では、どの年代においても全施策平均を下回っていますが、そのうち 70 歳代以上では低く、20 歳代では高くなっています。
- 第 2 次実施計画の数値目標では、年 25 件の新規開業をめざしていますが、目標達成に向けてやや遅れが見受けられます。

施策別シート

部 門 名	5-1 産業振興
施 策 名	3 研究開発の促進
関 係 局	市民経済局

1 施策の目的

① 基本方針

産・学・行政の連携を強化しつつ地域の研究開発機能を高め、新産業の創造や既存産業における技術の高度化をはかります。

② 達成目標

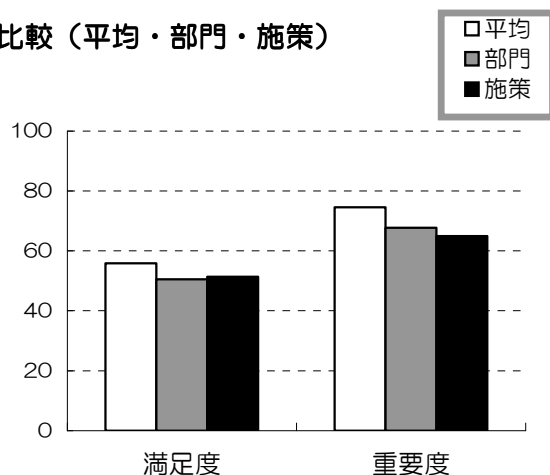
対象(誰を・何を)	意図(どういう状態にしたいか)
中小企業をはじめとする産業界、大学、公的研究機関、市民	産・学・行政の連携推進、研究開発型企業の集積促進、一般市民の先端科学技術開発に対し関心を持つことができる環境を整えることや理解増進等をはかることにより、市民の理解のもと、新技術の研究開発やその成果の産業化に向けた活動が活発かつ継続的に行われ、次世代の当地域を担う新産業の創造や既存産業の高度化をはかります。

2 施策の実績(現在の状況)

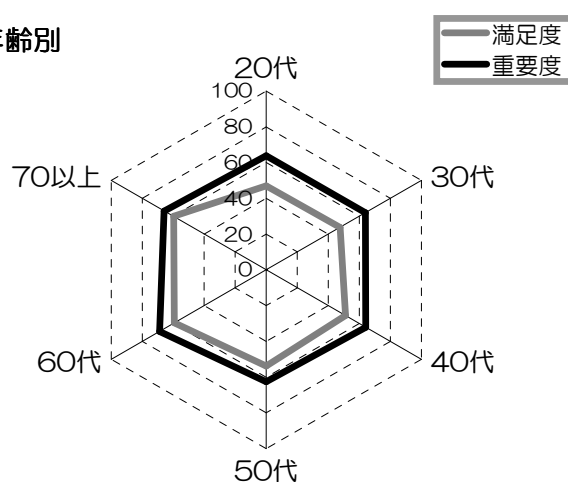
① 市民意識

満足度	☆ (51.4)	重要度	☆ (64.9)
-----	----------	-----	----------

比較(平均・部門・施策)



年齢別



② 名古屋新世紀計画 2010 第 2 次実施計画の数値目標の進捗状況

No.	指標	計画策定時の数値	16 年度実績値	目標値		進捗状況	所管局
				18 年度	22 年度		
1	なごやサイエンスパークテクノヒル名古屋における企業誘致の進捗率	4.2% (14 年度)	11.4%	36.4%	100%	☆☆	市民経済局
	●目標設定の考え方:事業用地 9.8haに民間企業の研究開発施設が立地するよう、誘致をすすめます。						

3 まとめ

- 満足度は、全施策平均を下回り、部門平均とほぼ同等になっています。また、年齢別では、60 歳代と 70 歳代以上では全施策平均を上回っていますが、20～50 歳代では下回り、とりわけ 20 歳代と 30 歳代で「満足」と「不満足」のボーダーラインである 50 ポイントを下回っています。
- 重要度は、全施策平均を下回り、部門平均も下回っています。また、年齢別では、どの年代においても全施策平均を下回っていますが、そのうち 50 歳代では低く、60 歳代では高くなっています。
- 第 2 次実施計画の数値目標では、なごやサイエンスパークのテクノヒル名古屋へ民間企業の研究開発施設の誘致をすすめています、目標達成に向けてやや遅れが見受けられます。

施 策 別 シ ー ト

部 門 名	5-1 産業振興
施 策 名	4 活気と魅力にあふれた地域商業地づくり
関 係 局	市民経済局

1 施策の目的

① 基本方針

個性的で魅力にあふれた商業空間づくり、歴史や文化などの地域特性を生かした地域密着型の商店街づくりなどを促進し、地域商業の活性化をはかります。

② 達成目標

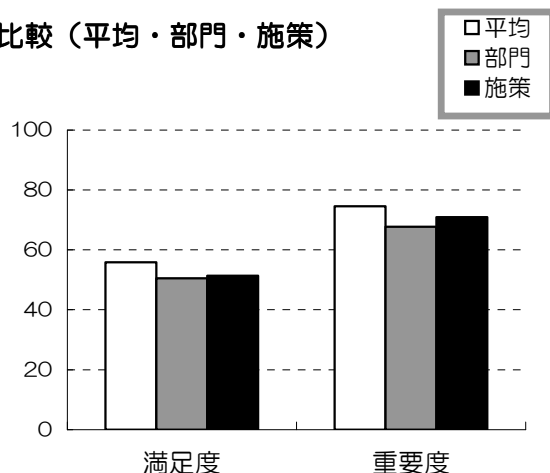
対象(誰を・何を)	意図(どういう状態にしたいか)
地域事業者で組織される団体 (商店街振興組合・小売市場など)	商店街および小売市場等が行う環境整備やイベント事業などを支援することにより、地域住民との交流や消費者利便の向上など、地域コミュニティの核としての商業地づくりの充実や、中心市街地における魅力的な都市空間の形成をはかることによる回遊性のある魅力的なまちづくりなど、地域の実情に合った地域商業の活性化をはかります。

2 施策の実績(現在の状況)

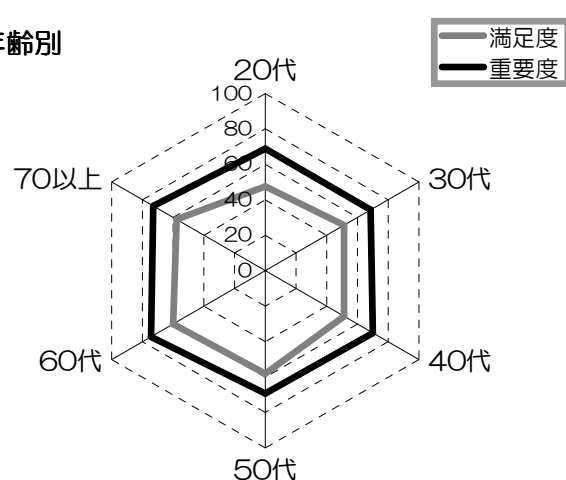
① 市民意識

満足度	☆ (51.4)	重要度	☆☆ (70.9)
-----	----------	-----	-----------

比較 (平均・部門・施策)



年齢別



② 名古屋新世紀計画 2010 第 2 次実施計画の数値目標の進捗状況

No.	指標	計画策定時の数値	16 年度実績値	目標値		進捗状況	所管局
				18 年度	22 年度		
1	商店街振興組合の助成制度の利用割合	73.7% (15 年度)	77.5%	75%	80%	☆☆☆	市民経済局
	● 目標設定の考え方: 地域コミュニティの核としての商店街づくりを促進するため、空き店舗対策などの各種助成制度の利用割合を高めます。						

3 まとめ

- 満足度は、全施策平均を下回り、部門平均とほぼ同等になっています。また、年齢別では、50 歳代以上では全施策平均を上回っていますが、20～40 歳代では下回り、とりわけ 20 歳代で「満足」と「不満足」のボーダーラインである 50 ポイントを下回っています。
- 重要度は、全施策平均を下回り、部門平均を上回っています。また、年齢別では、60 歳代では全施策平均とほぼ同等ですが、他の年代では下回っています。
- 第 2 次実施計画の数値目標は、18 年度目標をすでに達成しています。

施策別シート

部 門 名	5-2 観光・コンベンション
施 策 名	1 特色や魅力を生かした集客力の向上
関 係 局	市民経済局

1 施策の目的

① 基本方針

名古屋の特色や魅力を生かし、広く世界に向けた情報発信につとめ、集客力の向上をはかります。

② 達成目標

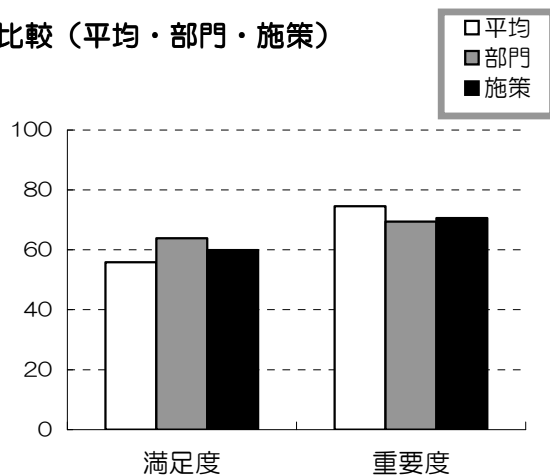
対象(誰を・何を)	意図(どういう状態にしたいか)
観光客、旅行者、修学旅行関係者、映像制作関係者等	日本各地や海外からより一層多くの人々が訪れるよう、名古屋の特色や魅力を生かしつつ、観光施設など名古屋への集客力の向上をはかり、人々の活発な交流を創出します。

2 施策の実績(現在の状況)

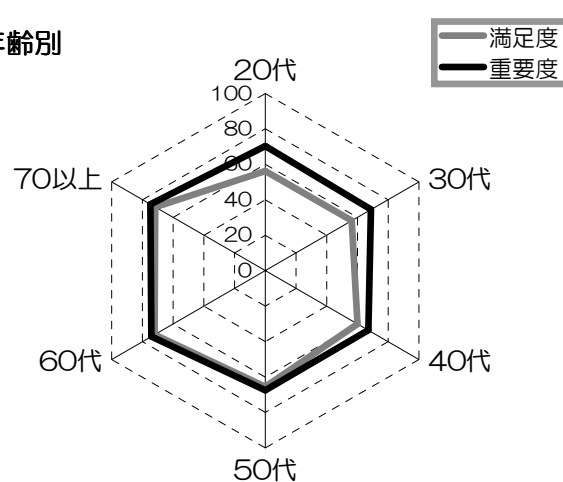
① 市民意識

満足度	☆☆☆ (59.9)	重要度	☆☆ (70.6)
-----	------------	-----	-----------

比較(平均・部門・施策)



年齢別



② 名古屋新世紀計画 2010 第 2 次実施計画の数値目標の進捗状況

No.	指標	計画策定時の数値	16 年度実績値	目標値		進捗状況	所管局
				18 年度	22 年度		
1	観光施設の年間入込客数	2,092 万人 (14 年度)	1,944 万人	2,150 万人	2,200 万人	☆	市民経済局
● 目標設定の考え方: 市内主要観光施設の入込客数の増をめざします。							

3 まとめ

- 満足度は、全施策平均を上回り、部門平均を下回っています。また、年齢別では、どの年代においても全施策平均を上回り、とりわけ 60 歳代と 70 歳代以上で高くなっています。
- 重要度は、全施策平均を下回り、部門平均を上回っています。また、年齢別では、60 歳代と 70 歳代以上を除き全施策平均を下回り、とりわけ 40 歳代と 50 歳代で低くなっています。
- 第 2 次実施計画の数値目標では、市内主要施設の入込客数が減少しており、目標達成に向けて遅れが見受けられます。

施策別シート

部 門 名	5-2 観光・コンベンション
施 策 名	2 観光・コンベンション都市としての交流の促進
関 係 局	総務局、市民経済局

1 施策の目的

① 基本方針

観光・コンベンション都市として活気に満ちた多様な交流を促進するとともに、それを支える市民のホスピタリティ(もてなす心)の醸成をはかります。

② 達成目標

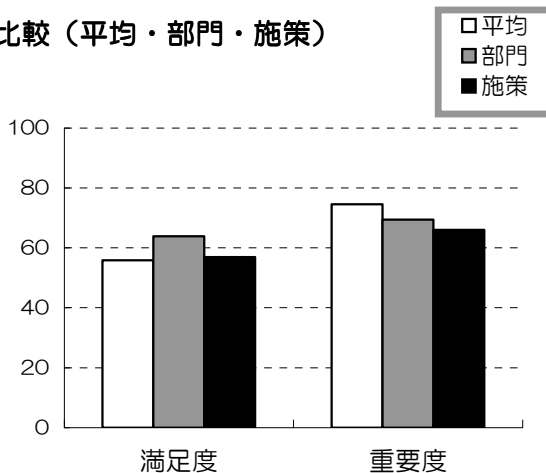
対象(誰を・何を)	意図(どういう状態にしたいか)
コンベンションやイベントの主催者 および市民、観光客など	会議主催者への誘致支援策を強化するとともに、会議参加者へのホスピタリティの向上につとめ、国際会議をはじめとするコンベンション開催件数を増加させます。また、集客力の高い大規模イベントの実施を促進することにより、本市への来訪者を増加させます。

2 施策の実績(現在の状況)

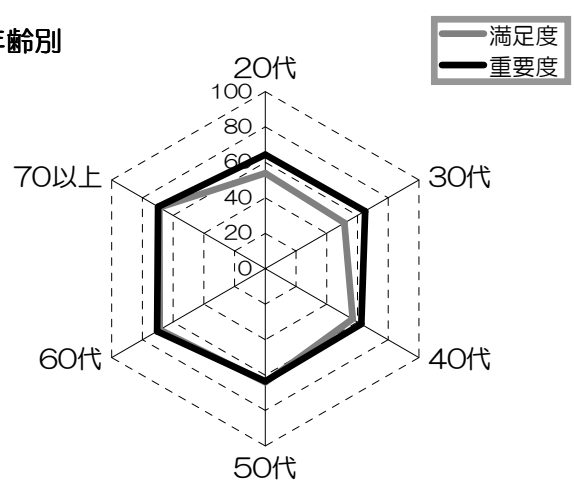
① 市民意識

満足度	☆☆ (57.0)	重要度	☆ (66.0)
-----	-----------	-----	----------

比較(平均・部門・施策)



年齢別



② 名古屋新世紀計画 2010 第 2 次実施計画の数値目標の進捗状況

No.	指標	計画策定時の数値	16 年度実績値	目標値		進捗状況	所管局
				18 年度	22 年度		
1	国際会議の年間開催件数	167 件 (14 年度)	193 件 (15 年度)	190 件	200 件	☆☆☆	市民経済局
	● 目標設定の考え方: 国際会議の本市開催件数の増をめざします。						

3 まとめ

- 満足度は、全施策平均を上回り、部門平均を下回っています。また、年齢別では、40 歳代以上では全施策平均を上回り、とりわけ 50 歳代以上で高くなっていますが、20 歳代と 30 歳代では全施策平均を下回っています。
- 重要度は、全施策平均を下回り、部門平均も下回っています。また、年齢別では、どの年代においても全施策平均を下回っていますが、そのうち 40 歳代と 50 歳代では低く、60 歳代と 70 歳代以上では高くなっています。
- 第 2 次実施計画の数値目標は、18 年度目標をすでに達成しています。

施策別シート

部 門 名	5-2 観光・コンベンション
施 策 名	3 2005 年日本国際博覧会の推進
関 係 局	総務局、市民経済局

1 施策の目的

① 基本方針

2005 年日本国際博覧会(愛・地球博)を成功に導くとともに、名古屋の発展の大きな契機として位置づけ、情報発信をはじめさまざまな施策を展開します。

② 達成目標

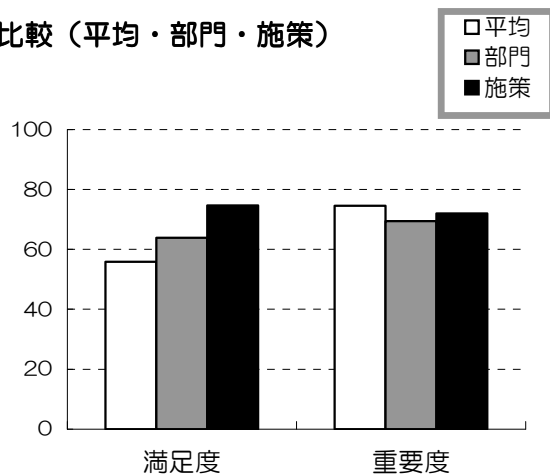
対象(誰を・何を)	意図(どういう状態にしたいか)
名古屋市 愛・地球博入場者	世界に向けて名古屋のまちをPRし、また、新しいまちづくりの契機とします。 愛・地球博の際、本市へ訪れる観光客に対して、本市の魅力ある観光資源をPRし、万博以降の来名観光客の増加をはかります。

2 施策の実績(現在の状況)

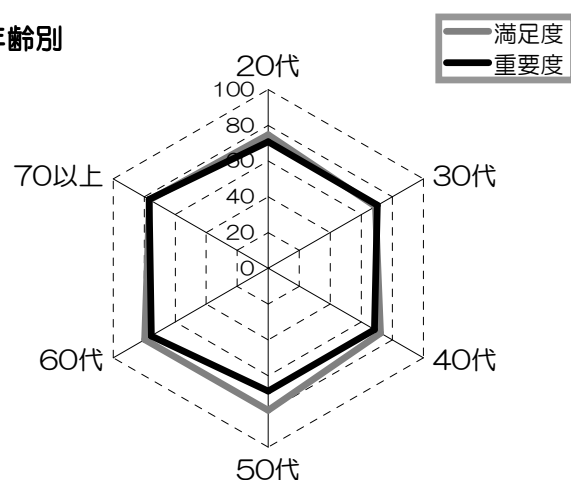
① 市民意識

満足度	☆☆☆ (74.7)	重要度	☆☆ (72.0)
-----	------------	-----	-----------

比較(平均・部門・施策)



年齢別



② 名古屋新世紀計画 2010 第 2 次実施計画の数値目標の進捗状況

No.	指標	計画策定時の数値	16 年度実績値	目標値		進捗状況	所管局
				18 年度	22 年度		
1	愛・地球博の入場者数	—	426,089 人 (3/25～3/31)	1,500 万人 (17 年度)	—	*	総務局
	● 目標設定の考え方: 愛・地球博の成功に向けて、本市としてもBIE登録された目標入場者の達成に寄与します。						
2	ネキスポシティ・シンフォニーの参加数	32 グループ (14 年度)	178 グループ (3/12～3/31)	1,000 グループ (17 年度)	—	*	総務局
	● 目標設定の考え方: 多くの市民・企業が参加することによって、広く市域全体を盛上げていくため、1 学区あたり 4 グループ程度の参加をめざします。						

3 まとめ

- 満足度は、全施策中最も高くなっています。また、年齢別では、どの年代においても全施策平均を上回っています。
- 重要度は、全施策平均を下回っています。また、年齢別では、60 歳代と 70 歳代以上を除き全施策平均を下回り、とりわけ 40 歳代と 50 歳代で低くなっています。
- 第 2 次実施計画の数値目標では、16 年度は短期間の実績値しかとれないため、進捗状況はどちらとも言えません。

（ 愛・地球博は 17 年 3 月 25 日から 9 月 25 日の約半年間(185 日間)にわたって開催されました。
2②の指標は、最終的には、入場者数が約 2,205 万人、ネキスポシティ・シンフォニーの参加数が約 3,500 団体・個人となり、目標が達成されました。 ）

施策別シート

部 門 名	5-3 都市農業
施 策 名	1 安定した農業基盤の確保
関 係 局	緑政土木局

1 施策の目的

① 基本方針

農産物の供給という生産機能だけではなく、自然環境の維持や防災・治水機能などの多面的な機能を持つものとして優良農地や農業用水路などの生産基盤を確保するとともに、営農意欲のある農家を積極的に支援するなど、安定して都市農業を営むことができるような基盤の確保をはかります。

② 達成目標

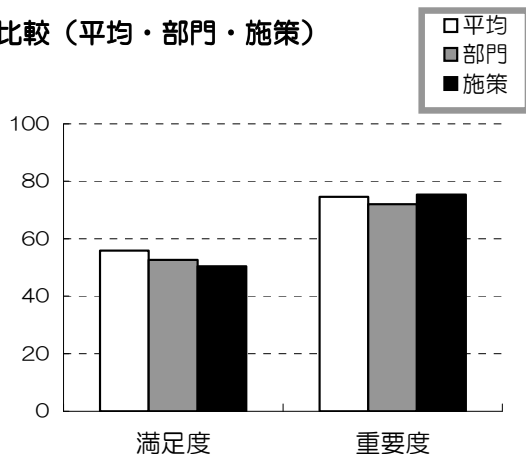
対象(誰を・何を)	意図(どういう状態にしたいか)
市民(農家)	将来にわたって、安定・安心して農業を営めるような施策を行い、市民に新鮮で安全・安心な農産物を供給することにより、食の大切さを伝えます。さらに、治水面、景観面などの環境保全機能、人の交流の場としてのコミュニティ機能など、農地の持つ多面的機能により、都市の住環境を良好にし、豊かな市民生活を提供します。

2 施策の実績(現在の状況)

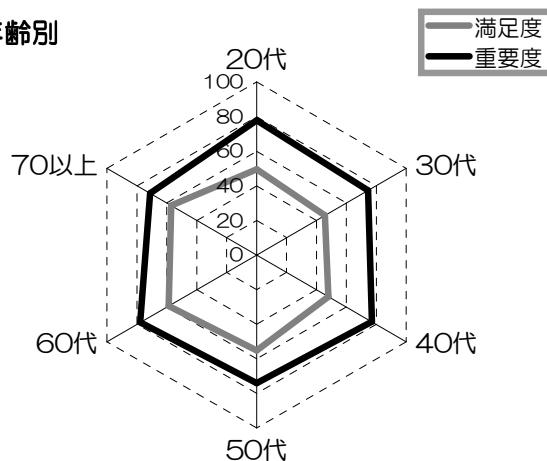
① 市民意識

満足度	☆ (50.4)	重要度	☆☆ (75.4)
-----	----------	-----	-----------

比較(平均・部門・施策)



年齢別



② 名古屋新世紀計画 2010 第 2 次実施計画の数値目標の進捗状況

No.	指標	計画策定時の数値	16 年度実績値	目標値		進捗状況	所管局
				18 年度	22 年度		
1	市内産園芸作物の 販売数量	7,210 トン (14 年度末)	7,007 トン	7,300 トン	7,400 トン	☆	緑政土木 局
	● 目標設定の考え方: 農地農家の減少が進行する中、地産地消の推進により市内産園芸作物の販売数量の増加をめざします。						
2	農業用水路の改良・ 整備延長	60.3km (14 年度末)	63.3km	67.5km	71.5km	☆☆☆	緑政土木 局
	● 目標設定の考え方: 農業用水路(全体延長 380 km)の改良・整備を着実に実施し、農業用水の安定供給をはかります。						

3 まとめ

- 満足度は、全施策平均を下回っています。また、年齢別では、50 歳代以上では全施策平均を上回るか、ほぼ同等ですが、20～40 歳代では「満足」と「不満足」のボーダーラインである 50 ポイントを下回っています。
- 重要度は、全施策平均とほぼ同等になっています。また、年齢別では、50 歳代と 70 歳代以上では全施策平均を下回っています。
- 第 2 次実施計画の数値目標では、市内産園芸作物の販売数量は減少し、目標達成に向けて遅れが見受けられますが、農業用水の改良・整備延長は伸び、目標達成に向けて順調にすすんでいます。

施策別シート

部 門 名	5-3 都市農業
施 策 名	2 ふれあい農業の推進
関 係 局	緑政土木局

1 施策の目的

① 基本方針

農業体験などを通じて市民と農業生産者との交流を促進するとともに、農業公園の整備などをすすめて、市民が農業にふれあい、農業に対する理解を深めることにより、都市と調和した農業を振興します。

② 達成目標

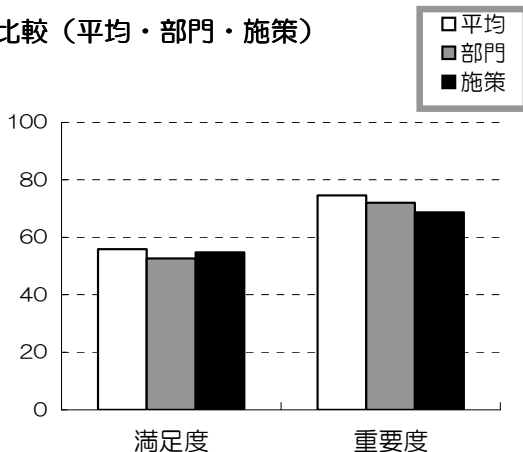
対象(誰を・何を)	意図(どういう状態にしたいか)
市民(農家)	都市の農地は、農産物の生産だけでなく、景観面や防災面などの多面的な機能を持ち、都市の住環境を良好にし、豊かな市民生活を提供します。 このことについて、市民に農業にふれあい・参加する場を提供することによって、理解促進をはかります。 一方、農家に対しては、市民に新鮮で安全な農産物を供給する場をつくることによって、農家が自ら積極的に市民に対して、都市農業の大切さや、都市での営農活動の必要性をPRできるような環境の整備をはかります。

2 施策の実績(現在の状況)

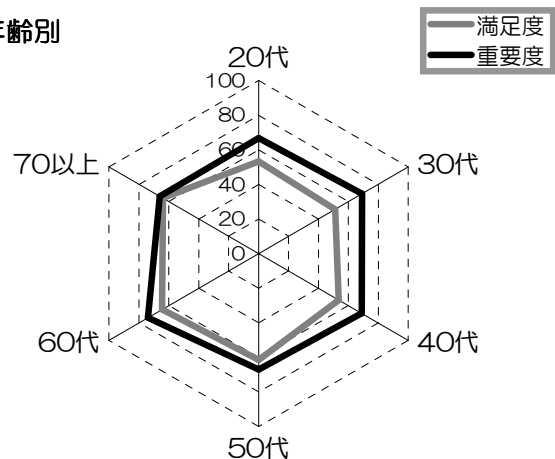
① 市民意識

満足度	☆☆ (54.8)	重要度	☆☆ (68.7)
-----	-----------	-----	-----------

比較(平均・部門・施策)



年齢別



② 名古屋新世紀計画 2010 第 2 次実施計画の数値目標の進捗状況

No.	指標	計画策定時の数値	16 年度実績値	目標値		進捗状況	所管局
				18 年度	22 年度		
1	都市農業のサポーターとなる農業ボランティアの数	80 人 (14 年度)	149 人	150 人	200 人	☆☆☆	緑政土木局
	●目標設定の考え方:農業ボランティア活動の継続と拡充のため、年に 20 人程度の追加登録をめざします。						

3 まとめ

- 満足度は、全施策平均とほぼ同等になっています。また、年齢別では、50 歳代以上では全施策平均を上回っていますが、20～40 歳代では下回っています。
- 重要度は、全施策平均を下回っています。また、年齢別では、60 歳代では全施策平均とほぼ同等ですが、他の世代では下回り、とりわけ 20 歳代、50 歳代および 70 歳代以上で低くなっています。
- 第 2 次実施計画の数値目標では、農業ボランティアの追加登録数は増え、目標達成に向けて順調にすすんでいます。

施策別シート

部 門 名	5-4 消費者・勤労者
施 策 名	1 消費生活の安定・向上
関 係 局	市民経済局

1 施策の目的

① 基本方針

さまざまなトラブルや不安を解消し消費生活の安定・向上をはかります。

② 達成目標

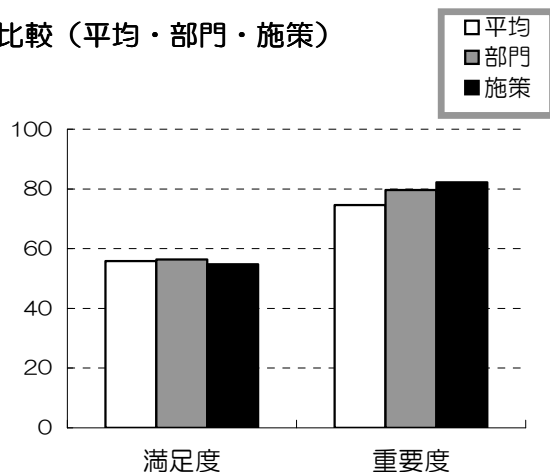
対象(誰を・何を)	意図(どういう状態にしたいか)
消費者	事業者と消費者との間の取引で生じた消費生活に関するトラブルを解決するため、消費生活相談を実施し、的確な助言、斡旋につとめます。 また、消費者が豊かな消費生活をおくることができるよう、必要な情報を収集・提供するとともに、消費者被害の未然防止・拡大防止のための啓発につとめます。

2 施策の実績(現在の状況)

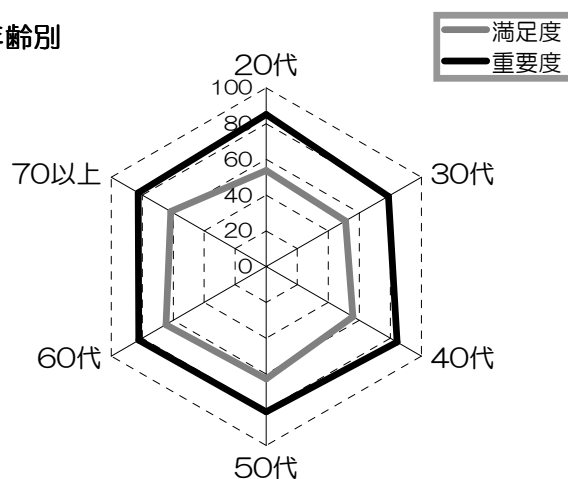
① 市民意識

満足度	☆☆ (54. 8)	重要度	☆☆☆ (82. 3)
-----	------------	-----	-------------

比較(平均・部門・施策)



年齢別



② 名古屋新世紀計画 2010 第 2 次実施計画の数値目標の進捗状況

No.	指標	計画策定時の数値	16 年度実績値	目標値		進捗状況	所管局
				18 年度	22 年度		
1	消費生活センターの相談来所者の満足度	83% (14 年度)	87%	90%	90%	☆☆☆	市民経済局
	● 目標設定の考え方: 相談来所者に対する満足度アンケートにおいて、大変有意義または有意義と回答した人の割合を高めます。						

3 まとめ

- 満足度は、全施策平均とほぼ同等で、部門平均を下回っています。また、年齢別では、40 歳代以上では全施策平均を上回っていますが、20 歳代と 30 歳代では下回っています。
- 重要度は、全施策平均を上回り、部門平均も上回っています。また、年齢別では、どの年代においても全施策平均を上回っていますが、そのうち 20 歳代と 40 歳代では高く、30 歳代では低くなっています。
- 第 2 次実施計画の数値目標では、消費生活センターの相談来所者の満足が得られており、目標達成に向けて順調にすすんでいます。

施 策 別 シ ー ト

部 門 名	5-4 消費者・勤労者
施 策 名	2 生鮮食料品等の安定供給
関 係 局	市民経済局

1 施策の目的

① 基本方針

流通環境の変化に対応した市場機能の強化と、生鮮食料品等の安全・安定供給につとめます。

② 達成目標

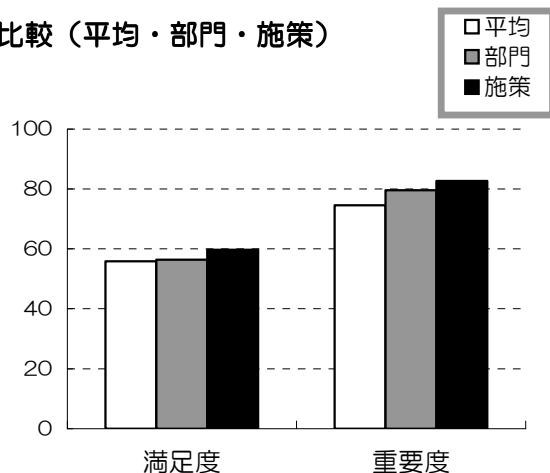
対象(誰を・何を)	意図(どういう状態にしたいか)
中央卸売市場	生鮮食料品等の流通の基幹的な役割を果たす中央卸売市場について、将来の流通事情を展望した施設の整備をすすめることにより、今後も継続して、生鮮食料品等の流通の利便を確保し、また、環境問題への適切な対応や市場機能の充実・強化をはかることにより、安全で安心な生鮮食料品の安定的な供給が可能となるようつとめます。

2 施策の実績(現在の状況)

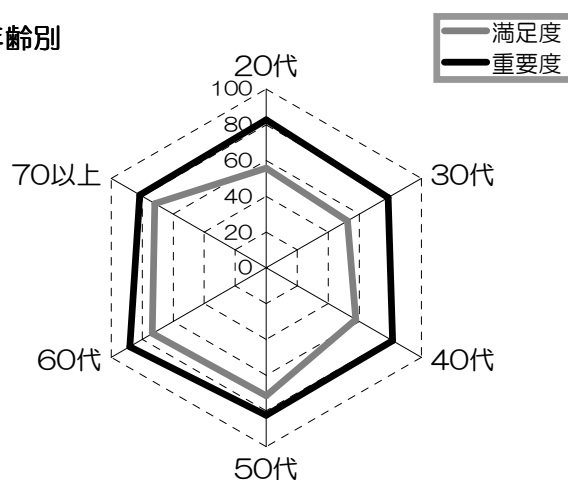
① 市民意識

満足度	☆☆☆ (59.7)	重要度	☆☆☆ (82.7)
-----	------------	-----	------------

比較(平均・部門・施策)



年齢別



② 名古屋新世紀計画 2010 第 2 次実施計画の数値目標の進捗状況

No.	指標	計画策定時の数値	16 年度実績値	目標値		進捗状況	所管局
				18 年度	22 年度		
1	中央卸売市場の年間取扱数量	968,850 トン (14 年度)	911,395 トン	975,600 トン	978,400 トン	☆	市民経済局
● 目標設定の考え方: 市場機能の強化により、市場の取扱数量の増加をはかります。							

3 まとめ

- 満足度は、全施策平均を上回り、部門平均も上回っています。また、年齢別では、30 歳代を除き全施策平均を上回り、とりわけ 50 歳代以上で高くなっています。
- 重要度は、全施策平均を上回り、部門平均も上回っています。また、年齢別では、どの年代においても全施策平均を上回っていますが、そのうち 60 歳代では高く、30 歳代では低くなっています。
- 第 2 次実施計画の数値目標では、市場の取扱数量が計画策定時より減り、目標達成に向けて遅れが見受けられます。

施 策 別 シ ー ト

部 門 名	5-4 消費者・勤労者
施 策 名	3 勤労者福祉の増進
関 係 局	市民経済局

1 施策の目的

① 基本方針

労働問題への対応や労働環境の改善、勤労者の職業能力の向上など、勤労者福祉の増進をはかります。

② 達成目標

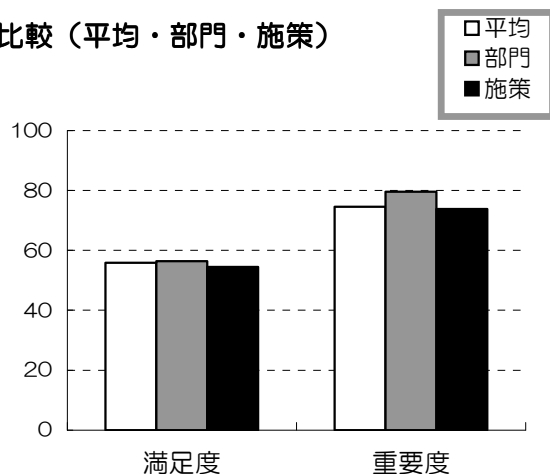
対象(誰を・何を)	意図(どういう状態にしたいか)
勤労者	勤労者の安定した生活を確保するため、雇用形態の多様化などに即応した情報提供や労働相談を実施し、企業の倒産やリストラに備えるための、生活資金などの融資制度を充実するほか、伝統的な産業の技術水準の向上と技能の奨励をはかります。

2 施策の実績(現在の状況)

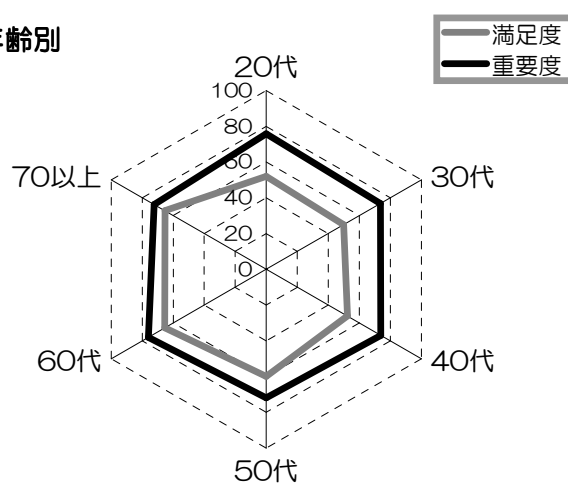
① 市民意識

満足度	☆☆ (54. 5)	重要度	☆☆ (73. 8)
-----	------------	-----	------------

比較(平均・部門・施策)



年齢別



② 名古屋新世紀計画 2010 第 2 次実施計画の数値目標の進捗状況

No.	指標	計画策定時の数値	16 年度実績値	目標値		進捗状況	所管局
				18 年度	22 年度		
1	ホームページ「なごやかワーク」のアクセス件数	15,163 件 (14 年度)	17,300 件	20,000 件	25,000 件	☆☆☆	市民経済局
	● 目標設定の考え方: 勤労者が安心して働くことができるよう、労働関係法令などの情報提供を充実させ、ホームページのアクセス件数の増をめざします。						

3 まとめ

- 満足度は、全施策平均を下回り、部門平均も下回っています。また、年齢別では、50 歳代以上では全施策平均を上回っていますが、20～40 歳代では全施策平均を下回り、とりわけ 30 歳代で「満足」と「不満足」のボーダーラインである 50 ポイントを下回っています。
- 重要度は、全施策平均とほぼ同等で、部門平均を下回っています。また、年齢別では、20 歳代と 60 歳代では全施策平均を上回っていますが、他の年代では下回っています。
- 第 2 次実施計画の数値目標では、ホームページ「なごやかワーク」へのアクセス件数は増加し、目標達成に向けて順調にすすんでいます。

施策別シート

部 門 名	6 人権と市民サービス
施 策 名	1 人権
関 係 局	総務局、市民経済局、教育委員会

1 施策の目的

① 基本方針

人権が尊重され差別や偏見がない社会の実現につとめます。

② 達成目標

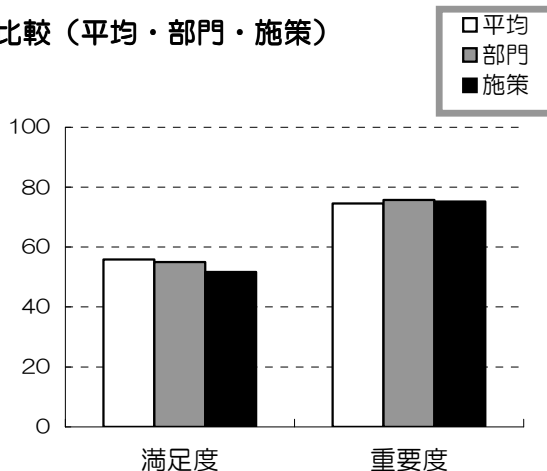
対象(誰を・何を)	意図(どういう状態にしたいか)
市民	人権が尊重され、差別や偏見がない社会の実現のため、人権尊重の理念を柱にすえた行政運営をすすめるとともに、市民一人ひとりが人権についての正しい知識と理解を深め、日常生活の中で人権感覚にすぐれた行動を身につけ、自主的に取り組むまちづくりをすすめます。

2 施策の実績(現在の状況)

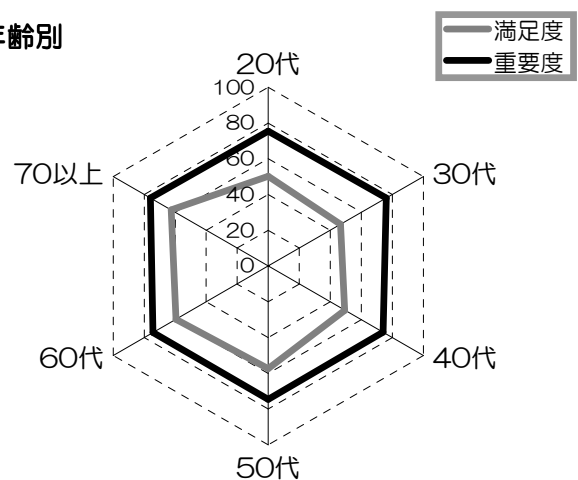
① 市民意識

満足度	☆ (51.7)	重要度	☆☆ (75.2)
-----	----------	-----	-----------

比較(平均・部門・施策)



年齢別



② 名古屋新世紀計画 2010 第 2 次実施計画の数値目標の進捗状況

No.	指標	計画策定時の数値	16 年度実績値	目標値		進捗状況	所管局
				18 年度	22 年度		
1	基本的人権が尊重されている社会だと思う市民の割合	55.8% (14 年度)	57%	64%	72%	☆	市民経済局
● 目標設定の考え方: 年 2 ポイントの向上をめざします。							

3 まとめ

- 満足度は、全施策平均を下回っています。また、年齢別では、50 歳代以上では全施策平均を上回っていますが、20～40 歳代では下回り、とりわけ 30 歳代と 40 歳代で「満足」と「不満足」のボーダーラインである 50 ポイントを下回っています。
- 重要度は、全施策平均とほぼ同等になっています。また、年齢別では、どの年代においても全施策平均を上回るか、ほぼ同等ですが、年代による差はあまりみられません。
- 第 2 次実施計画の数値目標では、年 2 ポイントの向上という目標達成に向けて遅れが見受けられます。

施策別シート

部 門 名	6 人権と市民サービス
施 策 名	2 市民サービス
関 係 局	市長室、市民経済局、上下水道局

1 施策の目的

① 基本方針

ワンストップサービスの実施など市民サービスの向上をはかります。

② 達成目標

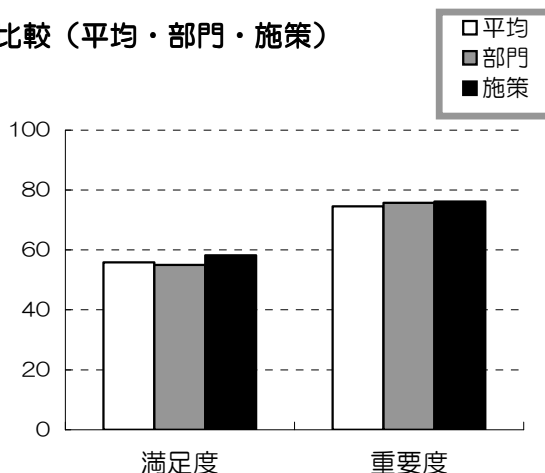
対象(誰を・何を)	意図(どういう状態にしたいか)
市民	市民が必要なときに必要な窓口サービスを、身近な場所で、より容易に受けられるようにします。 市政に関する情報をわかりやすく市民に伝えていくことにより、市民と行政が情報を共有化します。 市民ニーズを的確に把握し、市政に反映することにより、市政への市民参加を促進します。 市民の知る権利を尊重し、市の説明責任を果たすため、情報公開を推進し、市政に関する情報を効果的・効率的に提供します。また、個人情報の保護と市政の適切かつ円滑な運営の確保との調和をはかります。

2 施策の実績(現在の状況)

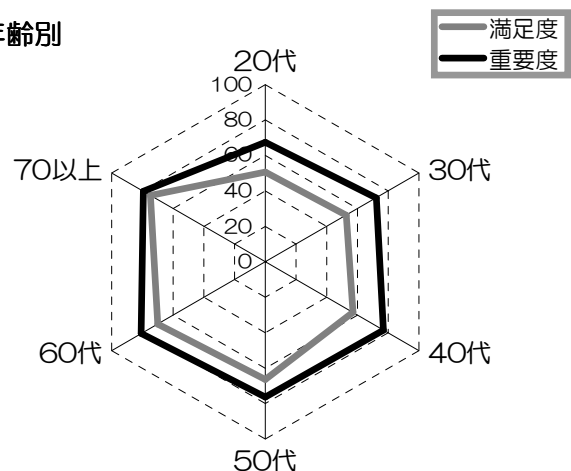
① 市民意識

満足度	☆☆ (58.2)	重要度	☆☆ (76.2)
-----	-----------	-----	-----------

比較(平均・部門・施策)



年齢別



② 名古屋新世紀計画 2010 第 2 次実施計画の数値目標の進捗状況

No.	指標	計画策定時の数値	16 年度実績値	目標値		進捗状況	所管局
				18 年度	22 年度		
1	広報なごやの満足度	73% (14 年度)	57% (参考値)	80%	90%	*	市長室
	●目標設定の考え方: 広報なごや読者の満足度の向上をめざします。						
2	市ホームページの総アクセス件数	1,410 万件 (14 年度)	2,226 万件	3,000 万件	6,000 万件	☆☆☆	市民経済局
	●目標設定の考え方: 平成 14 年度の数値から毎年 20% ずつの向上をめざします。						

3 まとめ

- 満足度は、全施策平均を上回っています。また、年齢別では、40 歳代以上では全施策平均を上回り、とりわけ 60 歳代と 70 歳代以上で高くなっていますが、20 歳代と 30 歳代では全施策平均を下回っています。
- 重要度は、全施策平均を上回っています。また、年齢別では、40 歳代以上では全施策平均を上回り、とりわけ 60 歳代と 70 歳代以上で高くなっていますが、20 歳代と 30 歳代では全施策平均を下回っています。
- 第 2 次実施計画の数値目標では、広報なごやの満足度は 16 年度実績が参考値のため、進捗状況はどちらとも言えませんが、市ホームページへの総アクセス件数は伸び、目標達成に向けて順調にすすんでいます。

